

ADVANCED DIGITAL VIDEO PLATFORM

4/8/16 Channel Standalone Recorder

4CH / 8CH / 16CH Digital Video Recorder User's Guide

Release date: 2021/10/05

Version : 0.5

目次

1.	はじめに.....	4
1.1	著作権/認証/登録商標/免責事項.....	4
1.2	ACCESSORY.....	7
1.3	ファームウェアアップデート.....	9
1.3.1	本体からのファームウェアアップデート.....	9
1.3.2	ウェブメニューからファームウェアアップデート.....	11
1.4	前面パネル.....	14
1.5	背面パネル.....	15
2.	はじめに.....	17
2.1	接続及び開始.....	17
3.	タスクバー.....	23
3.1	状態表示.....	23
3.2	ログオフ.....	23
3.3	メインメニュー.....	24
3.4	検索メニュー.....	24
3.5	画面表示方式.....	24
3.6	パンチルト制御画面表示.....	25
3.7	デジタルズーム.....	26
3.8	システムログ表示.....	28
4.	検索及び再生.....	31
4.1	検索 Window.....	31
4.2	パノラマ検索.....	34
4.2.1	基本動作.....	34
4.3	イベント検索.....	35
4.4	SMART検索.....	36
4.5	バックアップ.....	37
5.	設定.....	39
5.1	カメラメニュー設定.....	39
5.1.1	タイトル名設定.....	39
5.1.2	映像.....	40
5.1.3	PTZ.....	42
5.1.4	モーション.....	42
5.1.5	プライバシー設定.....	44
5.1.6	カメラポート.....	44
5.2	画面設定メニュー設定.....	48
5.2.1	OSD.....	48
5.2.2	モニター設定.....	49
5.2.3	シーケンス.....	50
5.2.4	スポット.....	50
5.3	ディスク設定.....	52
5.3.1	設定.....	52
5.3.2	フォーマット.....	55
5.3.3	NAS INFORMATION.....	56
5.4	システムメニュー設定.....	57
5.4.1	日付 / 時間.....	57
5.4.2	管理.....	58
5.4.3	音声.....	60
5.4.4	RS-485.....	61
5.4.5	ADVANCED.....	61
5.5	イベント / センサー.....	62
5.5.1	センサー入力.....	63
5.5.2	アラーム出力.....	64

5.5.3	ブザー出力設定.....	65
5.5.4	Eメール設定.....	66
5.5.5	PTZ連携動作.....	67
5.5.6	プッシュアラーム.....	68
5.5.7	POS.....	68
5.6	ユーザー.....	71
5.6.1	ユーザー登録.....	71
5.6.2	ユーザー権限設定.....	72
5.6.3	ログアウト.....	73
5.7	録画.....	74
5.7.1	設定.....	74
5.7.2	イベント.....	75
5.7.3	スケジュール.....	76
5.7.4	その他設定.....	77
5.8	ネットワーク.....	79
5.8.1	IP 設定.....	79
5.8.2	DDNS.....	80
5.8.3	Eメール.....	81
6.	遠隔制御プログラム.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
6.1	ウェブサーバー.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
6.1.1	ウェブサーバーへ接続する.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
6.1.2	ウェブメニューへ接続する.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
6.1.3	WEB VIEWER (Active-X).....	エラー! ブックマークが定義されていません。
6.2	Android Viewer / iOS Viewer.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
6.2.1	使用方法.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
6.3	DVR MANAGER.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
6.3.1	インストール.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
6.3.2	実行.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
6.3.3	ライブ映像の監視.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
6.3.4	MANAGER接続.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
6.3.5	ライブ映像画面.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
6.3.6	プレイヤー.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
6.4	FILE PLAYER.....	エラー! ブックマークが定義されていません。

1. 始めに

1.1 著作権/認証/登録商標/免責事項

最高のデジタル技術力で開発された弊社のデジタルビデオレコーダーご購入いただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるよう大切に保管してください。

著作権/認証/登録商標/免責条項

著作権

著作権法で取扱説明書のすべての内容を弊社の事前承認なく、コピーまたは、複製して使用することができません。

認証

CE,FCC,KCC

登録商標

Ethernet™ はXerox Corporationの登録商標です。

Microsoft™,MS-DOS™,Windows(TMLogo),Windows™ and WindowsNT™ は米国及び他の国で使用されている米国Microsoft Corporationの登録商標です。







免責条項

- 製造者、輸入者または代理店は、傷害を含む偶発的な損傷または本製品の不適切な使用、操作によるその他損傷に対して責任を負いません。
- 取扱説明書上の情報は現在の製品仕様を基に作成されました。今後新しい機能が追加されたり仕様変更する事があります。本説明書及び製品仕様は予告なく変更することがあります。

注意事項











ユーザーは製品を使用する前に、下記の注意事項をよくお読みください。表示した注意事項は安全に関する重要な内容を記載しているため、必ず内容を守ってお使いください。





注意事項は危険、警告、注意で分類しています。






区分		
	危険	使用者が死亡や重傷を負うおそれが大きい内容のご注意
	警告	死亡や重傷を負うおそれがある内容のご注意
	注意	軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容のご注意
	重要	操作上、要求事項及び制限事項を示しています。製品が損傷しないように該当事項をよくお読みください。
図記号説明		
		してはいけない内容です。
		実行しなければならない内容です。

- 「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているため、必ず守ってください。

 危険	
	分解や修理、改造したりしないでください。 感電、発熱、火災などの原因になります。
	火気に近づけたり、火中へ投入したり、加熱しないでください。 火災ややけどなどの原因になります。
	結露する場所、風呂場などの湿った場所、雨中などのぬれた場所で使用・保管しないでください。また、水洗いしないでください。 感電、発熱、火災などの原因になります。
	ぬれた手で、本製品や接続する電気機器のプラグに触れないでください。感電の原因になります。
	金属物を本製品内部に入れたりしないでください。感電、発熱、火災などの原因になります。
	一般のゴミとして廃棄しないでください。ゴミ集積場やゴミ収集車内において、感電、発熱、発煙、火災などの原因になります。
	ACアダプター、ACケーブルは付属以外のものを使用しないでください。 感電、発熱、火災などの原因になります。
	接続する機器の定格をご確認いただき、定格を超える使い方をしないでください。感電、発熱、火災などの原因になります。
	落下させたりハンマーでたたくなど、強い衝撃を与えないでください。感電、発熱、火災など、本体破損の原因になります。
	転倒・落下しやすい場所(高い棚の上など)で充電・使用・保管しないでください。感電、発熱、火災など、本体破損の原因になります。
	使用中は、本製品を移動しないでください。 移動にともなう振動や衝撃によって、発熱による火災や感電などのけが、本体破損の原因になります。

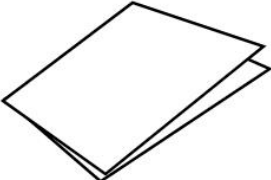
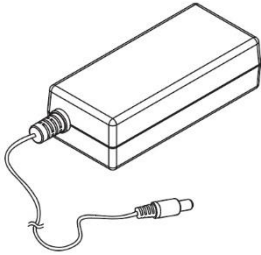
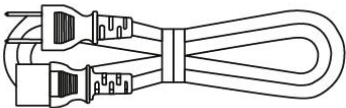
 警告	
	本製品をご使用、保管する場所、使用する場所は清潔にしてください。粉じんや小さな金属物などが内部に入ると、短絡して発煙や発火のおそれがあります。
	ACケーブルを破損しないようにしてください。 感電、発熱、火災などの原因になります。
	プラグのガタつき、変形などにより、根元まで確実に挿し込めない場合は使用しないでください。感電、発熱、火災などの原因になります。
	風呂場などの湿気が多い場所では、使用しないでください。 感電、発熱、火災などの原因になります。
	毛布などをかぶせた状態で使用しないでください。 発熱、火災、やけどの原因になります。
	自動車の車内、トランク、荷台や直射日光下など高温になる場所で使用・保管しないでください。 本製品の故障や劣化の原因になり、発熱の原因になります。
	仕様に中に雷が近づいた時には、ただちにACケーブルをコンセントから抜いてください。落雷により、コンセントから大電流が流れ、機器の故障、発熱、発火、火災などの原因になります。
	ワレ、カケ、ヒビなど、液漏れ、発熱などの異常、ケーブルの損傷などが発見された場合はただちに使用をやめて、代理店にご連絡ください。
	電源コードを製品に接続しない状態で外部機器と接続して下さい。製品とカメラで発生する過電流によって感電の危険があります。

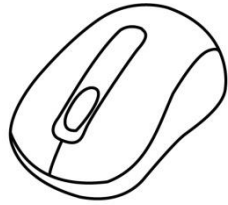
 注意	
	本製品が汚れた場合にはやわらかい布やタオルで拭いて下さい。お手入れの際は絶対に化学溶液(シンナー、ソルベントなど)を使わないで下さい。
	自動車などで運搬する際は、本製品が動かないようにしっかり固定してください。本体破損により、感電、発熱、火災などの原因になります。
	誤って落としたり、ぶつけたときは、ただちに使用を中止し、事故防止のため代理店に点検修理を依頼してください。 感電、発熱、火災など、本体破損の原因になります。

 重要	
	不安定な電源や、電気的な衝撃により正常に録画されないことがあります。必ず、正しい電圧でご使用ください。
	本製品は録画データをハードディスクに保存するように設計されております。ハードディスクの故障や予期しない他の故障によって正常に録画されないことがあります。製品が正常に作動するように定期的な点検をして下さい。
	本製品はユーザーが直接使用環境を構成することができるようにインターフェースを設計いたしました。ユーザーの設定ミスによって録画されない事があります。専門知識を持った設置業者に設置依頼をしてください。
	本製品は外部装置(カメラ、センサー、LAN、HDD等)と接続しておりますので、設置環境等に注意し専門知識を持った設置業者に定期的に製品の点検を受けるようにして下さい。

※本製品は、1K/バイトは1,024/バイト、1M/バイトは1,048,576/バイト、1G/バイトは1,073,700,000/バイトを表します。

1.2 ACCESSORY

	<p>[Quick Guide] 簡易操作説明書</p>
	<p>[12V / 5A AC Adaptor 4Ch DVR] [12V / 5A AC Adaptor 8&16Ch DVR] ※ 付属のアダプターは本製品専用です。他の機器には使用しないでください。また、他の機器のアダプターを本製品に使用しないでください。</p>
	<p>[AC Power Cable] 電源ケーブル ※ 付属の電源ケーブルは本製品専用です。他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本製品に使用しないでください。</p>



[USB Mouse]
USBマウス

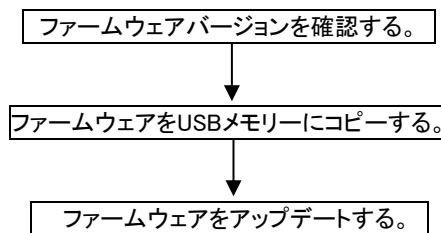


[ETC]
4channel : Hard Disk 固定ネジ x 4
8&16channel : Hard Disk 固定ネジ x 8

1.3ファームウェアアップデート

1.3.1 本体からのファームウェアアップデート

本体は直接ファームウェアのアップデートが可能です。
 ファームウェアアップデートは、製品の機能追加及び安定性向上のために必要な作業です。
 ユーザーは簡単な操作で製品のアップグレードを実行できます。
 ファームウェアアップデートは、次のように実行します。



1.3.1.1 ファームウェアバージョン確認

製品のファームウェアをアップデートする前に、現在使用中のファームウェアバージョンを確認し、最新ファームウェアバージョンとの比較をします。

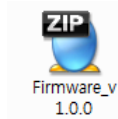
製品ファームウェアバージョン確認

- ファームウェアバージョン確認は、システムメニューの管理項目から行います。



- 上図で表示されたファームウェアバージョンが、現在使用中のバージョンです。

製品ファームウェアファイルバージョン確認

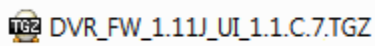


➤ 左図の場合、「v1.0.0」部分がファームウェアバージョンです。

- 使用している製品のファームウェアバージョンが、最新バージョンよりも新しい(数字が大きい)場合はアップデートをしないでください。

1.3.1.2 USBデバイスを利用したFirmwareアップグレード(Type*.tgz)

1) USBメモリーの rootのフォルダーにFirmware *.tgzファイルをコピーします。



1.3.1.3 システムメニューを使用したファームウェアアップデート

本体のシステムメニューからファームウェアアップデートを実行します。

- ファームウェアファイルをコピーしたUSBメモリーを、装置の前面USBポートに接続します。
- システムメニューの管理メニューに移動します。



➤ ‘アップグレード’ ボタンを押します。

- 現在搭載されているファームウェア情報と製品コードの確認ができます。
- 使用中の DVR の製品コードとファームウェアアップグレードをするためのファイルの製品コードが異なる場合、ファームウェアのアップグレードはできません。



🔗 アップデートは順に実行されます。

- アップデートは状況により、1分～5分程度要します。
- アップデート中は、絶対にUSBメモリーを抜かないでください。製品が故障することがあります。
- アップデート中は、絶対に本体の電源を切らないでください。製品が故障することがあります。
- アップデートが実行されない場合、ディスクメニューのフォーマットメニューを使用して、USBメモリーをフォーマット後に再度アップデートを実行してください。
その際、誤ってハードディスクをフォーマットしないよう注意してください。

🔗 アップデートが完了すると、本体が自動的に再起動します。

- ※本体が再起動を開始したら、USBメモリーを装置から取り外してください。

1.3.2 ウェブメニューからファームウェアアップデート

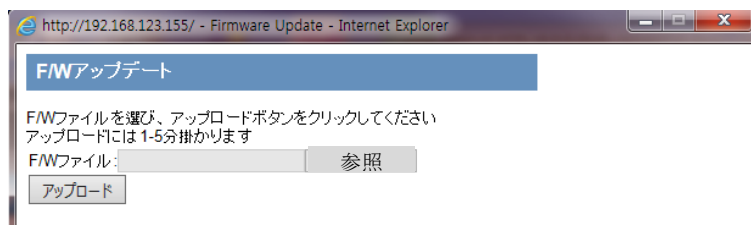
USBメモリーを使用したファームウェアアップデート以外に、本体メニューのウェブサーバからアップデートすることができます。

🔗 ファームウェアアップデート方法

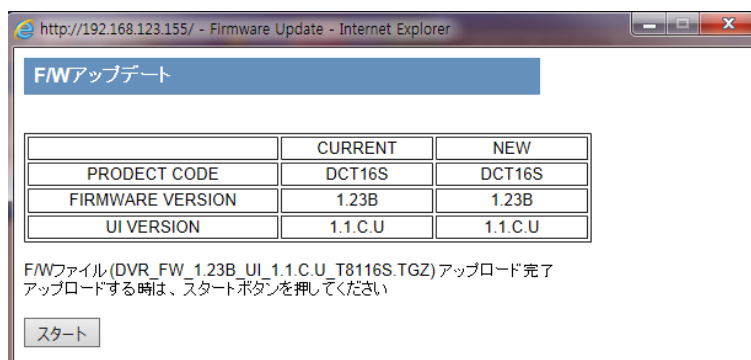
- 製品をウェブサーバに接続します。
(ウェブサーバ接続方法は本マニュアルの7.1章 **ウェブサーバ使用**を参照してください。)
- ウェブメニューから、システムメニューにある管理メニューをクリックすると、次のような画面が表示されます。



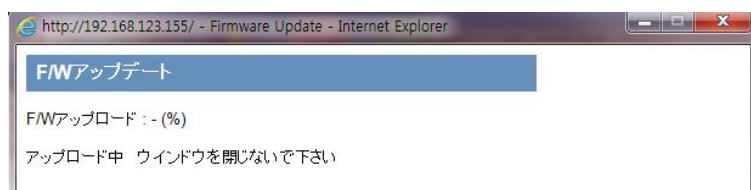
- 上のメニュー画面で **アップグレードボタン**を押すと、新しいウィンドウが表示されます。
検索ボタンを押してアップデートするファイルを選択します。
(ファームウェアファイルは、圧縮ファイル(*.tgz 又は *.tar.gz) 形式です。)

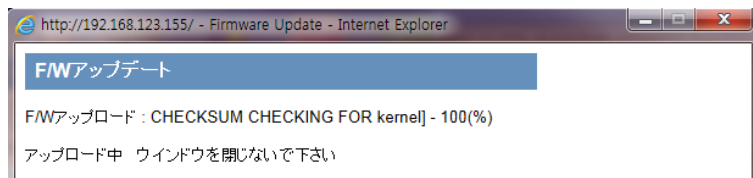


- **ファームウェアアップロードボタン**を押して製品にファイルを転送します。アップロードが完了したら、完了メッセージで確認できます。
- アップロードされたファイルで、アップデートを実行するには、**STARTボタン**を押します。
- 現在搭載されているファームウェア情報と製品コードの確認ができます。
- 使用中の DVR の製品コードとファームウェアの製品コードが異なる場合、アップグレードはできません。



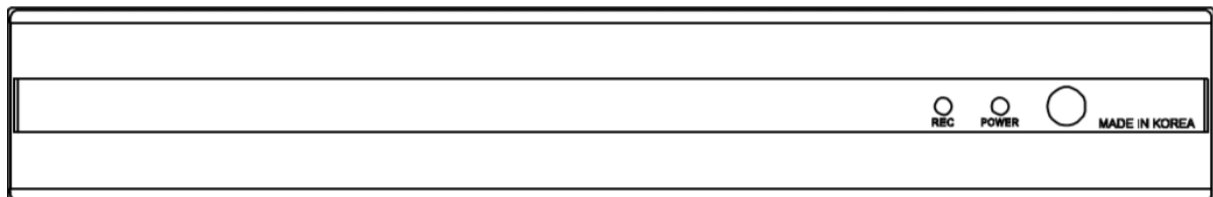
- 進行状態はページのメッセージで確認できます。メッセージ内容は、進行状況によって下図のようになります。





- アップグレード処理中に本体が再起動しますがアップデートが完了していませんので電源を切らないでください。
- ファームウェアのアップデート中は、本体からメニュー変更は行えません。

1.4 前面パネル



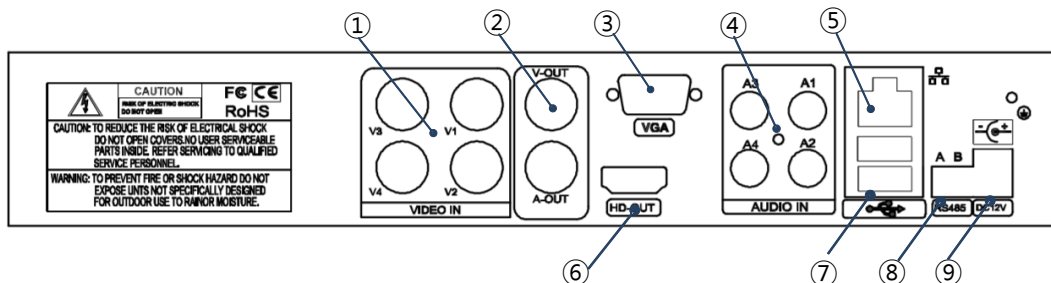
[Front panel of DVR]

<p>状態 LED DVRのRECとPOWER LEDを表示する</p>	
---	--

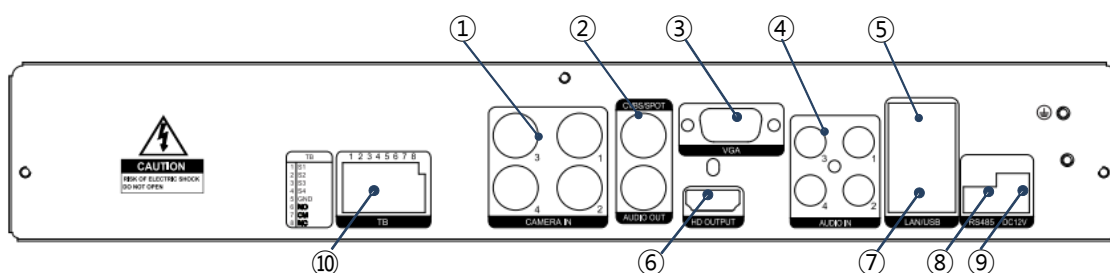
1.5 背面パネル

⑩

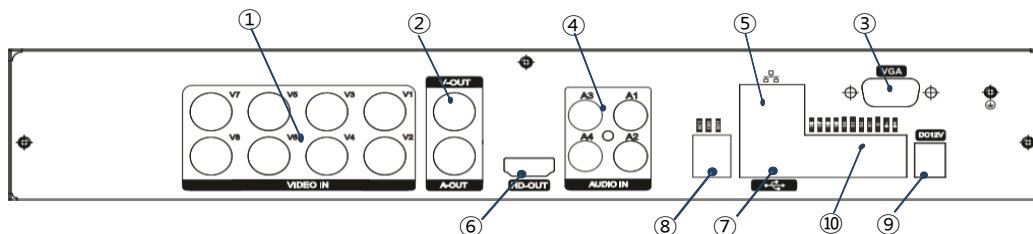
4チャンネル後面 (1xHDD 装着可能)



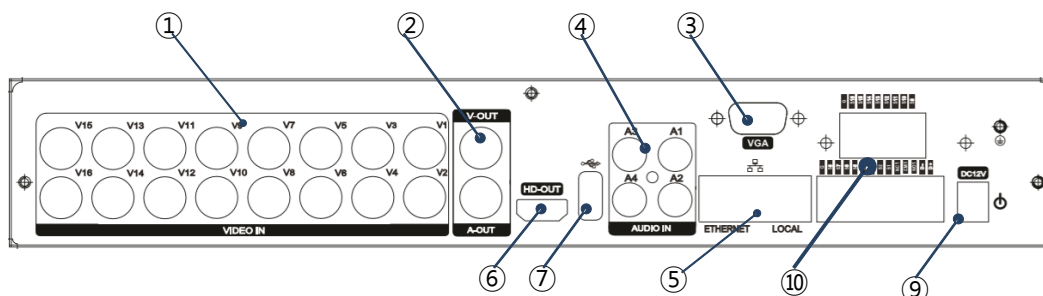
4チャンネル後面 (2xHDD 装着可能)



8チャンネル後面 (2xHDD 装着可能)



16チャンネル後面 (2xHDD 装着可能)



①	ビデオ入力	BNC タイプのカメラ入力	②	ビデオ出力/ オーディオ出力	BNC ビデオ出力 / RCA オーディオ出力
③	VGA	VGA モニター出力	④	オーディオ入力	RCA オーディオ入力
⑤	ネットワーク	4&8ch : Ethernet port x 1(Internet + IP Camera) 16ch : Ethernet port x 1(Internet+ IP Camera) / Local Port x 1 (IP Camera)	⑥	HD ビデオ出力	Full-HD ビデオ出力
⑦	USB	USB保存装置やUSBマウス用	⑧	Terminal Block 1	8ch : Relay output NO/CM/NC

⑨	DC 12V	DC 12V アダプター入力	⑩	Terminal Block 2	4ch(2xHDD) : Sensor input 4port 8ch : Sensor input 8 port 16ch : Sensor input 16 port 16ch : Relay output NO/CM/NC 8ch&16ch: 外部キーボードや PTZコントローラ入力
---	--------	----------------	---	------------------	--

2. 始めに

リモコンは、一部機能に対して未対応なため、本体の設定、再生及びアックアップ等すべての機能を使用する場合は、USBマウスをUSBポートに接続して使用してください。

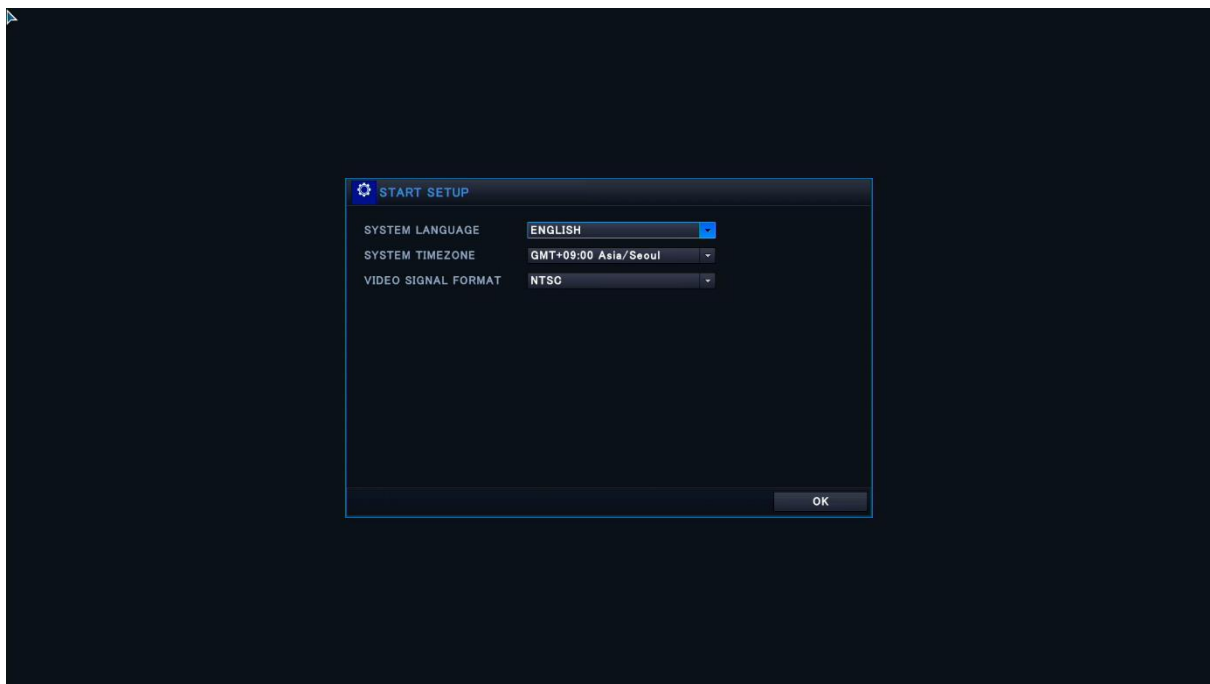
2.1 接続及び開始

- ◆ 録画機本体に使用環境に合ったカメラを接続します。この時カメラの電源が入っていることを確認してください。
- ◆ 使用するモニターを出力端子に接続します。(デジタルビデオ出力端子(HDMI)、VGA 出力端子)
- ◆ 本体に電源を接続して、製品の電源を入れます。
- ◆ システムが起動中、次のような初期画面を表示します。



[初期ロゴ画面]

- 使用するモニターによって、初期ロゴ画面が表示されない場合があります。低い解像度に対応しないモニターでの現象ですので、製品の不良ではございません。
- 初期工場出荷状態の解像度は、**1920x1080** です。必ず **1920x1080** 以上の解像度に対応するモニターを使用してください。



[初期設定]

- ✚ システム言語 : DVRで使用する言語を設定します。
- ✚ システムタイム・ゾーン : DVRで使用するタイム・ゾーンを設定します。
- ✚ ビデオ信号形式 : DVRで使用するビデオ信号形式を設定します。
- 初期設定メニューで選択したメニュー設定は工場初期化状態でも適用されます。

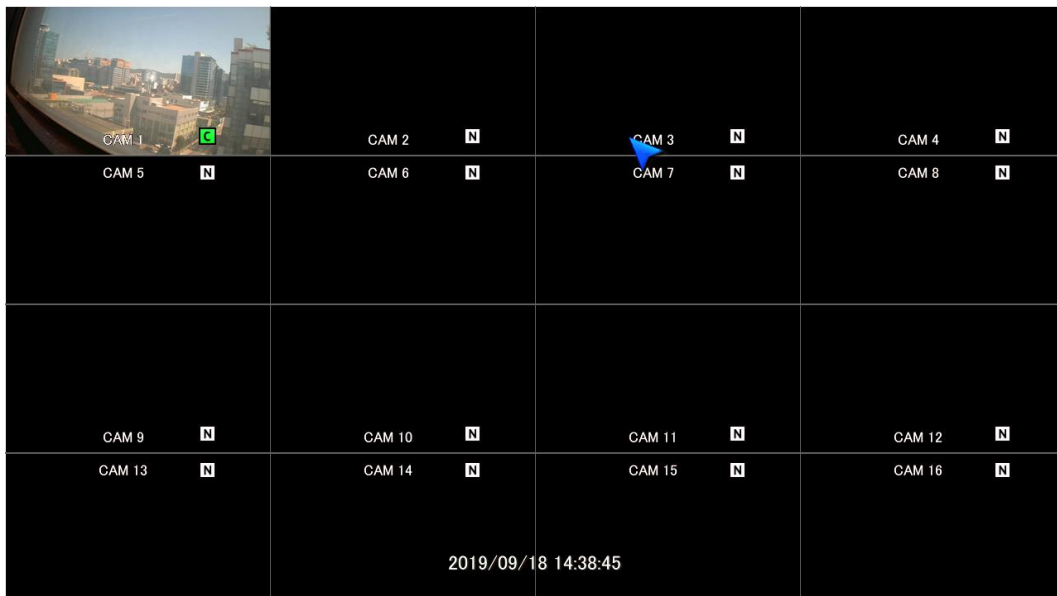


[ローディング画面]

機器の初期動作準備が完了すると上図のような‘ローディング画面’が表示され、進行状況が表示されます。

- ‘ローディング画面’が表示された時点から設定された条件によって、録画を開始します。
- ‘ローディング画面’では、内部的に出力画面を最適化するので画面が点滅したり、色合の異常が起こることがあります。

機器の全ての動作準備が完了すると、自動でログインして下図のような画面が表示されます。



工場出荷状態(初期値)では、ADMINのアカウントで自動的にログインする設定になっています。

(‘ADMIN’アカウントの初期パスワードは‘1234’です。)

自動ログインを使用しない場合はマウスを使用して、ログインアカウントを選択し、パスワードの入力を行います。アカウント選択しパスワードを入力した後‘Enter’ボタンや‘確認’ボタンをクリックするとログインします。



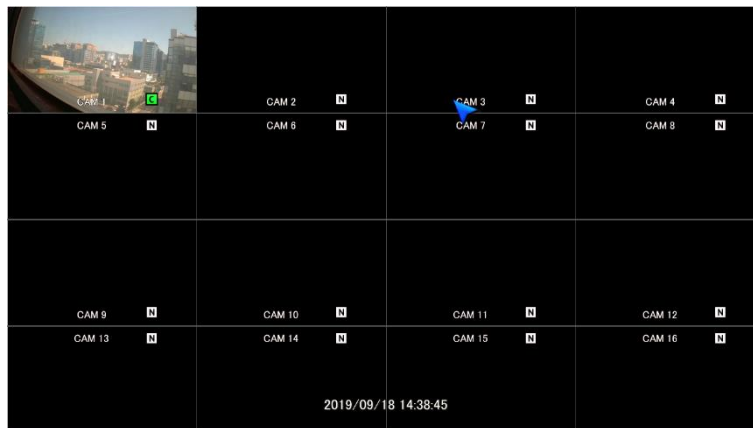
[ログイン画面]



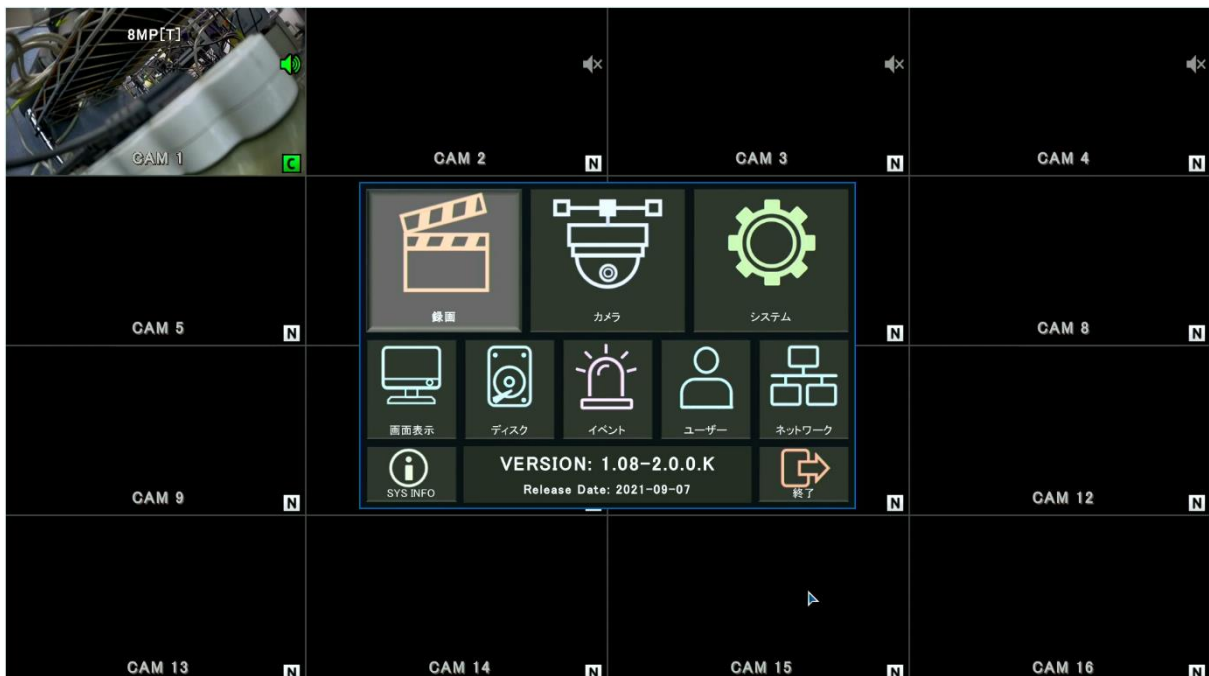
[4チャンネル録画機監視画面]



[8チャンネル録画機監視画面]

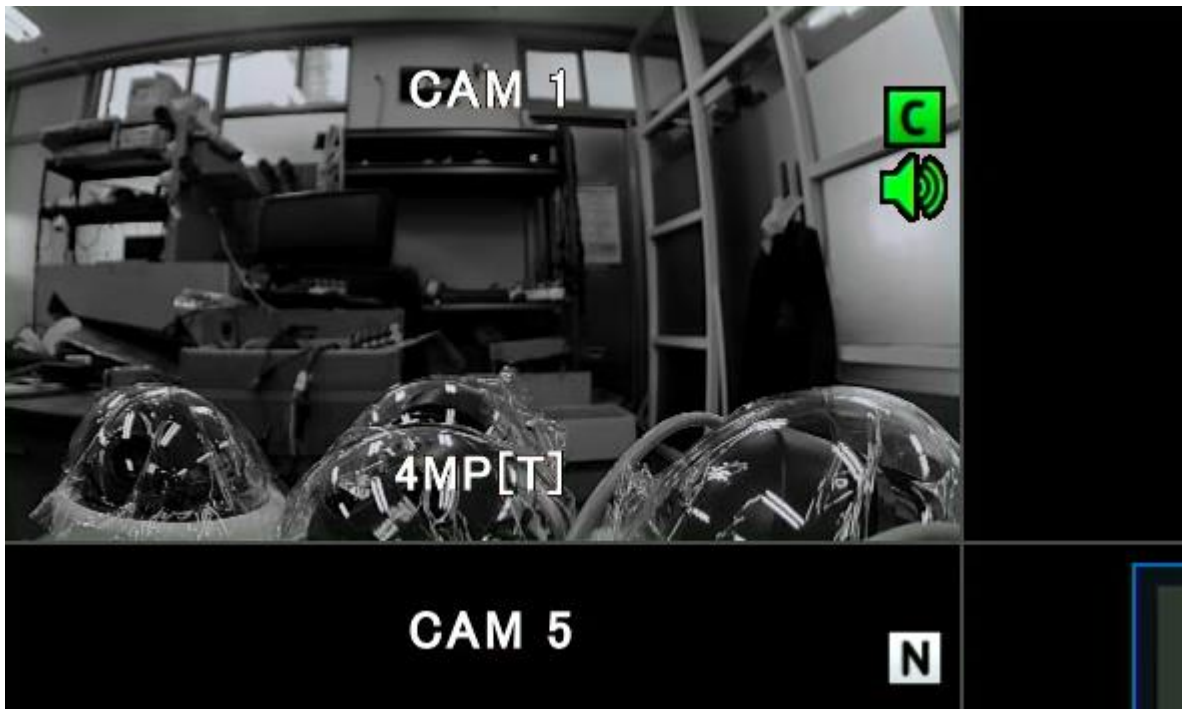



[16チャンネル録画機監視画面]



システムにログインすると上図のような‘監視画面’が表示されます。

- 機器を起動する前に、カメラを接続することを推奨します。





 : チャンネルタイトル表示

 : カメラの情報を表示

 : 常時録画状態

 : 録画停止状態

 : イベント録画状態

 : モーション検出

 : センサー検出


 : オーディオ出力状態

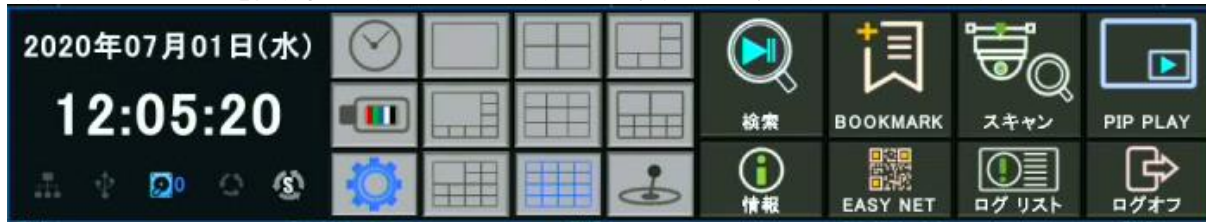
画面下の方にタスクバーが表示されます。



<p>2020年09月22日(火)</p> <p>11:29:35</p> <p>現在の日付、時間</p>	 <p>ネットワーク 遠隔接続状態</p>	 <p>USB保存装置 接続状態</p>	 <p>ハードディスク 書き込み中のHDD表示</p>	 <p>시간 변경</p>
 <p>カメラの色補正</p>	 <p>メインメニュー (設定メニュー)</p>	 <p>分割画面</p>	 <p>PTZ</p>	 <p>検索 検索/コピー</p>
 <p>Bookmark</p>	 <p>IP Camera Scan</p>	 <p>ライブ画面で 再生PIP表示</p>	 <p>Network Wizard</p>	 <p>Log List</p>
 <p>ログオフ/ユーザー変 更</p>				









3. タスクバー

タスクバーは、マウスポインタの位置を画面の下方に移動すると、画面に表示されます。メニュー設定で指定した時間後や、Exitボタン()を押す事で消すことができます。メニュー設定で常に表示することも可能です。



3.1 状態表示

現在時刻 / ネットワークケーブル接続有無 / USBストレージ接続有無 / シーケンシャル表示有無 / 現在録画されているHDD番号 / 現在出力中のオーディオチャンネルを表示します。

-   : 2020年09月22日(火) 11:29:35 : 現在時刻を表示します。(年/月/日/時/分/秒)
-   : ネットワークを通じて映像が転送される時、アクティブ表示になります。
-   : USBストレージが接続されている場合、アクティブ表示になります。
-   : 現在録画中のHDDの番号を表示します。

3.2 ログオフ

ユーザーが手動でログオフしたり、メニュー上でユーザーが設定した時間が過ぎると、自動的にログオフする二つの方法で、現在のログイン状態をログオフできます。

[タスクバーを利用したログオフ方法]



上図に表示されたログオフボタンを選択すると、ログオフできます。



ログイン方法は、初期ログイン方法と同一です。
一旦ログオフした後は、再度ログインするまで機器の操作は行えません。

[ユーザーメニュー設定を利用したログオフ方法]

主な設定メニューでユーザー→ログアウトメニューの設定によって、一定時間後自動的にログオフするように設定できます。

3.3 メインメニュー

下図に表示されたメニューボタンを押すと、機器のメインメニュー画面を表示します。



3.4 検索メニュー






下図に表示された検索ボタンを押すと、保存された映像を検索/再生する検索画面を表示します。



3.5 画面表示方式

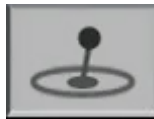
リアルタイム監視画面の表示方式を選択します。単一チャンネル、分割画面表示、シーケンシャル表示から選択できます。



-  : 1画面表示
-  : 4分割画面表示
-  : 6分割画面表示
-  : 8分割画面表示
-  : 9分割画面表示

3.6 パンチルト制御画面表示

下図に表示されたボタンを押して、パンチルト制御画面を表示し、機器に接続されたパンチルトカメラを制御できます。



分割画面状態でパンチルト制御画面を表示する場合、マウスを使用して選択したチャンネルに接続したカメラのパンチルト制御が可能です。チャンネルを選択していない場合は1番カメラのパンチルト制御になります。

単一画面表示状態でパンチルト制御画面を表示すると、現在表示中のカメラに対してパンチルト制御が可能になります。

- パンチルト制御をするためには、パンチルトメニューを設定してください。
- パンチルトカメラの対応プロトコルは下記の通りです。(プロトコルが違う場合、制御できません。)
 - PELCO-D
 - PELCO-P
 - PELCO-C

[パンチルト制御画面]



- 1 : PTZカメラのチャンネルを選択します。
 - 2 : プリセット選定と移動
 - 3 : ツアー機能スタートと終了を選択します。
 - 4 : PTZ制御
 - 5 : PTZ制御の大きさを調整します (小/大)
 - 6 : PTZメニューで設定したPTZの制御スピードを表示します。
 - 7 : 自動フォーカス調整を行います。
 - 8 : 自動スキャンを行います。
- Pelco-C (Coaxitron) 機能を支援するカメラを使う場合、[IRIS 開く]ボタンを用いてカメラのメニューを動作することができます。

3.7 デジタルズーム

下図に表示されたデジタルズームボタンを押すか、マウスのドラッグ動作でデジタルズームを制御できます。

[マウドラッグを使ったデジタルズーム]

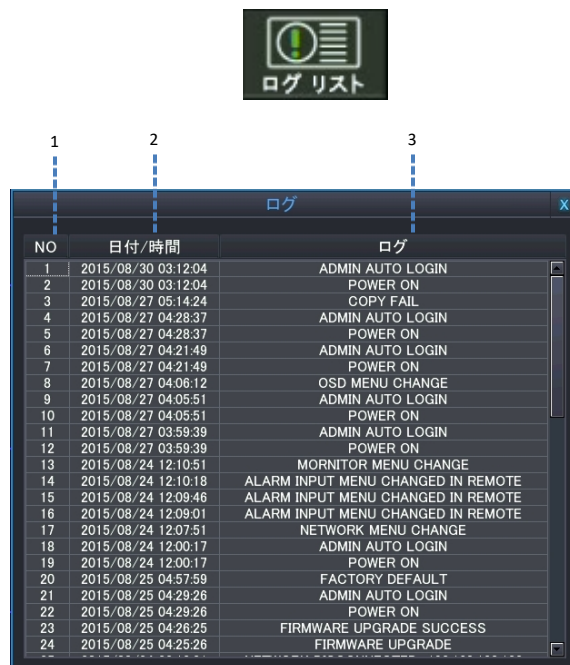


単一画面表示状態で、マウスの左ボタンを押したまま希望する領域をドラッグすると、選択された領域に対して拡大した映像を表示します。拡大表示状態でマウスをクリックすると、元のサイズでの表示になります。

- デジタルズーム機能は、リアルタイム監視画面と再生画面で使用できます。
- デジタルズームは '単一画面表示' 状態で使用可能です。

3.8 システムログ表示

下図に表示されたシステムログボタンを押すと、機器の主な履歴を表示するログが表示されます。



✚ 1 : 新たに発生したログが、一番上に表示されます。(最大10,000個のログが記録されます。)

✚ 2 : ログが発生した日付/時間を表示します。

✚ 3 : ログ情報を表示します。

✚ ログリストに登録されるログは次の通りです。

- Power ON/OFF: 電源 ON/OFF
- Backup Start: バックアップ実行
- Disk Format: HDDフォーマット実行
- Factory Default: 工場出荷状態に初期化
- Camera Menu Change: カメラ名変更
- PTZ Menu Change: PTZカメラ設定変更
- OSD Menu Change: OSD変更
- Monitor Menu Change: モニター設定変更
- Sequence Menu Change: シーケンシャル表示設定変更
- Date/Time Menu Change: 日付/時間 変更
- System Management Menu Change: システム管理メニュー変更
- Sound Menu Change: オーディオ設定変更
- User Management Menu Change: ユーザー管理設定変更

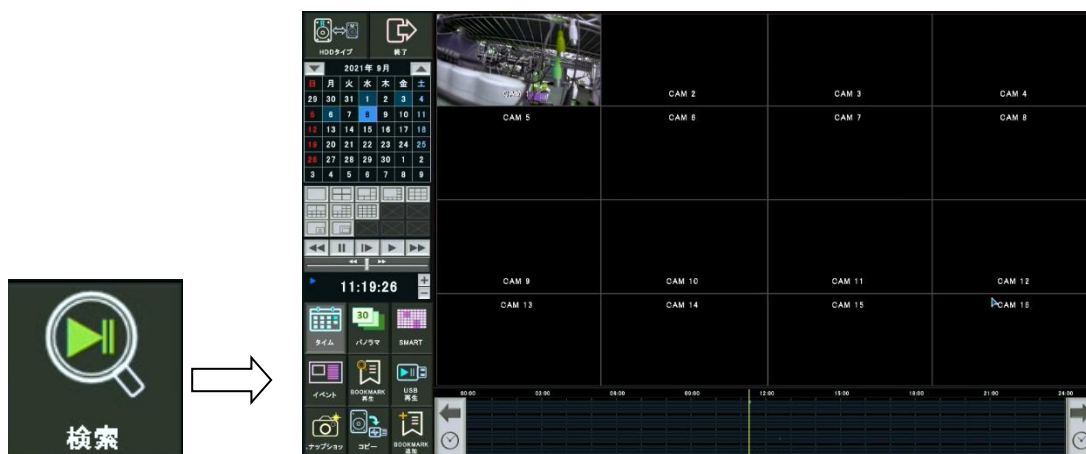
- Authority Menu Change: 権限設定変更
- Logout Menu Change: ログアウト設定変更
- Network Menu Change: ネットワーク設定変更
- DDNS Menu Change: DDNS設定変更
- Alarm In Menu Change: アラーム入力設定
- Alarm Out Menu Change: アラーム出力設定変更
- Buzzer Out Menu Change: ブザー出力設定変更
- E-Mail Notification Menu Change: Eメール設定変更
- Disk Management Menu Change: ディスク管理設定変更
- Record Configuration Change: 録画設定変更
- Record Schedule Change: 録画スケジュール変更
- Firmware Upgrade Success: システム設定からのファームウェアアップグレード成功
- Firmware Upgrade Fail: システム設定からのファームウェアアップグレード失敗
- Admin(User 1 ~ 10) Auto Login: 自動ログイン
- Admin(User 1 ~ 10) Login: ログイン
- Admin(User 1 ~ 10) Password Fail: パスワード間違い
- HDD 1(1 ~ 5) Error For Write: HDD書き込みエラー
- HDD 1(1 ~ 5) Fail For Write: HDD書き込み失敗
- HDD 1(1 ~ 5) Error For Read: HDD読み込みエラー
- HDD 1(1 ~ 5) Fail For Read: HDD読み込み失敗
- Network Connected : xxx.xxx.xxx.xxx: ネットワーク接続
- Time Adjust: 時刻補正
- Network Disconnected : xxx.xxx.xxx.xxx: ネットワーク切断
- Watchdog Reset: 自動復旧
- Menu Data Backup Succeeded: 設定値をUSBメモリーにバックアップ成功
- Menu Data Load Succeeded: 設定値をUSBメモリーから復元成功
- Menu Data Backup Failed: 設定値をUSBメモリーにバックアップ失敗
- Menu Data Load Failed: 設定値をUSBメモリーから復元失敗
- Camera Menu Changed In Remote: リモートでチャンネルタイトル変更
- PTZ Menu Changed In Remote: リモートでPTZ設定変更
- OSD Menu Changed In Remote: リモートでOSD設定変更

- Monitor Menu Changed In Remote: リモートでモニター設定変更
- Sequence Menu Changed In Remote: リモートでシーケンシャル設定変更
- Date&Time Menu Changed In Remote: リモートで日付/時刻 変更
- System Management Menu Changed in Remote: リモートでシステム管理設定変更
- User Management Menu Changed in Remote: リモートで管理メニュー変更
- Authority Menu Changed in Remote: リモートで権限変更
- To Logout Menu Changed in Remote: リモートでログアウト設定変更
- Network Menu Changed in Remote: リモートでネットワーク設定を変更
- DDNS Menu Changed in Remote: リモートでDDNS設定を変更
- E-Mail Menu Changed in Remote: リモートでEメール設定を変更
- Alarm input Menu Changed in Remote: リモートでアラーム入力設定変更
- Alarm Output Menu Changed in Remote: リモートでアラーム出力設定変更
- Buzzer Menu Changed in Remote: リモートでブザー設定変更
- E-Mail Event Menu Changed in Remote: リモートでイベントEメール設定変更
- Disk Menu Changed in Remote: リモートでディスク管理設定変更
- Continuous Record Menu Changed in Remote: リモートで常時録画設定変更
- Schedule Record Menu Changed in Remote: リモートで録画スケジュール変更
- Record Misc Menu Changed in Remote: リモートで録画設定変更
- FAN Error: ファン回転エラー
- Copy Success: コピー成功
- Copy Fail: コピー失敗
- Backup Start: バックアップ開始
- Backup Stop: バックアップ停止
- Power OFF: 電源OFF
- HDD [NUMBER] HAVE BEEN INSTALLED : DVRに搭載されているHDD表示
- HDD [NUMBER] HAVE BEEN REMOVED : DVRから削除されたHDD表示

4. 検索及び再生

4.1 検索 Window

カレンダーと時間選択表で時間検索を行います。



 <p>HDDタイプ</p> <p>再生HDD選択 (一般録画HDD ミラーリング録画 HDD)</p>	 <p>2020年 9月</p> <p>再生画面分割モード 変更</p>	 <p>再生画面分割モード 変更</p>	 <p>再生画面で再生画面PIP 表示</p>
 <p>再生動作制御 ジョグシャトル</p>	 <p>現在の再生時間 時間入力検索</p>	 <p>タイム</p> <p>カレンダー検索モード</p>	 <p>パノラマ</p> <p>パノラマ検索モード</p>
 <p>SMART</p> <p>スマート検索モード</p>	 <p>イベント</p> <p>イベント検索モード</p>	 <p>BOOKMARK 再生</p> <p>Bookmark 再生</p>	 <p>BOOKMARK 追加</p> <p>Bookmark 追加</p>
 <p>USB 再生</p> <p>USB ストレージ 再生 (*.dvr)</p>	 <p>コピー</p> <p>録画データコピー</p>	 <p>再生画面</p>	 <p>ナップショット</p> <p>再生スナップショット 一時停止/シングルチャ ンネルでのみ使用</p>



[録画タイムテーブル]

- ◆ : 録画テーブル間隔(基本間隔3時間)
- ◆ : マウスホイール(上・下)動作で録画テーブル間隔の調節
- ◆ : 録画テーブル時間移動



- ✚ 検索 HDD: 検索する HDDタイプを選択します。
 - 録画: 録画で設定されているHDDを検索する。
 - ミラー: ミラーリングで設定されているHDDを検索する。



- ✚ カレンダー: 検索する日付を選択するカレンダーを表示します。該当日付に録画データがある場合、明るい青色で表示されます。
 - 録画データがある日付を選択すると、その検索結果を時間単位で時間表示エリアに表示します。



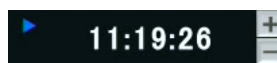
- ✚ 分割モード選択又は検索タイプを設定します



- ✚ 再生画面で再生画面PIP表示



- ✚ 再生制御: 検索画面の映像表示窓で、再生映像の再生速度等を制御します。



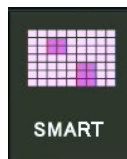
- ✚ 現在再生中の時間を表示します。そして、右側の上下ボタンを使用して目的の時刻を検索することができます。



- 📅 カレンダー検索モードで録画データ検索ができるようにする。



- 📅 目的のチャンネルを選択し、30枚の時分秒単位のパノラマ検索ができるようにする。



- 📅 希望するチャンネルを選択し、指定した領域に動きのある区間を検索できるようにする。



- 📅 イベント検索: 希望するイベント条件で検索します。



- 📅 Bookmark 指定した区間を検索できるようにします。



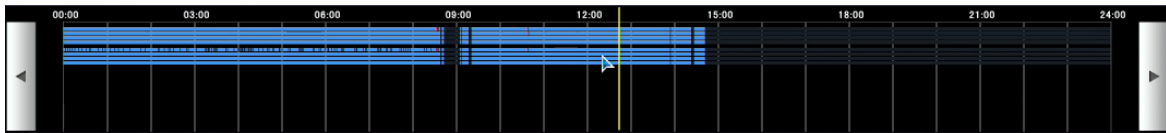
- 📅 再生中に必要な区間をBookmarkに指定する。





- 📅 USB保存デバイスにコピーされた*.dvr形式のバックアップデータを再生する。





- 📅 録画データをUSB保存装置にバックアップする。



 **00:00** **03:00** : 録画テーブル間隔(基本間隔3時間)

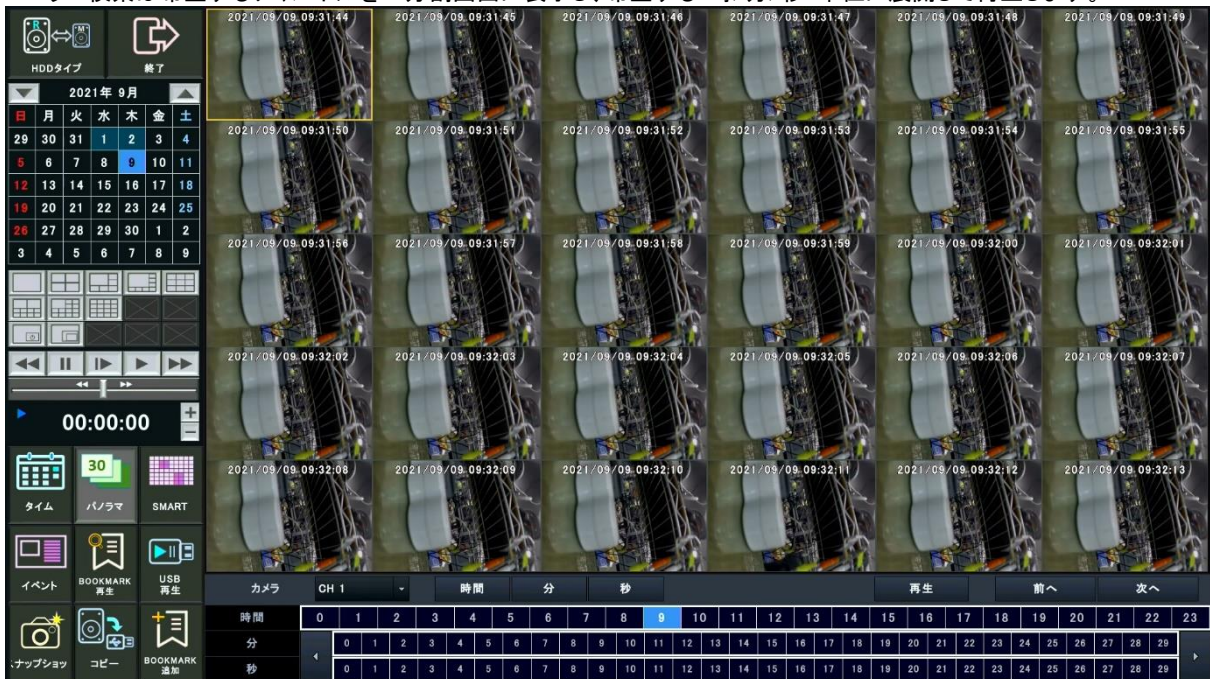
 マウスホイール(上/下)動作で録画テーブル間隔の調節

 ◀ ▶ : 録画テーブル時間移動






 黄色の垂直線をマウスドラッグ&ドロップし、希望する時間に再生を開始する。


4.2 パノラマ検索

パノラマ検索は希望するチャンネルを16分割画面に表示し、希望する 時/分/秒 単位に展開して再生します。



4.2.1 基本動作

-  選択したチャンネルを、時間単位で30分割画面で表示します。
-  マウスをダブルクリックして 30 分割画面の領域を選択します。
-  30分割画面で希望する時間(時)を選択すると、分単位で表示できます。
-  30分割画面で希望する分を選択すると、秒単位で表示できます。
-  下のボタンを押して、単位検索の変更や次の時間を表示できます。

 **再生** : 選択した時間の再生をします。



- 上図のようにパノラマ検索で選択した時間は、自動的にバックアップメニューの開始時間に入力されます。終了時間は、10分後まで入力できます。

- **時間** : パノラマ検索単位で移動する。(例:現在が分単位検索の場合、時間単位検索に移動)
- **分** : パノラマ検索を分単位で移動する。(例:現在が時間単位検索の場合、分単位検索に移動)
- **秒** : パノラマ検索を秒単位で移動する。(例:現在が分単位検索の場合、秒単位検索に移動)
- **前へ** : パノラマ検索で、前の時間に移動する(例:現在17~33秒検索の場合、1から16秒検索に移動)
- **次へ** : パノラマ検索で次の時間に移動する。(例:現座1~16秒検索の場合、17~33秒検索に移動)
- **チャンネル CH1** : 選択したチャンネルをパノラマ検索する。

4.3 イベント検索



イベント検索の時間選択は上図のように‘タイムバー’から希望する時間をマウスで選択し設定します。

- イベントリストは、一度に 20 個ずつ 25 ページまで表示します。(最大 500 件)
- イベントリストが 500 件を超えたら、イベント検索開始時間を調節して再度検索してください。

4.4 SMART検索



希望するチャンネルを選択し、指定した領域に動きのある区間を検索できるようにする。



再生PreviewWindowでマウスで検索したい領域を指定して検索を押すと、領域に動きが感知された時間を検索する。



4.5 バックアップ



- 📅 開始: 録画したデータのバックアップ時間を設定します。
- 📅 終了: 録画したデータのバックアップ終了時間を設定します。
- 📅 タグ名: バックアップするデータが記録されるファイル名を指定します。
- 📅 装置: バックアップするデータを記録する保存装置を選択します。
- 📅 チャンネル選択: 録画したデータからバックアップするチャンネルを選択します。
- 📅 バックアップ開始: 選択した時間と条件でバックアップを開始します。バックアップを開始した後は、

バックアップ画面に進行状況が表示され、‘コピー停止’を選択するとバックアップを中止できます。

USB メモリーにバックアップが正常に行われない場合、ディスクメニューの フォーマットメニューを使用して USB メモリーをフォーマットします。

5. 設定

ステータスバーで設定メニューを選択するかリモコンでメニューを選択すると下記のような画面が表示される。



5.1 カメラメニュー設定

チャンネル名, 映像, PTZ, CAMポートなどの設定を行う。主メニューでカメラを選択する。



5.1.1 タイトル名設定

🌈 チャンネル名: カメラ表示名を設定する。バーチャルキーボードから最大10文字までの英文名が表示可能です。

- 日本語は入力できません。



5.1.2 映像


カメラ映像の明るさ / コントラスト / 色合い / 彩度 の調整..









0~ 100%まで選択できます。設定するには上記図の50%タブを右ダブルクリックすると下記の図のような設定画面がポップアップしますので調整が可能です。

... ボタンを押すと該当チャンネルの現在SD HDELAY / SD VDELAY 表示します。



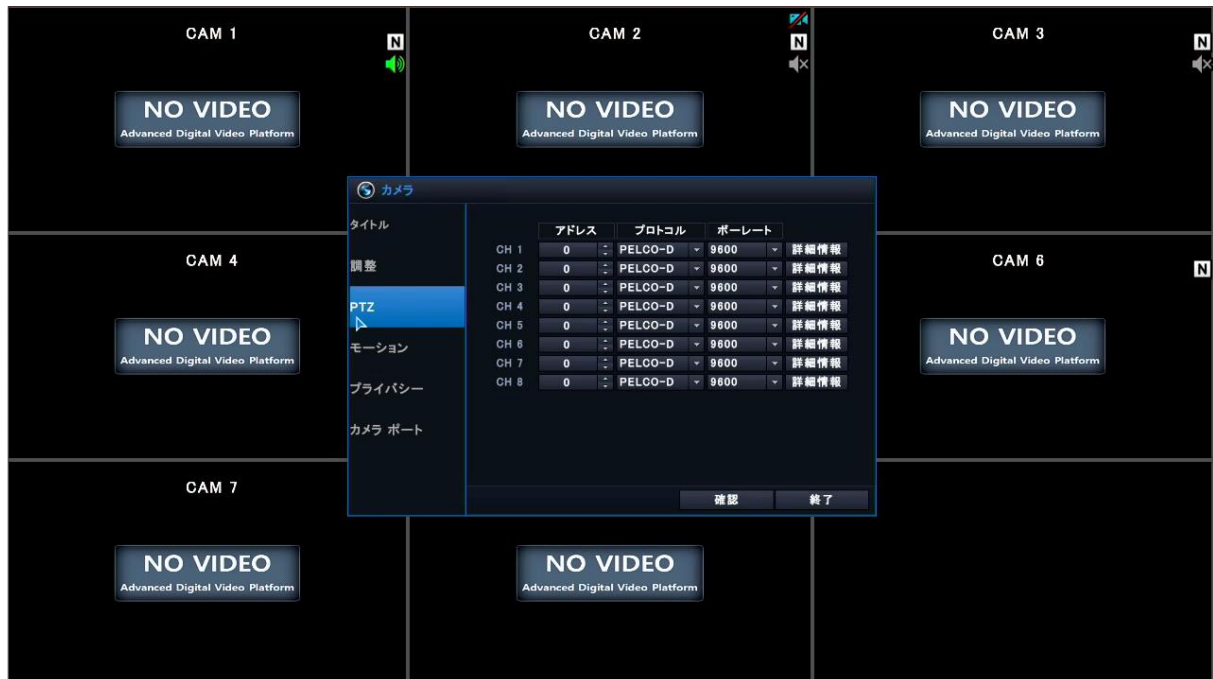
 **SETUP** : 選択したチャンネルの映像画面を補正できます。



-  **明るさ** : 入力カメラの明るさ程度を設定することができます。
-  **コントラスト** : 入力カメラの一番明るい部分と一番暗い部分との相対的な差を設定することができます。
-  **色相** : 入力カメラの色相を設定することができます。
-  **彩度** : 入力カメラの彩度を設定することができます。
-  **SHARP** : 入力カメラの SHARP を設定することができます。
-  **SD HDELAY** : SD(アナログ)カメラ映像の水平位置を調節します。

- SD VDELAY : SD(アナログ)カメラ映像の垂直位置を調整します。

5.1.3 PTZ



- アドレス: RS-485 に接続したPTZカメラのID番号
- プロトコル: PTZ 制御に使用されるプロトコルを選択(PELCO-D, PELCO-P, PELCO-C, et c)
- PELCO-C : TVI カメラは Coaxtron方式を使いカメラのメニューの操作ができます。
HIK Type 1 or 2を選択します。
- ボーレート: RS-485 速度選択
- 詳細設定: 自動フォーカス, 自動アイリス(IRIS), パンチルト速度, ズーム速度, フォーカス調整速度, IRIS速度などのPTZ詳細設定
- 自動フォーカス, 自動アイリス機能は一部 PTZ カメラと互換性がありません。

5.1.4 モーション

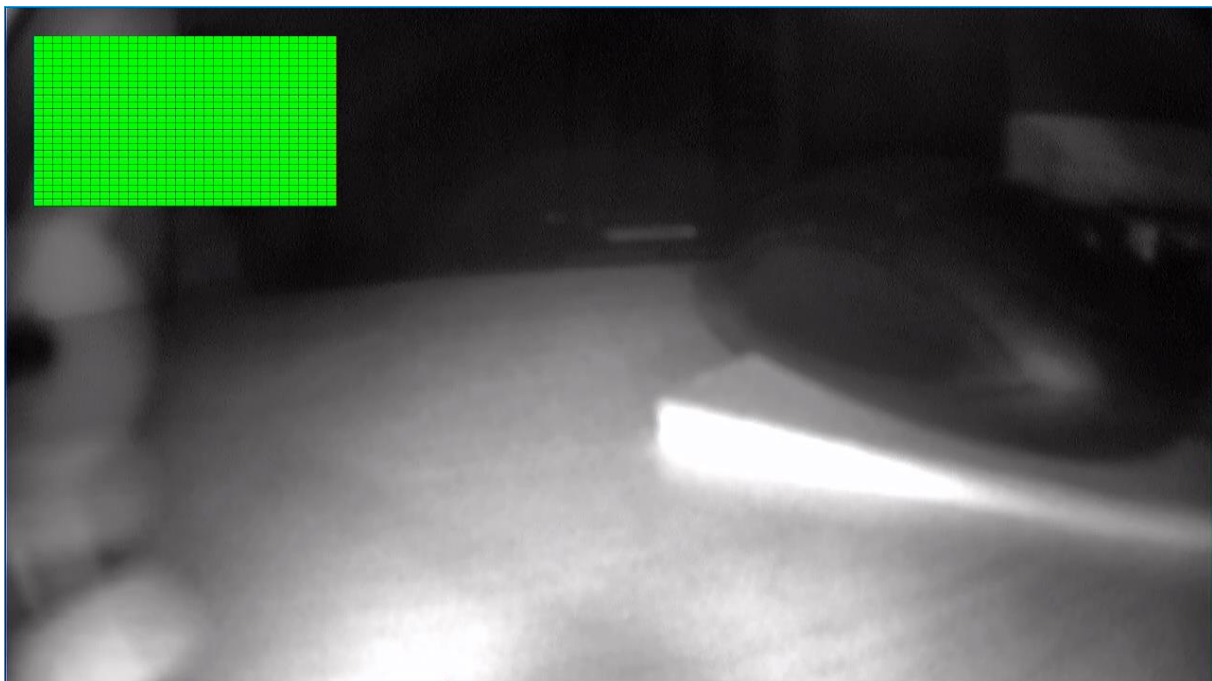
モーション領域及び感度設定の変更。



感度: 1 ~ 10まで選択可能。値が大きいほどモーション検知感度が高い。

- 感度 1: 動き検知感度が鈍感
- 感度10: 動き検知感度が敏感

領域設定: モーション検知する領域を選択。32x24で領域設定可能。



- 領域設定ボタンをクリックすると上記のような領域設定メニューに入る。
- マウス左クリックを押したままマウスを動かし領域を設定。
- 青色で選択された領域がモーション動作を検知する領域。
- 領域設定した範囲に動きが検知されるとモーション検知を画面で確認できる。
- 多数の領域を指定可能。



- 全体選択: チャンネルの全体画面をモーション領域で指定する。
- 全体解除: チャンネルの全体画面をモーション領域から削除する。
- 保存後終了: 設定した領域を保存した後、メニューを閉じる。
- キャンセル: 選択した領域設定をキャンセルする。

5.1.5 プライバシー設定

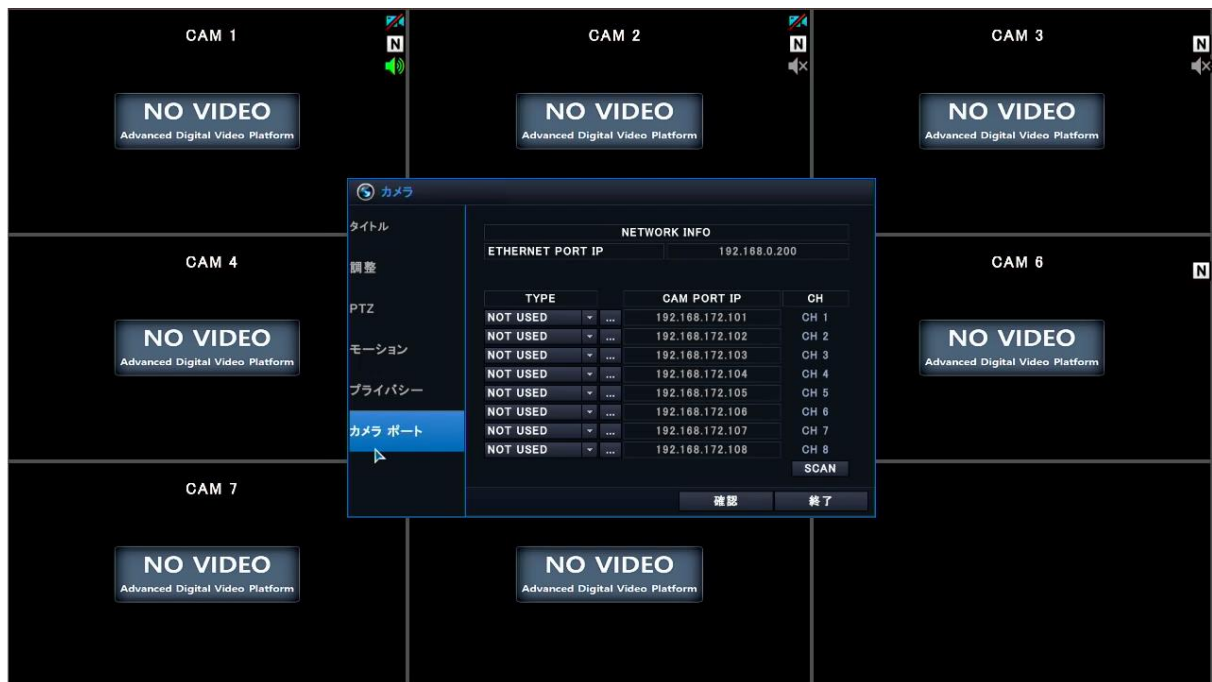
カメラの映像の一部を隠すことが可能です。



- 📏 エリア設定 : カメラの映像の中で隠すエリアを設定します。

5.1.6 カメラポート

DVRのカメラポートに接続するIPカメラに関する設定です。DVRにIPカメラを接続する前にネットワークメニューのIP 設定とローカルポートの設定を環境に合わせて設定してください。



➤ マニュアル：ネットワーク上にあるIPカメラをNVRに接続して使うときに使用します。

- ✓ 手動でIPカメラを接続する場合、イーサネットまたはローカルポートを選択して接続することができます。
- ✓ イーサネット: イーサネットポートに接続する場合、'イーサネット'を選択します。
- ✓ ローカル: ローカルポートに接続する場合、'ローカル'を選択します。
- ✓ 取り消し：マニュアル接続をキャンセルします。

● 手動に接続の際、Frame と GOP はいつも同一に設定しなければなりません。

➤ RTSP URL: DVRでサポートしないカメラを接続する際、映像だけを表示できるようにRTSPをサポートします。

● RTSP に接続の際、ビデオ映像だけを持ってくるので、モーション/アラームなどの機能を使用できません。

● RTSP に接続の際、Frame と GOP はいつも同一に設定しなければなりません。

● 接続した IP カメラの ID とパスワードの設定値が基本値と違えば、“詳細な設定” [] を用いて正しく指定しなければなりません。

✚ 詳細な設定 ([]): DVRに接続するIPカメラ情報を入力できます。IPカメラの基本設定値が自動で入力されています。

● DVR に接続する IP カメラの IP アドレス/RTSP ポート / HTTP ポート / HTTP 形式/ID /パスワードが初期値ではない場合、DVR の設定を変更しなければなりません。

IPカメラ 設定 (CH 5).

IPアドレス 192.168.1.206

RTSP ポート 554

HTTP ポート 80

HTTPタイプ HTTP

ユーザーID

パスワード

モデル VISION

Cfg. ENABLE ON OFF

設定 取消

- IPアドレス : DVRに接続するIPカメラのIPアドレスを入力します。
- ✓ 基本値: 4チャンネル: 192.168.1.201 ~ 204 / 16チャンネル: 192.168.1.201 ~ 216
- RTSPポート : DVRに接続するIPカメラのRTSPポートを入力します。
- ✓ 基本値 : 554
- RTSPポートの設定値がIPカメラと異なる場合、下記のようなメッセージが画面に表示されます。



- HTTPポート: DVRに接続するIPカメラのHTTPポートを入力します。
- ✓ 基本値 : 80
- HTTPポートの設定値がIPカメラと異なる場合、下記のようなメッセージが画面に表示されます。



- HTTP形式 : DVRに接続するIPカメラのHTTP形式を指定します。
- ✓ 基本値 : HTTP
- ユーザーID : DVRに接続するIPカメラのユーザーIDを入力します。
- ✓ 基本値 : admin
- パスワード : DVRに接続するIPカメラのユーザーパスワードを入力します。
- ✓ 基本値 : Onvif カメラの初期パスワード
- DVRにつなげようとするIPカメラの情報が一致しないと、ライブ監視および録画ができません。
- モデル : DVRからサポートするIPカメラのモデルを表示します。

- Cfg. ENABLE : ONIにすると手動で接続したカメラの録画 / カラー設定を録画機で設定できます。

🌈 スキャン : NVRからサポートするIPカメラを検索します。



- ネットワーク上にある IP カメラを接続する際に使用し、IP カメラ接続形式が手動の時、使用します。
 - モデル : ネットワーク上にある検索されたIPカメラを表示します。
 - MAC : ネットワーク上にある検索されたIPカメラのMACアドレスを表示します。
 - IP : ネットワーク上にある検索されたIPカメラのIPアドレスを表示します。
 - CH : NVRに接続されたIPカメラのチャンネルを表示します。
 - CHマッピング: ネットワーク上にある検索されたIPカメラをNVRチャンネルに割り当てることができます。
- CH マッピングをして NVR に IP カメラを接続する時は必ず NVR の接続しようとする Network ポート(イーサネットポート又はローカルポート)と IP カメラの IP アドレスが同じセグメントに位置しなければならないです。
 - **割り当てる** : Scan完了されたIP CameraをScan Listから選択してNVRに希望のチャンネルに割り当てる。
 - **CH 01** : NVRに 割り当てる チャンネルを選択する。
 - **スキャン** : SCANを実行する。
 - **ONVIF** : ONVIF ProtocolでSCANする。

5.2画面設定メニュー設定

画面上の表示情報、画面出力と関連ある設定を変更できます。



5.2.1 OSD

本体の表示関連情報の設定変更。カメラタイトル / 境界線色 / 言語などを設定。



- ✚ ツールバー表示時間: リアルタイム監視画面上で下に表示されるステータスバーの表示時間を設定。
- ✚ 時間表示 : 再生画面の時間表示のON/OFF。
- ✚ カメラタイトル表示: カメラメニュー上で設定されたチャンネルタイトルの表示のON/OFF。
- ✚ 録画状態アイコン表示: 録画ON/OFF 及び録画モード(連続録画, イベント録画など)を知らせるアイコンの表示のON/OFF。
- ✚ 境界線 : 分割画面表示のとき, カメラとカメラ間の境界線色の選択。
- ✚ 境界線色 : 境界線を表示する場合,境界線の表示色の選択。
- ✚ イベントアイコン表示: 動き検知, センサー, ビデオロスなどのイベントを表示するアイコンの表示ON/OFF。

🚦 言語: システム言語を設定. 最初は日本語に設定されている。

➤ サポート言語: 英語 / 韓国語 / ドイツ語 / ポランド語 / 日本語 / 中国語 / ロシア語

5.2.2 モニター設定

本体の出力解像度 / ポップアップ動作 などを変更できる。



- 🚦 アラームポップアップモード: アラーム(センサー入力)が発生したチャンネルに対し単一画面表示モードでポップアップ映像の表示ON/OFFを設定。
- 🚦 アラームポップアップ保持時間: アラームポップアップモードを使用する場合,単一画面表示モードに移動後その状態を維持する時間を設定。継続的にアラームが発生した場合はポップアップした状態を継続維持する。
- 🚦 モーションポップアップモード: 動きを検知するチャンネルに対し単一画面表示モードに移動し映像表示ON/OFF。
- 🚦 モーションポップアップ保持時間: モーションポップアップモードを使用する場合, 一画面表示モードに移動し、その状態を維持する時間を指定。そのチャンネルで連続的に動きが検知される場合、画面は状態を維持する。
- 🚦 メイン映像出力解像度: デジタル映像出力とVGAで出力される映像の解像度を決定。1024x768 / 1280x1024 / 720P / 1080P / 2560x1440 / 3840x2160 中から選択可能で、使用者が使用するモニターに最適化された解像度を設定する。OK ボタンを押すと変更された設定が適用される。
 - モニターが HD 解像度をサポートしない場合は、本体の解像度を VGA 解像度に変更し使用してください。
 - 720p / 1080p 解像度を VGA ケーブルを使用して接続する際には VGA ケーブルを接続してから 本体の電源を ON にしてください。
 - 工場出荷解像度値は 1024x768 なので 1024x768 の解像度をサポートするモニターが必要です。

解像度	水平 (KHz)	垂直 (Hz)
1024x768	48	60
1280x720	45	60
1280x1024	63	59

1920x1080

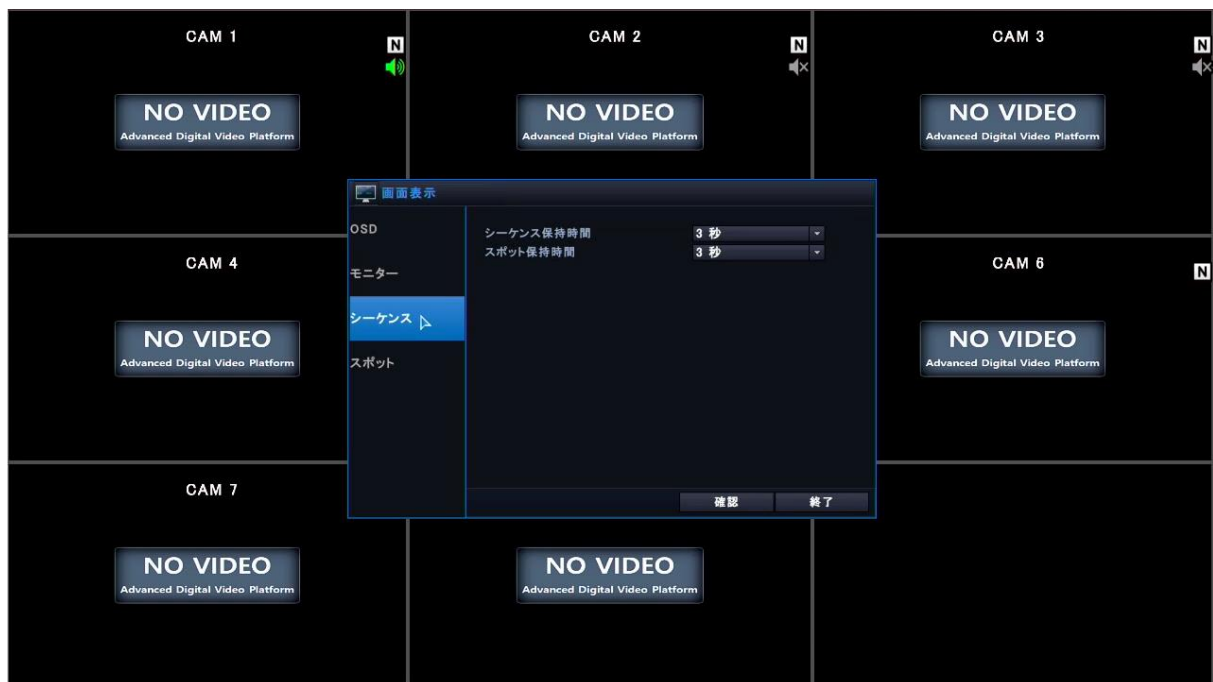
68

60

- ビデオロス無効時間：ビデオロス発生後、ビデオロスを見逃す時間を設定する。
- ビデオロス有効/無効：ビデオロス検知動作の有/無をチャンネル別に設定する。

5.2.3 シーケンス

自動シーケンシャルの時間の設定



- シーケンス保持時間：各チャンネルの出力を保持する時間の設定。設定した時間が過ぎると次のチャンネルへ移動します。
- スポット保持時間：スポットの出力を保持する時間を設定。

5.2.4 スポット

スポットモニター出力の映像をシングル画面または分割画面で設定できます。



- スポットマスク：スポット出力のチャンネルを隠すことが可能です。
- スポット動作モード：スポット出力画面のシングル画面または分割モードを選択できます。
- シングル出力モード：スポット動作モードをシングルにした時、DVRの起動後の表示チャンネルを設定します。
- 4マルチモード：スポット動作モードを分割にした時にDVRの起動後の表示画面を選択できます。
- 9マルチモード：スポット動作モードを分割にした時にDVRの起動後の表示画面を選択できます。(8CH / 16CH DVRのみ)

5.3 ディスク設定

保存装置に関連した設定。

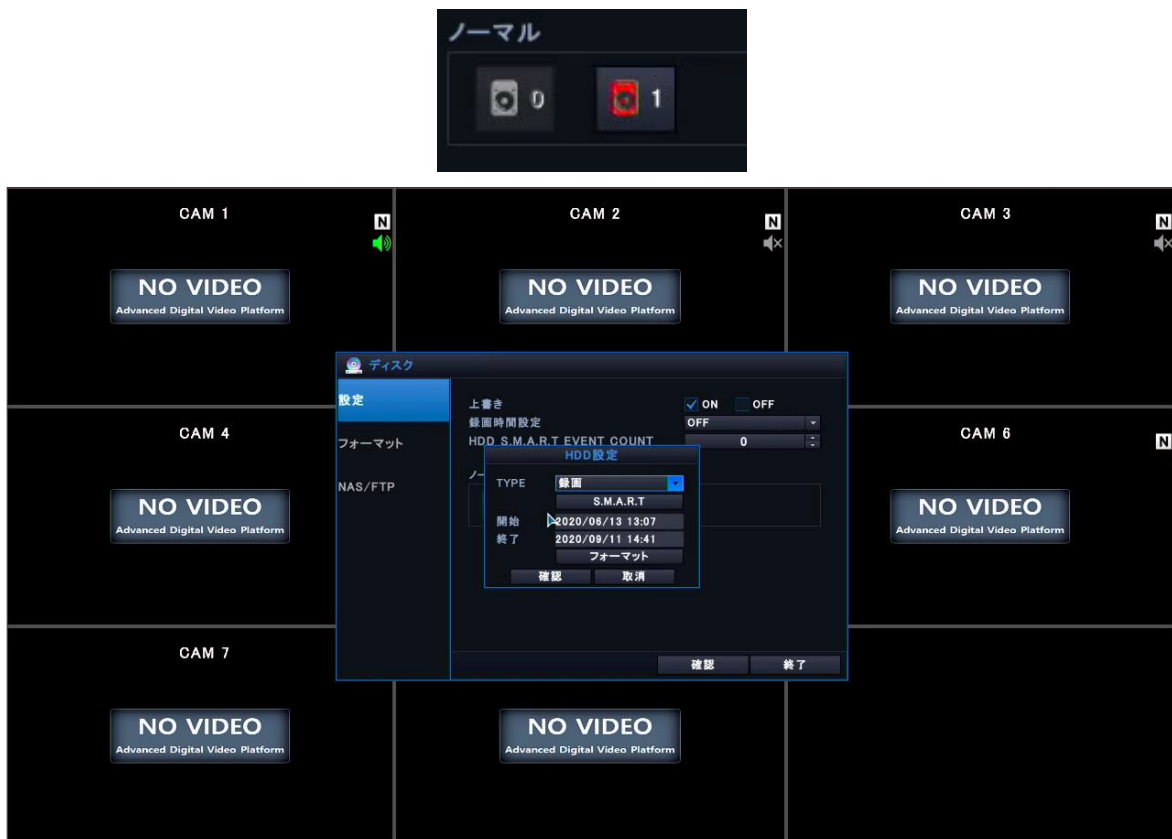


5.3.1 設定



- + 上書き: HDDが録画データで一杯になった場合、古いデータを削除して新しいデータを保存するモード。
- + 録画時間設定: 録画されている映像の保存期限を指定する。(12時間 ~ 2ヶ月)
- + HDD S.M.A.R.T EVENT COUNT : HDDの S.M.A.R.T エラーが発生した時、エラーを感知する基準値を設定。
 - Reallocated sector count : 不良セクター
 - Current pending sector count : 代替処理待機セクタ数
 - Uncorrectable sector count : 回復不可能なセクター数
 - 3ヶ所 RAW 合計(1-99:任意設定)になった場合、SMART エラーのシステムログを記録。設定値以上になった場合、イベント出力する。
 - Spinup retry count : カウントされた場合、SMART エラーシステムログを記録

- 録画HDD設定: 本体に接続されているHDDを録画モードまたはミラーモードに設定する。赤色で表示されているHDDアイコンを押すとHDDの動作設定及びS.M.A.R.T情報を表示する。



- 録画: 選択したHDDを録画モードで使用する。
- ミラー: 選択したHDDをミラーリングモードで使用する。
- ミラーリング動作設定方法
- ミラーリング動作を使うためには最低2台の HDD が必要です。
- ミラーリング動作に使用可能な HDD は、互換性 List を参照ください。
- 1) 2つのHDDを装着後、録画で使用するHDDを選択しHDD TYPEを録画に設定する。



- 2) 2つのHDDを装着後、ミラーリングで使用するHDDを選択しHDD TYPEをミラーリングに設定する。



- 設定を保存して録画メニューへ移動する。

- 録画メニューのその他設定へ移動する。
- ミラーリング設定をONにする。
- ミラーリングタイプを「全て」または「イベント」に設定する。
 - ✓ 全て：録画HDDに記録されるデータをミラーリング HDDへも記録する。
 - ✓ イベント：録画HDDの動作に関係なくイベントが発生した時のデータをミラーリングHDDに記録する。
- ミラーリングHDDに記録するチャンネルを選択する。
 - ✓ 録画HDDに関係なく、選択したチャンネルのみミラーリング HDDに記録する。

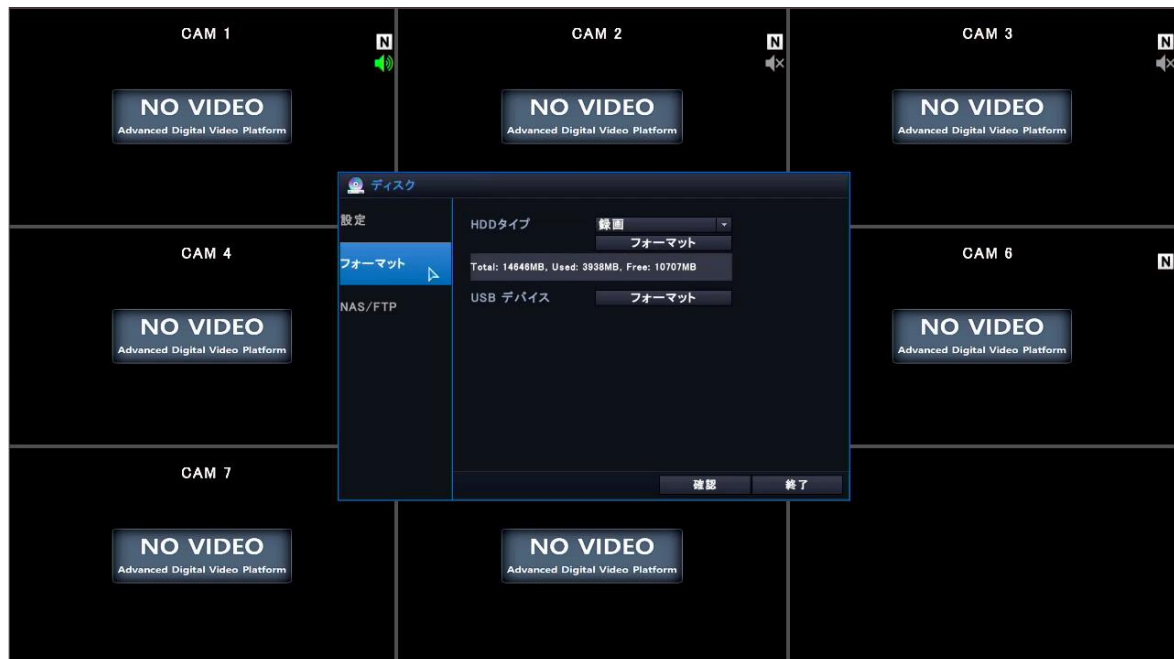


- ✚ S.M.A.R.T：該当するHDD のS.M.A.R.T 情報及び状態を確認できる。

HDD S.M.A.R.T					
HDD 3 S.M.A.R.T RESULT					
GOOD					
ENTRY	CURRENT	WORST	RAW	TYPE	UPDATE
RAW READ ERROR RATE	100	253	0	Pre-fail	Always
SPINUP TIME	191	189	5408	Pre-fail	Always
START/STOP COUNT	100	100	21	Old-age	Always
REALLOCATED SECTOR COUNT	200	200	0	Pre-fail	Always
SEEK ERROR RATE	100	253	0	Old-age	Always
POWER-ON HOURS COUNT	100	100	75	Old-age	Always
SPINUP RETRY COUNT	100	253	0	Old-age	Always
CALIBRATION RETRY COUNT	100	253	0	Old-age	Always
POWER CYCLE COUNT	100	100	21	Old-age	Always
POWER-OFF RETRACT COUNT	200	200	19	Old-age	Always
LOAD/UNLOAD CYCLE COUNT	200	200	48	Old-age	Always
HDA TEMPERATURE	115	110	35	Old-age	Always
REALLOCATION COUNT	200	200	0	Old-age	Always
CURRENT PENDING SECTOR C...	200	200	0	Old-age	Always
UNCORRECTABLE SECTOR CO...	100	253	0	Old-age	Offline
UDMA CRC ERROR RATE	200	200	0	Old-age	Always
WRITE ERROR RATE	100	253	0	Old-age	Offline

- GOOD: HDDの S.M.A.R.T 診断機能による結果が良好なことを意味する。
- BAD: HDDの S.M.A.R.T 診断機能による結果が良くないことを意味する。
- HDD の S.M.A.R.T 情報は HDD によりサポートしない場合があります。

5.3.2 フォーマット



🚦 HDD タイプ: 初期化する HDDを選択する。

- 録画: 録画HDDを初期化する。
- ミラーリング: ミラーリングHDDを初期化する。
- HDD フォーマットにかかる時間は容量により異なります。

🚦 Total: 14846MB, Used: 3938MB, Free: 10707MB

- USB デバイスの合計容量と使用可能な容量を表示します

🚦 USBデバイス: 本体でフォーマットするUSBメモリーの接続を選択する。

- USB メモリー及び外付け HDD のフォーマットが可能。
- フォーマットすると全てのデータが削除されるので注意してください。

5.3.3 NAS INFORMATION



🚦 NAS BACKUP : Backup時、NASでBackup場所を指定しBackupできます。

- HOST NAME : NAS保存デバイスのアドレスを設定します。
- BACKUP DIRECTORY : NAS保存先デバイスのフォルダーを設定します。
- ユーザ ID : NAS保存デバイスのユーザーIDを設定します。
- パスワード : NAS保存デバイスのユーザーパスワードを設定します。

🚦 FTP BACKUP : FTP Serverを指定しEvent発生時、自動にFTPにBackupできます。

- HOST NAME : 使用するFTP Serverのアドレスを設定します。
- PORT : 使用する FTP ServerのPortを指定します。
- REMOTE DIRECTORY : 使用する FTP Serverのディレクトリーを設定します。
- USER ID : 使用する FTP Serverに登録したユーザーアカウントを設定します。
- PASSWORD : 使用するFTP Serverに登録したユーザーパスワードを設定します。
- TYPE : FTP ServerにBackupする File Formatを指定します。
- DURATION : Event 発生時、FTP Serverに Backupする時間を指定します。

● NASServer と FTP Sever はメーカーのサービスを利用せず、ユーザー個人で運用して使用する。

5.4 システムメニュー設定

本体の詳細機能などを設定。



5.4.1 日付 / 時間

🚦 日付 / 時間: 録画機の時計を設定する。

- 🔴 日付 / 時間を変更したあとは必ず(適用)をクリックし適用してください。
- 🔴 日付 / 時間を設定するとき、時間が重複して設定された場合、録画データの誤りが生じることがあります。

🚦 日付表示形式: 日付表示形式を設定する。

- 🔴 YYYY/MM/DD(年/月/日), MM/DD/YYYY(月/日/年), DD/MM/YYYY(日/月/年)

🚦 時間表示形式: 時間表示形式を設定する。

- 🔴 24 Hour(24 時間), AM/PM

🚦 タイムサーバー: DVRがネットワークに接続されている場合、時間の同期に使用するNTPサーバーを設定する。

🚦 自動同期: 時間同期機能を使用する場合、同期する周期を設定する。

🚦 タイムゾーン設定: 本体が設置されている地域のタイムゾーンを設定する。

- タイムゾーン設定時、同一時間があるとデータの誤りが生じることがあります。
- ✚ D.S.T: ON設定時サマータイムが適用され、設定されている期間の間、時間が1時間早くなります。期間が過ぎると元に戻ります。
 - 開始: D.S.Tの開始時間
 - 終了: D.S.Tの終了時間

5.4.2 管理

録画機のシステム情報 / ファームウェアアップグレードなどを行う。



- ✚ システム情報: '情報' ボタンを押すと下記のようなシステム詳細情報が確認出来る。



- ファームウェアバージョン: 本体のファームウェアのバージョンを表示する。

- ハードウェアバージョン: 本体のハードウェアバージョンを表示する。
 - UI バージョン: 本体の使用者インターフェイス(UI)のバージョンを表示する。
 - ビデオ信号方式: 本体が動作している信号方式を表示する。(NTSC/PAL)
 - HDD: 本体に内蔵されているHDDの全体容量とモデル番号を表示する。
 - IPアドレス: 本体のイーサネットポートIPアドレスを表示する。
 - MAC アドレス: MAC アドレスが表示される。
 - DDNS サーバーアドレス: DDNS(Dynamic Domain Name Service)を使用する場合、該当サーバーが表示される。
 - DVRサービスポート: 本体のネットワークが使用するポート番号
 - ウェブサービスポート: 内蔵ウェブサーバーが使用するポート番号
 - ファンステータス: 本体の冷却ファン回転速度(RPM)を表示する。
 - 冷却ファン回転速度が一定以下に下がると警報音が発生する。
- ✚ システム名称: e-mail及び本体で装置を区別するための名前として使用され、最大15文字まで指定可能。
- ✚ F/W アップグレード: 新しいファームウェアにアップグレードするときに使用する。
- ✚ 工場出荷時設定: 設定を工場出荷地に戻す。
- ✚ システム設定、ログ: 設定内容やログをUSBメモリーへ保存や、保存した内容を本体に読み込みます。
- 注意) 16チャンネル録画機: 前面部の USB ポートを使用する。
- ✚ ビデオ信号方式: カメラの信号方式、日本はNTSC。
- ビデオ信号方式を変更する際には本体の電源を ON/OFF する。
- ✚ オートログイン: 本体のログイン動作を自動/手動で設定する。自動ログイン動作をONにすると、最初の起動時に自動で管理者パスワードでログインする。自動ログイン動作をOFFにすると、最初に起動するときパスワードを入力する必要がある。
- ✚ パスワード有効期限 : 録画機のセキュリティのため、パスワードを90日ごとに変更するように設定します。
- ON : パスワード設定から90日経過した後、録画機起動時にパスワード変更するよう通知を表示します。
 - OFF : パスワード有効期間の設定をOFFします。
- ✚ FAN チェック : FANが故障になった場合、FANの故障感知をON/OFFできます。
- ✓ ON : FANの故障時、故障を感知して録画機でアラーム表示及び ブザー 音発生。
 - ✓ OFF : FAN故障時の録画機で感知しない。

5.4.3 音声



- 🚦 ライブ音声: 入力される音声をリアルタイム監視画面に出力する設定。
- 🚦 デフォルト音声チャンネル: 起動時、最初に出力する音声チャンネルを設定する。
- 🚦 ボタン動作音: リモコンまたは前面部のボタン使用時、ブザー音の指定。
- 🚦 オーディオ1アサイン: オーディオ1に接続された音声を録音するチャンネルの設定。
- 🚦 オーディオ2アサイン: オーディオ2に接続された音声を録音するチャンネルの設定。
- 🚦 オーディオ3アサイン: オーディオ3に接続された音声を録音するチャンネルの設定。
- 🚦 オーディオ4アサイン: オーディオ4に接続された音声を録音するチャンネルの設定。

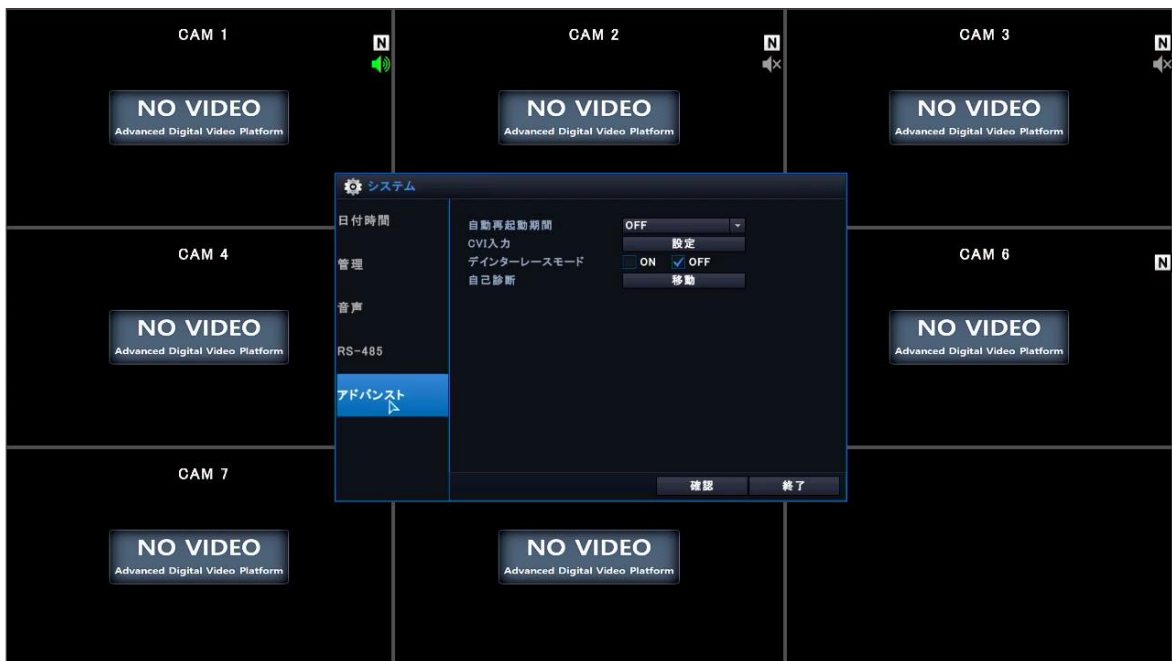
5.4.4 RS-485



- ✚ SYSTEM ID : RS-485へ接続するデバイスのIDを設定します。
- ✚ BAUD RATE : RS-485へ接続するデバイスのBAUD RATEを設定します。
- ✚ DATA BIT : RS-485へ接続するデバイスのDATA BITを設定します。
- ✚ PARITY BIT : RS-485へ接続するデバイスのPARITY BITを設定します。
- ✚ STOP BIT : RS-485へ接続するデバイスのSTOP BITを設定します。

5.4.5 ADVANCED

録画機の付加機能設定をする。



- + 自動再起動其間：録画機を一定周期毎に自動再起動するように設定する。
 - OFF：自動リブート機能 OFF
 - 毎日：毎日23:59:59秒にReboot実施
 - 毎週:毎週土曜日23:59:59秒にReboot実施
 - 毎月:毎月最終日23:59:59秒にRebootを実施

- + CVI 入力：チャンネル毎にCVIカメラの入力をサポートするかどうかを設定します。
 - ON：CVI カメラ入力時に認識するように設定します。
 - OFF：CVI カメラ入力時に認識しないように設定します。
 - CVI カメラの入力を ON にする場合、一部のカメラ映像が正常に表示されないことがあります。

- + DE-INTERLACED MODE：De-Interlacedは一度に一つのフレームを表示する装置のために、Interlaceで撮影された画面を強制的にProgressiveに似た画面にする作業を言います。
 - De-Interlaced ON：設定した後、録画データのFrameがダブって見えるような現象を改善して録画されます。(動きのない映像を録画する際、違いを確認するのは難しいです。)
 - De-Interlaced 効果を与えて録画すると、くし目模様の現象を減少させることができます。
 - D1 級カメラを使用しない場合は De-Interlaced を OFF に設定し、D1 級カメラを使用する場合は De-Interlaced を ON に設定して録画することをお勧めします。
 - 但し、De-Interlaced ON 設定時には CPU の性能が一部より多く使用されるため、AHD/TVI などのアナログ HD 級カメラ使用時は OFF を使用することをお勧めします。

- + SELF-DIAGNOSIS ACTIVATION：録画機の基本状態情報を収集して表示します。

5.5 イベント / センサー

アラーム入出力、ブザー出力、イベントに関する動作などを設定する。



5.5.1 センサー入力



センサー入力端子からのアラーム入力に対し動作条件を設定する。

- ✚ 動作: 該当チャンネルのアラーム入力検知の設定。
 - 未使用: 該当チャンネルのアラーム入力を使用しない。
 - 使用: 該当チャンネルのアラーム入力を使用する。
- ✚ タイプ: 使用するアラーム入力信号の仕様を設定する。
 - N/O: Normal Openの略で、通常は信号がオープン状態。アラームが発生した場合、クローズになる形式の場合使用する。
 - N/C: Normal Closeの略で、通常は信号がクローズ状態。アラームが発生した場合、オープンになる形式の場合使用する。
- ✚ テキスト: センサーからアラームが検知された場合、映像チャンネルのタイトルに表示する名前を設定する。
- ✚ CHANNEL MAPPING : DVRの入力されるセンサーとチャンネルを連動して使用できます。



5.5.2 アラーム出力



アラーム出力(リレー出力)に関連した設定。

アラーム出力: 出力するリレーを選択する。

- + 動作: 選択されたリレー出力を設定する。
 - 未使用: 選択されたリレーを使用しない。
 - 使用: 選択されたリレーを使用する。
- + 出力方式: リレー出力の動作方式を設定する。
 - すぐに終了: アラームを発生させたイベントが継続される間だけアラームを出力する方式。

- 持続時間維持: アラームを発生させたイベントがなくなった時点から設定時間維持した後にアラームを解除する方式。
- ✚ 時間: ‘出力方式’ が持続時間維持モードの場合に適用する持続時間の設定。
- ✚ タイプ: リレー出力の動作方式を設定します。
 - N/O: Normal Openの略で、通常は信号がオープン状態だが、アラームが発生した場合、クローズになる形式の場合使用する。
 - N/C: Normal Closeの略で、通常は信号がクローズ状態だが、アラームが発生した場合、オープンになる形式の場合使用する。
- ✚ HDD イベント: HDDと関連したイベントが発生した場合、アラーム出力を設定する。
- ✚ ADVANCED CONFIGURATION : リレー出力に使用するイベントを選択します。
 - Fan停止 / HDD S.M.A.R.T / 録画停止についてリレー出力を設定します。



- ✚ センサー: 入力センサーが検知された場合のアラーム出力を設定。
- ✚ ビデオロス: ビデオロスが発生した場合のアラーム出力を各チャンネル別に設定。
- ✚ モーション: 映像の動きが検知された場合のアラーム出力を設定。

5.5.3 ブザー出力設定

ブザー音が発生する動作を設定する。



- ✚ 動作: イベント発生時の設定。
 - 未使用: ブザー音が鳴らない。
 - 使用: イベント発生時ブザー音が鳴る。
- ✚ HDD イベント: HDDと関連あるイベントが発生した場合のブザー音の設定。
- ✚ 出力方式: ブザー音の動作方式を設定する。
 - すぐに終了: アラームを発生させた原因が継続されている間だけブザー音を出力する方式。
 - 持続時間維持: アラームを発生させた原因がなくなった時点から設定時間後にブザー音を解除する方式。
- ✚ 時間: 出力方式が‘持続時間維持’動作モードの場合適用する保持時間。
- ✚ センサー: 入力センサーが検知された場合のブザー出力を設定。
- ✚ ビデオロス: ビデオロスが発生した場合のブザー出力を各チャンネル別に設定。
- ✚ モーション: 映像の動きが検知された場合のブザー出力を設定。

5.5.4 Eメール設定

イベント発生時使用者設定で登録されているEメールアドレスへ転送する機能と関連する設定。



- ✚ 通知: 各イベント発生時Eメールを使用するかしないか設定する。
- ✚ 設定変更: メニュー設定が変更された場合Eメールを送信するかを選択する。
- ✚ HDDイベント: HDDと関連あるイベント発生時、Eメールを送信するかを設定する。

- 🚦 再起動: 録画機がリブートした場合、Eメールを送信するかを設定する。
- 🚦 センサー: 入力センサーが検知された場合の設定。
- 🚦 ビデオロス: ビデオロスが発生した場合各チャンネル別に設定。
- 🚦 モーション: 映像の動きが検知された場合の設定。
- 🚦 頻度: Eメールを送信する周期の設定。(連続的に送信されるEメールを迷惑メールとして処理されることの防止。)

5.5.5 PTZ連携動作

PTZカメラを使用するとき、各チャンネルに発生するイベントにより、設定していたプリセット位置へ移動する。

- PTZ 連携動作を使用するためには、カメラのプリセットが先に登録されていなければならない。



- 🚦 PTZカメラ: 移動するカメラを選択する。
- 🚦 動作: PTZ連携動作を選択する。
- 🚦 センサー: センサー入力時、移動するプリセット番号を選択する。

: アラーム発生時、PTZカメラをプリセット移動させる。

: アラーム発生時、移動するプリセット番号を選択する。

- 🚦 ビデオロス: 移動させるプリセット番号を選択する。

: ビデオロス発生時、PTZカメラをプリセット移動させる。

: ビデオロス発生時、移動するプリセット番号を選択する。

🚦 モーション: 移動させるプリセット番号を選択する。

: モーション発生時PTZカメラをプリセット移動させる。

2 : モーション発生時、移動するプリセット番号を選択する。

5.5.6 プッシュアラーム

モバイルアプリで伝送されるプッシュアラームイベントタイプを選択します。



🚦 センサー: センサー発生時、プッシュアラーム発生

🚦 ビデオロス: ビデオロス時、プッシュアラーム発生

🚦 モーション: モーション発生時、プッシュアラーム発生

🚦 開始&終了時間: プッシュアラームを送信される時間を設定します。.

5.5.7 POS

POS機器から受信したPOSデータでカメラからビデオを録画します。POSデータに対するサポートは、無視コード、マスキングコード、イベントコードで設定でき、POSデータと一緒にイベントで検索・再生することもできます。.



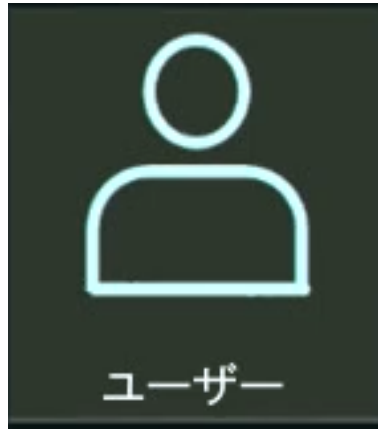
- ✚ Ignore code : データを無視してデータを表示せずにスキップします。。
- ✚ マスクコード:マスクコードの設定が出たら、マスクコードからPOSデータの最後まで*****を表示します。
 - 例)マスクコード:1 POS データ:TEST12345。
ディスプレイ:TEST*****。
- ✚ イベントコード:イベントコードとして登録された場合、POSデータと同一の場合、リレー出力、ブザー出力、Eメール、プッシュアラームが発生します。。
- ✚ POS 表示:POSデータの表示位置を設定します。。
 - ・ なし: POSデータを表示しません。。
 - ・ 常に:削除せずに継続的にPOSデータを表示します。。
 - ・ 30 秒~ 10 分:表示された時間を表示した後、削除します。。
- ✚ POS ポート設定:POSポートに対するチャンネル設定と詳細設定。



- ✚ チャンネル割り当て:POSデータと一緒に使用するチャンネルを選択します。.
- ✚ センサー入力、ブザー、Eメール、プッシュアラーム:該当イベントコードを選択すると、DVRのセンサー入力が活性化します。.
- ✚ 取引開始コード、終了コードを入力します。.
- ✚ 受信POSデータの転送速度、データビット、パリティビット、停止ビット、ライン分割入力
 - POS System 運用のためには、メーカーとの互換性を検討する必要があります。

5.6 ユーザー

新規のIDを追加したり、権限、パスワードの変更、Eメールアドレスの登録などの作業を行う。



5.6.1 ユーザー登録

工場出荷時にADMINで登録されているパスワードは‘1234’です。
ユーザー登録メニューから、最大10個のユーザーIDの登録が可能です。



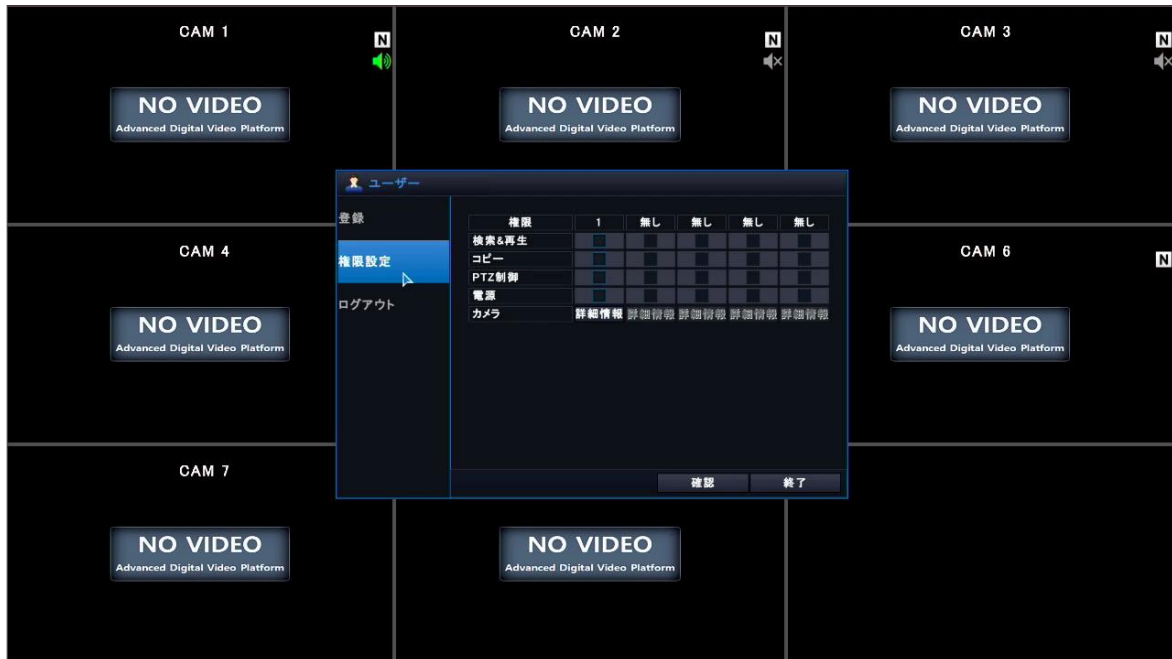
追加ボタンかユーザーIDを選択すると下記のようなユーザーIDを追加、削除、編集出来る画面が表示されます。

ユーザーID	ADMIN
パスワード	*****
Eメール	
Eメール送信	<input type="checkbox"/> ON <input checked="" type="checkbox"/> OFF
<input type="button" value="保存"/> <input type="button" value="取消"/>	

 ユーザーID: パーチャルキーボードから英/数字で10文字以下のユーザー名を入力できます。

- ✚ パスワード: ユーザーIDのパスワードを入力します。
 - バーチャルキーボード上の“削除”ボタンを利用し以前設定されていたパスワードを削除できます。
- ✚ Eメール: Eメールお知らせ機能を使用する場合、受信するユーザーのメールアドレスを入力します。
- ✚ Eメール送信: 機器から発生するイベントに対しEメールお知らせを設定する。
 - ADMIN ID 以外の全ての ID を削除出来ます。

5.6.2 ユーザー権限設定



ADMIN(管理者) ID以外の各ユーザーIDに対しての使用権限を設定。

- ✚ 検索 & 再生: 検索及び再生権限設定
- ✚ コピー: コピー機能権限設定
- ✚ PTZ制御: PTZカメラ制御の権限設定
- ✚ 電源OFF: 録画機の背面部のスイッチを利用した電源OFF権限設定
- ✚ カメラ: カメラ映像の閲覧権限設定
 - 詳細設定: ユーザーIDによりチャンネルごとの映像を閲覧出来る権限を設定。

5.6.3 ログアウト



- 🚦 自動ログアウト: 自動ログアウト機能の設定。
- 🚦 時間: 自動ログアウト使用時のログアウト待機時間(1 ~10分)

5.7 録画

録画関連の設定。



5.7.1 設定

録画機の録画条件、録画解像度/フレーム/画質などを設定する。



🚦 サイズ: 録画するカメラの解像度を設定。

- サポート解像度: CIF / HD / FullHD / 3MP / 4MP


🚦 FPS: 録画する映像のフレーム数を設定。


- NTSC: 0/1/2/4/5/8/10/12/15/30 / PAL: 0/1/2/4/5/7/10/13/25

🚦 画質: 録画する画質を設定。

- 0.5Mbps / 1Mbps / 1.5Mbps / 2Mbps / 2.5Mbps / 3Mbps / 4Mbps / 5Mbps / 6Mbps

🚦 音声: 音声の録音を設定する。

- : 音声の録音が設定されたチャンネル。

-  音声録音されないチャンネル。

5.7.2 イベント

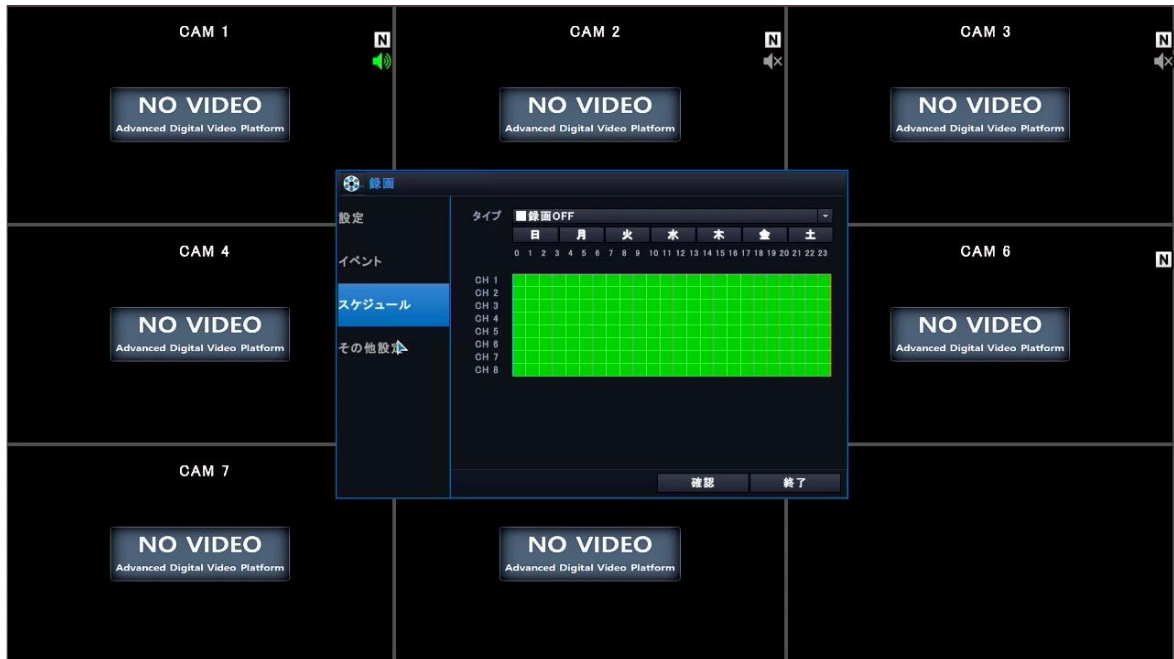
イベント発生時発生したチャンネルの録画フレーム / 画質 / 音声録音などを設定する。

- 解像度は設定した値で動作する。
- イベント発生時の録画は設定した値で動作する。
- 'イベント検知録画以降' 設定時間動作後再度設定値に戻り録画動作する。



- 🚦 モーションイベント: モーションが発生したとき, 録画するフレーム/ 画質を設定。
- 🚦 その他イベント: ビデオロス/ センサー入力が発生したとき, 録画するフレーム/画質を 設定。

5.7.3 スケジュール

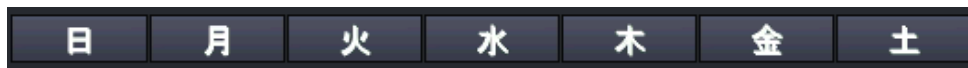


録画スケジュールを日単位または週単位で設定する。

- 日：一つのスケジュールを設定。毎日一つのスケジュールで録画動作する。
- 週：月曜日から日曜日まで7つのスケジュールを設定し、1週間単位で7つのスケジュールで録画動作する。
- 録画日程を日単位か週単位で使用するかは録画メニューの「その他設定」項目で設定。

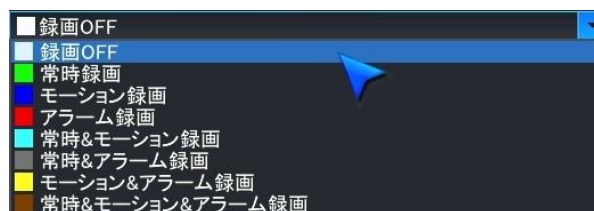
日単位設定:各チャンネル別に設定出来る。曜日の区分なく同じ録画日程を使用する場合に使用する。

- ✚ 週単位設定: 各曜日別,チャンネル別,時間別録画のON/OFF、及び方式を設定する。曜日別に録画ON/OFF及び方式が異なるように設定する場合に使用する。



- 上記のボタンを押し1週間単位でスケジュール録画が出来る。

- ✚ 録画形式: 下記の8つの録画構成の内、一つを各日程のチャンネル、時間別に設定出来る。



- 録画OFF
- 連続録画
- モーション録画
- アラーム録画
- 連続 & モーション録画

- 連続 & アラーム録画
- モーション & アラーム録画
- 連続 & モーション & アラーム録画

- 録画方式を先に選択した後、マウスクリックまたはドラグを利用しスケジュール時間表を変更、修正する。

5.7.4 その他設定



- ✚ スケジュール設定: 録画スケジュールを日単位で構成するか、週単位で構成するかを設定する。

- 毎日: 1日単位で設定
- 毎週: 1週間単位で設定。

- ✚ プリイベント録画時間: イベントが発生する前の映像を録画する時間を設定する。例えば5秒に設定するとイベント発生5秒前の映像から録画される。

- 連続録画していないときに動作する。

- ✚ ポストイベント録画時間: イベントが終了時点から設定された時間録画される。

- イベント発生がイベント検知以降、録画時間が終わる前に繰り返して発生すると最後にイベントが発生したあと設定された設定時間イベント録画映像として録画される。

- ✚ RECORD STOP EVENT : ユーザーが設定した期間録画されてない場合、イベント動作する。



- 上のようなメッセージ表示後、ESC キー及びマウス左クリックにてメッセージを閉じることができます。

- ✚ ミラーリング: ミラーリング録画設定

- ON: ミラーリング録画方式を選択した方式で動作する。
- ✓ イベント: イベントが発生したときだけ、ミラーリング録画する。

- ✓ 全て: 全ての映像をミラーリング録画する。
- OFF: ミラーリング動作をしない。

ミラーリングチャンネル選択

- 全て: 全てのチャンネルをミラーリング録画方式により録画する。
- チャンネル 1 ~ 16 : 選択したチャンネルのみミラーリング録画する。

5.8 ネットワーク

ネットワーク動作のための各設定を行う。



5.8.1 IP 設定

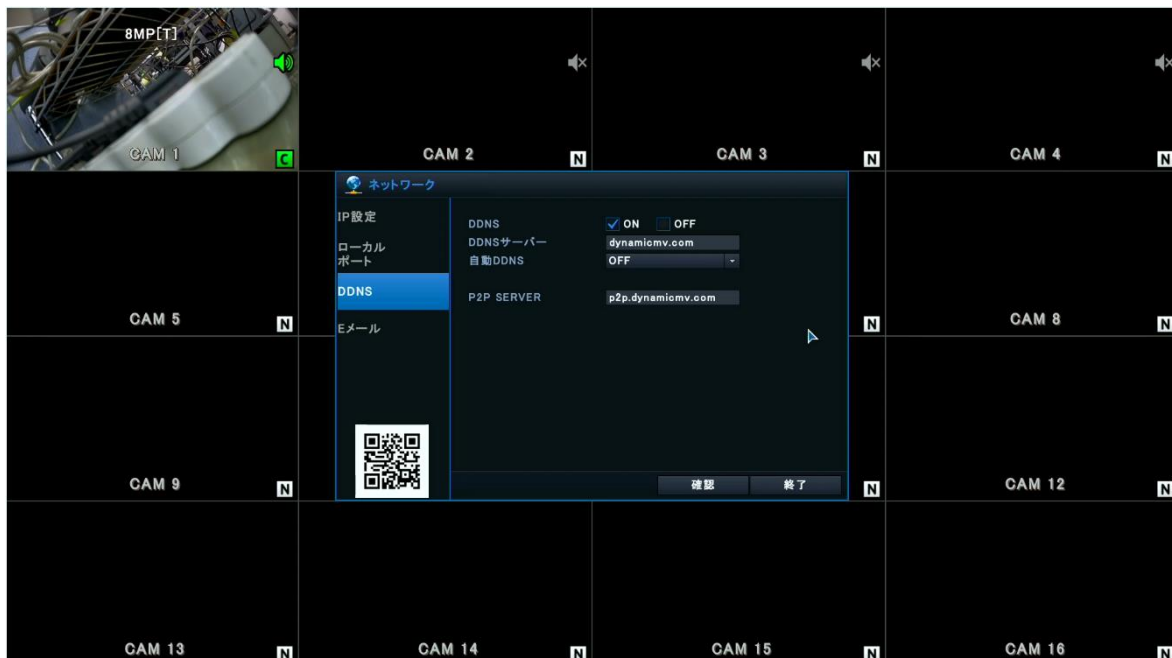


IP 設定はサポートするPCソフトウェアまたはモバイルソフトウェアを使用する場合設定する。

- + DHCP: DHCPサーバーから、録画機のIPアドレスを自動で割当する機能の設定
- + DHCP更新 : ルーターから割り当てられたDHCPを周期的に再受け取りするように実行します。
 - 一部のルーターで Network Device の DHCP 割り当てを長時間維持する場合、遮断する環境が発生することがあります。
- + IPアドレス: DHCPを使用しない場合、IPアドレスを設定する。
- + ゲートウェイ: DHCPを使用しない場合、ゲートウェイのIPアドレスを設定する。
- + サブネットマスク: DHCPを使用しない場合、サブネットマスクを設定する。

- ✚ DNSサーバー1: DHCPを使用しない場合、プライマリDNSサーバーのアドレスを設定する。
- ✚ DNSサーバー2: DHCPを使用しない場合、セカンダリDNSサーバーのアドレスを設定する。
- ✚ DVRポート: 本装置のネットワークサービスで使用するポート番号を設定する。
- ✚ ウェブサーバーポート: ウェブサーバーのポート番号を設定する。
 - ルーターを使用し、一台以上の機器を接続するときには、NVR サービスポートとウェブサービスポートは異なる設定をしなければなりません。
 - 同じDVRに最大7台まで接続が可能です。
- ✚ 最大伝送速度: 使用する最大帯域幅を設定する。
 - 注意) ルーターの Firewall 設定は適切である必要があります。
- ✚ NETWORK STREAM : Network clientで転送されるStreamを設定します。
 - Main Stream: 録画機で録画されている設定通りNetworkに送信します。
 - Sub Stream : 録画機のSub StreamをNetworkに伝送します。
 - Network 環境によってメイン Stream の転送データサイズが大きいため、遅く動作したり、料金が過剰に発生することがあります。
- ✚ QR CODE : モバイルアプリケーションで使用されるQRコードで簡単な接続情報。P2P接続の際、使用する。

5.8.2 DDNS



- ✚ DDNS: DDNS機能の使用を設定する。
- ✚ DDNSサーバー: DDNS機能使用のためのサーバーを設定する。
- ✚ 自動DDNS: 自動DDNSの使用時、DDNSサーバーへ自動でDDNSを登録できます。

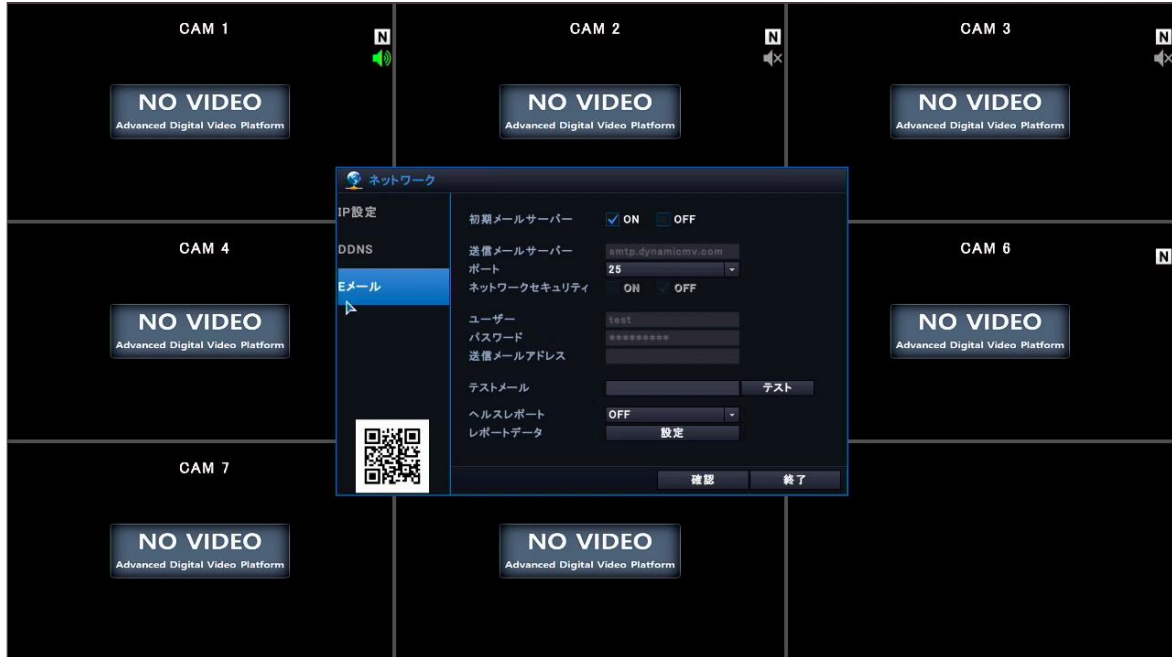
登録されるDDNSは数字 0 + 6桁MACアドレス+ ns.dynamicmv.com です。

Ex)DVR Mac : 00:0A:2F:00:2C:C9 / DDNS Name : 0002CC9.ns.dynamicmv.com

✚ P2P SERVER: メーカーから提供されるP2PサービスのためのP2P Serverの情報を入力する。

- 他の情報を入力時 P2P サービスを利用することができない

5.8.3 Eメール



- ✚ 初期メールサーバー:メールサーバーの使用設定。
- ✚ 送信メールサーバー: 初期メールサーバーを使用しない場合、サーバー情報を設定する。
- ✚ ポート: 初期メールサーバーを使用しない場合、使用するポート番号を指定する。
- ✚ ネットワークセキュリティ: メールサーバーが使用者アカウントとパスワードを要求する場合は ONに設定する。
- ✚ ユーザー: メールサーバーが要求する使用者アカウント。
- ✚ パスワード: メールサーバー使用者アカウントのパスワード。
- ✚ 送信メールアドレス: 送信先のメールアドレス。
- ✚ テストメール: テストメールを受けるアドレスを入力する。
- ✚ テスト: 設定情報が正しいか確認する機能。設定されている情報を利用し送信する。
 - メール機能を使用するためには使用者メニューとイベント/センサーメニューのメールメニューをそれぞれ設定してください。
- ✚ HEALTH REPORT : DVRの情報とHDDのS.M.A.R.T情報、録画状態情報を登録したメールアドレスに送信する。

発信周期は毎日(00:00) / 毎週(日曜日00:00) / 毎月(月の最終日 00:00)に設定できる。

REPORT CONFIG : HEALTH REPORT 情報の選択ができる。



6. 遠隔制御プログラム

6.1 ウェブサーバー

本装置のウェブサーバーを使用して、メニュー設定や遠隔監視が使用出来る。
ウェブブラウザを利用してDVRメニューを設定したり、ウェブビューアーから録画機のライブ/再生/PTZ調整が出来る。

ウェブサーバーへ接続するためのPC最小仕様と推奨仕様は以下の通り。

[推奨PC仕様]

	推奨仕様
CPU	Core i7 @3.3GHz or Higher
メモリー	8 GB
ビデオカードメモリー	4096MB
使用可能HDD容量	10GB
解像度	1920x1080(32bit)
ダイレクト	DirectX 9.0c
ネットワーク	Ethernet 10/100/100 Base-TX

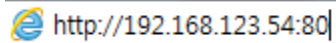
[OS仕様]

	仕様
OS	Window 10 (32bit or 64bit)
Internet Explorer (Active-X)	Internet Explorer 10(32bit or 64bit), 11(32bit or 64bit) Chrome

- Microsoft Edg では Web Viewer が動作しません。
- Internet Explorer or Chrome をご利用ください。

6.1.1 ウェブサーバーへ接続する。

下記のようにウェブブラウザのアドレス欄に入力する。
IPアドレスは、録画機のIPアドレスを入力する。



[ウェブページ構成]



- ✚ 1: ウェブブラウザのアドレス欄にDVRのIPアドレスを入力する。
HTTPポートである80を使用しない場合は、IPアドレス欄にポート番号を入力する。
Ex) http://192.168.123.63:80
- ✚ 2: ウェブメニューへ接続するためにDVRで使用している管理者パスワードを入力する。 □
ログインボタンを押すとウェブメニュー設定ページに切り替わる。
- ✚ 3: WEB Viewer: ActiveX WEB Viwerボタンを押すとウェブビューアーが実行される。

6.1.2 ウェブメニューへ接続する

ウェブメニューを使用してDVRのメニュー設定が出来ます。

使用可能ウェブブラウザ

- ◆ マイクロソフト IE10® 以降

ウェブメニューの主な機能

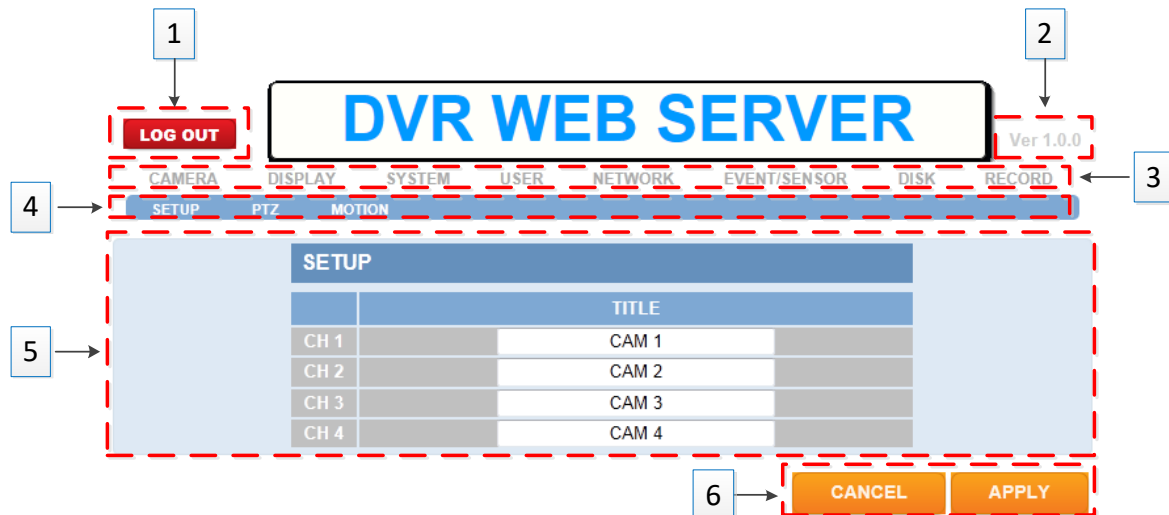
- ✚ DVRメニュー設定

ウェブサーバーページで管理者のパスワードを入力するとDVRのメニューを設定できるウェブメニューページへ移動します。

ADMIN PASSWORD:

- NOTE) 初期管理者パスワード: 1234
- NOTE) ウェブメニューの接続は管理者のパスワードが必要です。
- NOTE) ウェブメニュー接続後 5 分間動作をしないと自動的に接続が終了します。


6.1.2.1 ウェブメニュー基本ページ



- ✚ 1: DVRウェブメニューの接続終了ボタン
- ✚ 2: DVRウェブメニューのバージョン
- ✚ 3: DVRのメインメニュータブ
- ✚ 4: DVRのサブメニュータブ
- ✚ 5: DVRの詳細メニュー
- ✚ 6: 取消と確認ボタン
 - 取消 : 設定したメニュー値を保存しないで取消します。
 - 確認 : 設定したメニュー値を保存します。
- メニュー値を変更した場合は必ず適用のボタンを押してください。適用ボタンを押さないと変更しません。

ウェブメニューでは DVRの全てのメニューを設定できます。設定する を参照下さい。それぞれのメニューは以下のリンクを参照下さい。

- ✚ カメラ
- ✚ ディスプレイ
- ✚ システム
- ✚ ユーザー
- ✚ ネットワーク
- ✚ イベント/センサー

 保存

 録画


- 注意: 検索やバックアップはウェブビューアで行ってください。

6.1.3 WEB VIEWER (Active-X)


Web Viewerを使用してDVRのライブ/再生/バックアップをすることができます。

使用可能ウェブブラウザ

 Microsoft Internet Explorer9® 以降


 Chrome

機能

 DVRライブ監視

 録画映像の検索と再生

 録画映像をPCにバックアップ

 PTZカメラ制御

6.1.3.1 設定方法

[Microsoft IE]

ウェブサーバーページで‘ActiveX WEB Viewer’ ボタンを押すと‘Web Viewer’ 実行ページへ移動します。

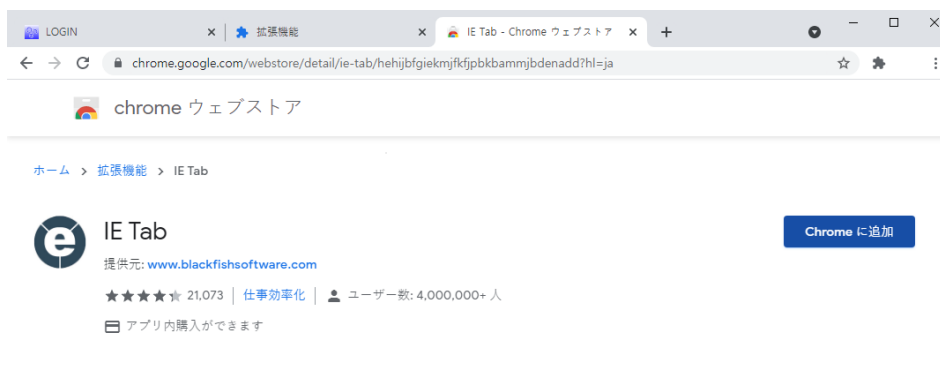
[ActiveX WEB Viewer](#)

- NOTE) ‘Web Viewer’ は ActiveX を使用します。

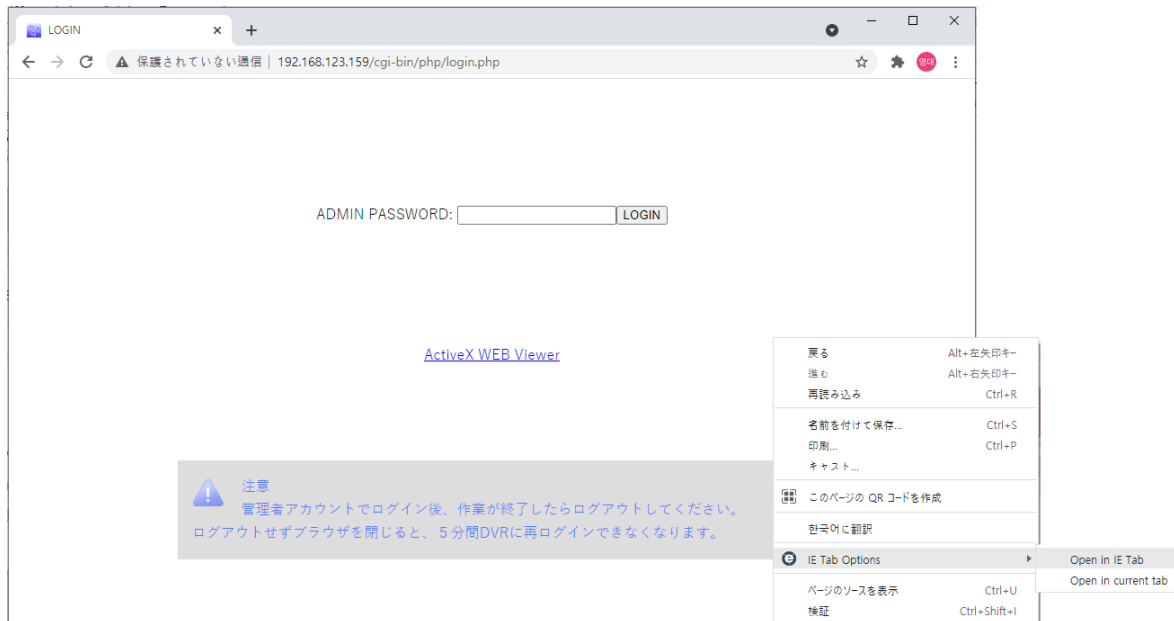
[Chrome]

以下の手順で実行します。

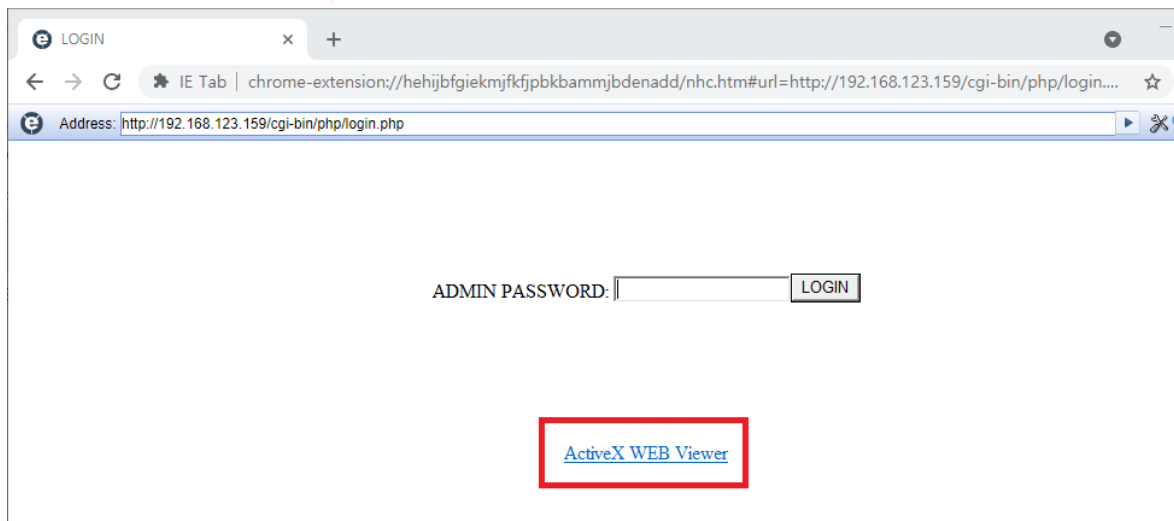
1. 以下のリンクをクリックして Chrome の App Store へ移動します。
<https://chrome.google.com/webstore/category/extensions?hl=ja>
2. ie tab 検索してインストールします。



3. ie tab インストール後、DVR Menu の初期ページに移動します。.
4. 初期ページでマウスを右クリックしてメニューをポップアップします。.
5. IE Tab Options → Open in current tab 実行します。

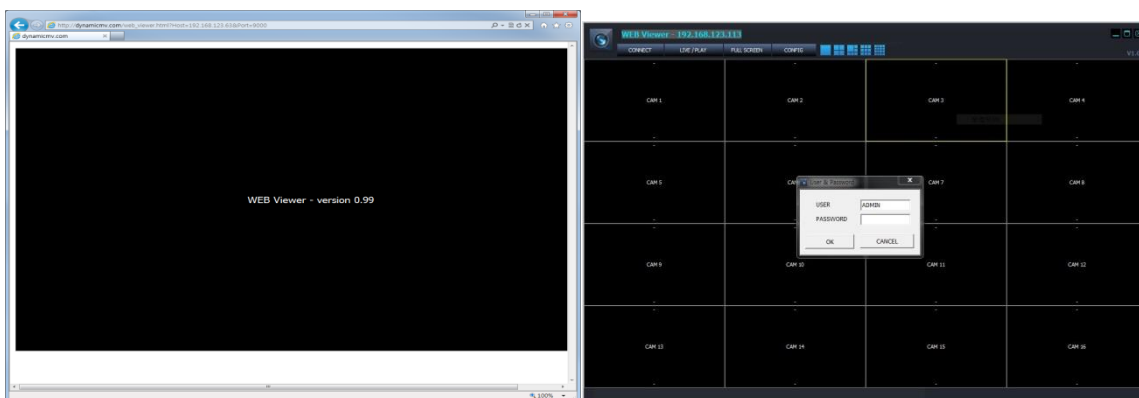


6. ActiveX WEB Viewer 実行します。

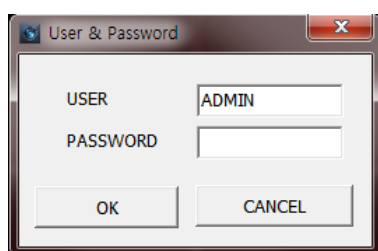


6.1.3.2 Web Viewer初期画面

Web Viewerを実行すると以下のようにウェブブラウザとログインの画面が表示します。



6.1.3.3 ログイン



User :

: DVRに登録されているユーザー名を入力します。

Password :

: DVRに登録されているユーザーのパスワードを入力します。

- ライブ、再生、パンチルト制御の権限は DVR のユーザー権限メニューの設定と同じになります。(ユーザ権限設定)
- ユーザー名とパスワードは大・小文字を区別します。

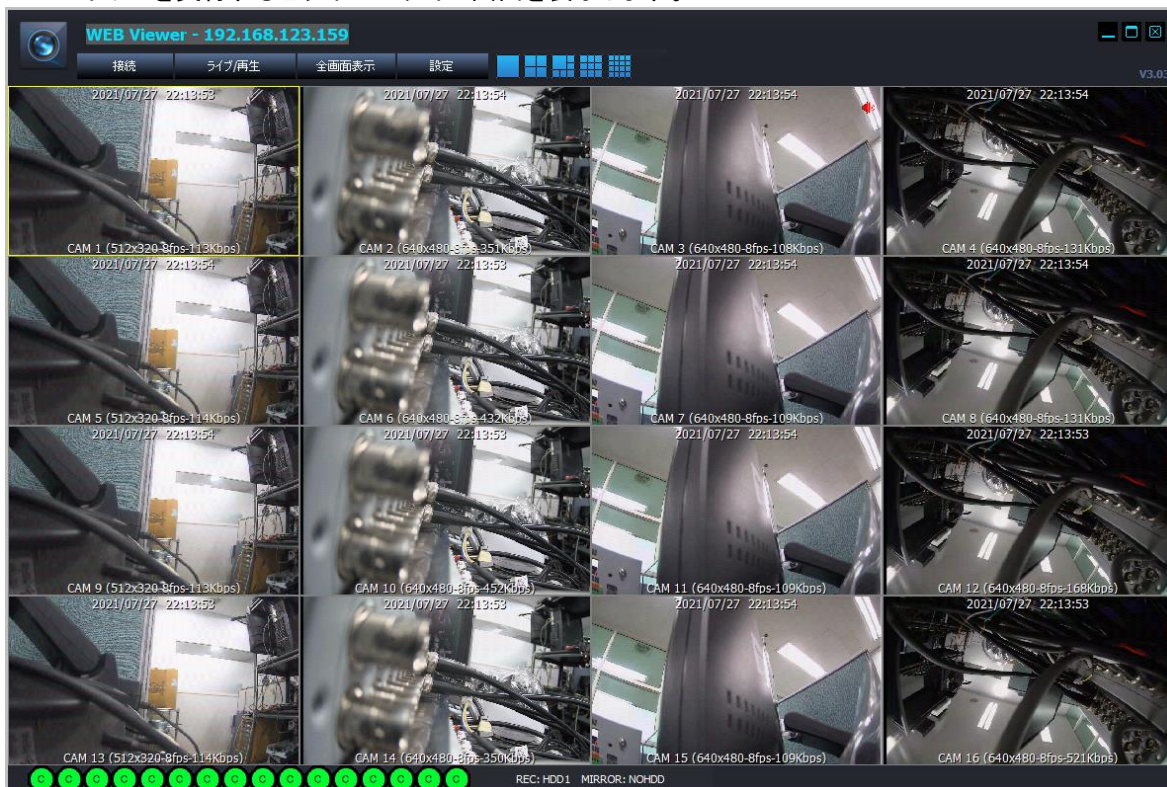
6.1.3.4 ライブ監視

ログインすると以下のように16分割画面のライブモードを表示します。

機能

- 📏 ユーザーの接続(再接続)
- 📏 ライブ監視
- 📏 現在選択した画面をJPEGファイルでPCに保存
- 📏 (管理者専用)WebViwerの表示画面の画質/解像度の調整

プレイヤーを実行すると以下のログイン画面を表示します。

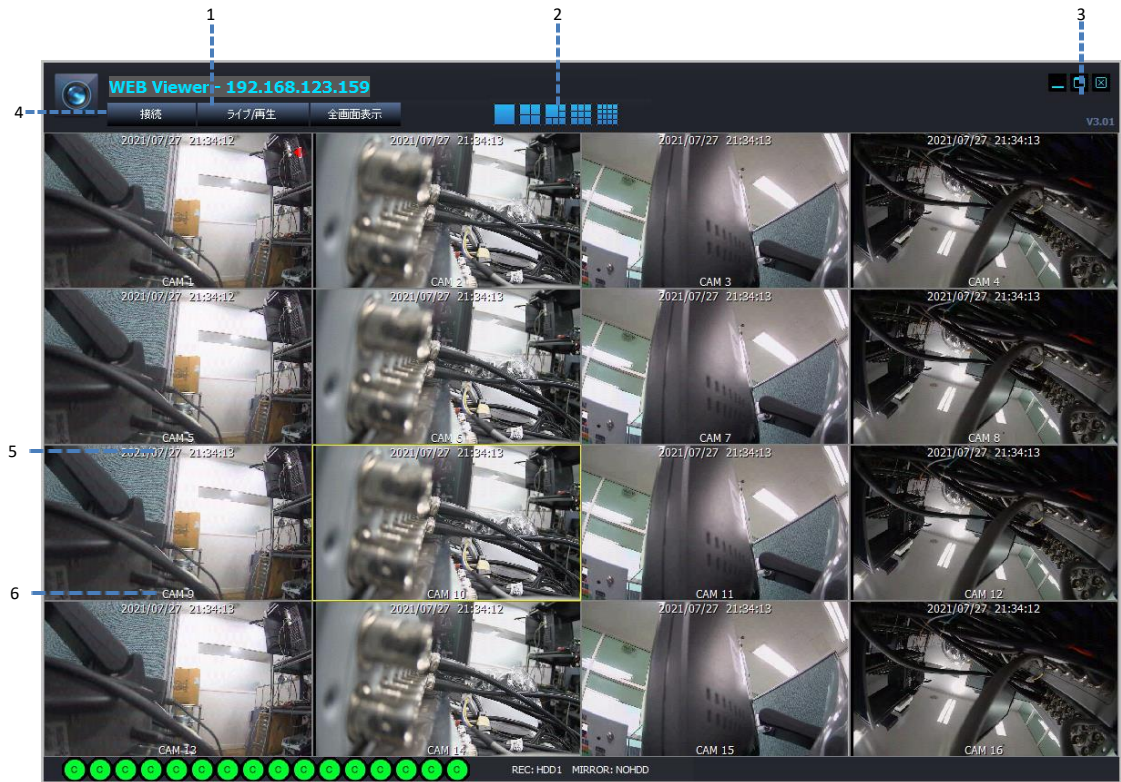


6.1.3.5 ライブ監視

プレイヤーでログインすると以下のように4分割画面のライブモードを表示します。

機能


- 📏 ライブ監視
- 📏 選択した画面をJPEG形式でPCに保存
- 📏 パンチルト制御
- 📏 (管理者専用)プレイヤーで伝送される画面の画質/解像度の調整



マウスでチャンネルを選択した場合、画面の枠が黄色い線で表示されます。

1: プレイヤーが接続されているDVRのIPアドレス

2: ライブ画面の分割モード選択ボタン

▶  : 選択したチャンネルを全体画面で表示

▶  : 分割画面表示

3: プレイヤーを隠す/最大化/最小化


▶  : 隠す

▶  : 最大化

▶  : 終了'

4: Connect/Live&Search/Full Screen

▶  : ログアウトと再接続

▶  : ライブと再生モード切換え

▶  : ライブ画面最大化

▶ 5: 現在表示している画面の時刻

- 6 : チャンネル名及び現在表示しているライブ画面の解像度

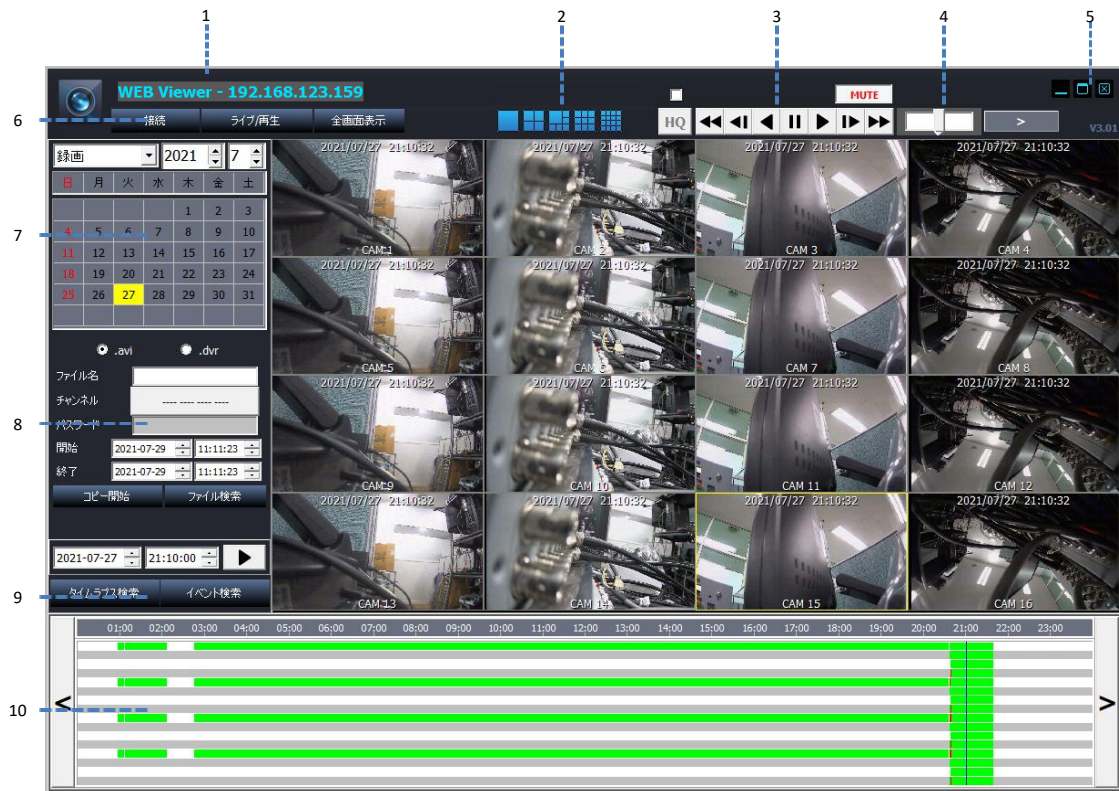
6.1.3.6 ライブと再生

ライブ/再生

プレイヤーのライブ画面でライブ/再生ボタンを押すとライブモードと再生モードを切り換えます。

機能

- 接続者の切り換え（再接続）
- ライブ又は再生モード切換え
- 録画映像をPCにコピー



- 1: 接続したDVRのIPアドレス
- 2: 再生画面の分割モード選択ボタン
 - 選択したチャンネルを全体画面で表示
 - 分割画面表示
- 3: 再生画面の調整
 - 巻き戻し

-  : 低速逆再生
-  : 逆再生(1倍速)
-  : 一時停止
-  : 再生(1倍速)
-  : 低速再生
-  : 早送り

● 高速再生速度 : x2, x4, x8, x16, x30, x60, x120

● 低速再生速度 : 1/2, 1/4, 1/8, 1/16, 1/30, 1/60, 1/120




✚ 4: マウスのホイールを利用して再生を調整できます。

- マウスのホイールのアップ:逆再生
- マウスのホイールのダウン:再生
- バーの真ん中クリック:基本倍速で再生
- バーの右半分クリック:高速再生
- バーのひたり半分クリック:高速逆再生
- 7段階で調整可能

✚ 5: 画面のサイズ

-  :最小化
-  : 最大化
-  : 終了

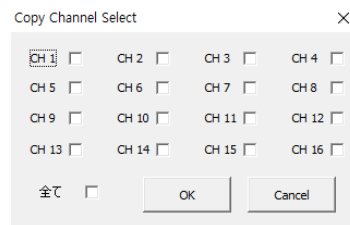
✚ 6: 接続/ライブと再生及び全体画面表示

-  : ログアウトと再接続
-  : ライブと再生モード切り替え
-  : ライブ画面最大化

✚ 7: 現在の月をカレンダーで表示: 録画映像がある日は緑で表示されます。マウスを左クリックで日、時間、分を選択すると映像が再生されます。

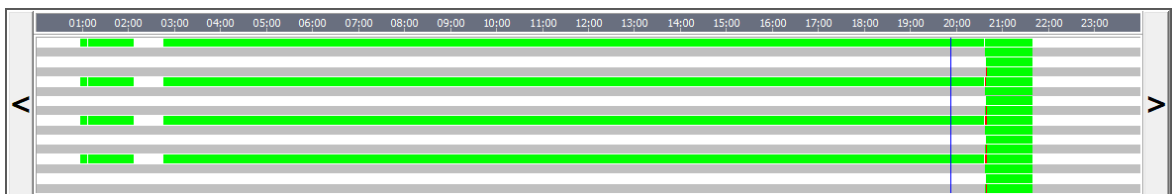
✚ 8 : DVRに録画された映像をPCにAVI形式でコピーできます。

- ファイル名前: コピー映像が保存されるファイル名を設定します。
- ✓ *.avi : コピーするファイル形式
- 各チャンネルは AVI ファイル形式で作成されます。
- AVI ファイルの最大容量は 600MB です。
- ✓ *.dvr: 独自のファイル形式です。
- ファイル名: コピーされたAVIファイルを保存するファイル名を設定します。
- チャンネル: コピーするチャンネルを選択します。

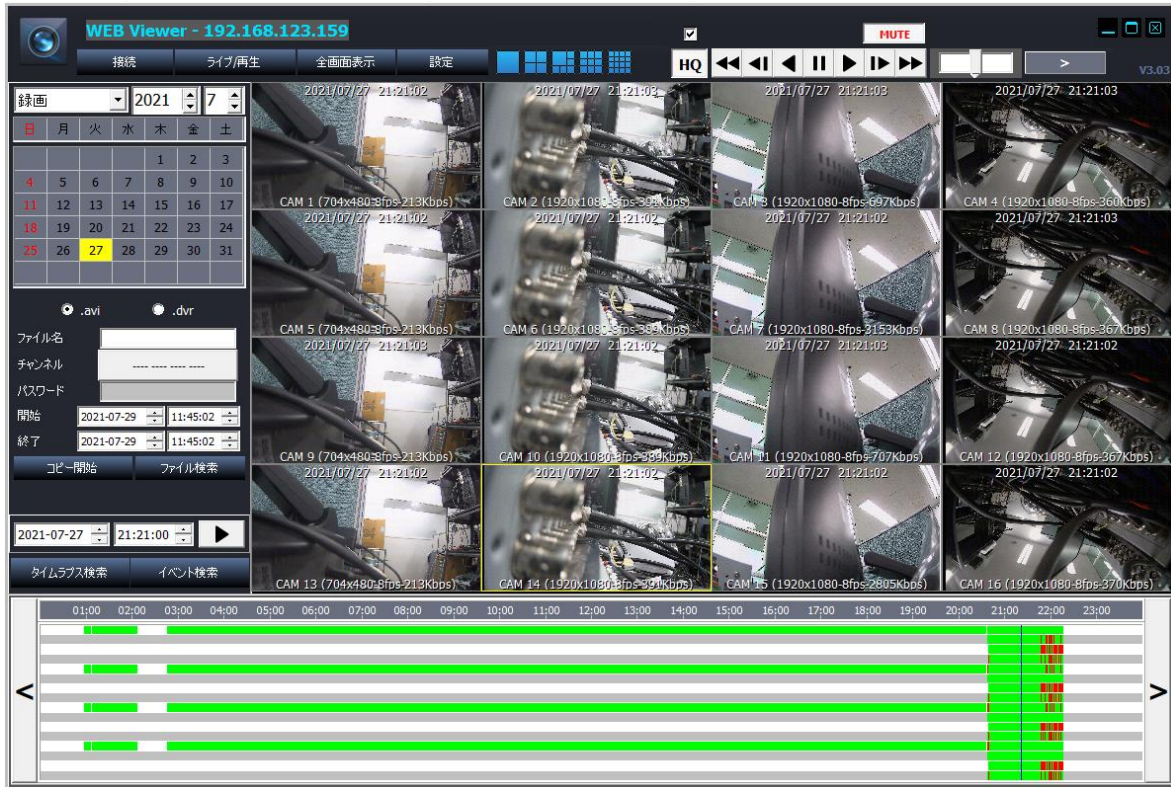


- スタート: コピーのスタート時間を指定します。
 - 終了: コピーの終了時間を指定します。
 - コピースタート: PCにコピーをスタートします。
 - ファイル名とチャンネルを入力してからコピーができます。
- 9 : 10の画面は時間検索またはイベントリスト画面になります。

-  : 時間検索を表示します。



- 録画映像がある時間は緑色で表示します。
- 赤色のセルはイベント録画データがあることを意味します。
- マウスホイールを使って、録画時間テーブルの間隔を調整できます。



- ▶ **コピー開始時間(R)** : 期間検索でマウス右をクリックすると表示します。

- ▶ **コピー終了時間(S)** : コピースタート時間を自動で設定します。

- ▶ **イベント検索(T)** : イベント検索時間を設定します。

- 秒を選択時、選択した秒の区間を再生できます。
- チャンネルの緑表示は録画映像がある状態を表示します。時刻を選択すると映像を再生します。

- ▶ **イベント検索** : イベントリスト画面を表示します。

イベントタイプ	NO.	日/時	チャンネル	タイプ
<input checked="" type="checkbox"/> 全てのイベント	1	2021/07/27 21:48:04	7	MOTION
<input checked="" type="checkbox"/> センサー	2	2021/07/27 21:48:03	16	MOTION
<input checked="" type="checkbox"/> ビデオロス	3	2021/07/27 21:48:02	12	MOTION
<input checked="" type="checkbox"/> モーション	4	2021/07/27 21:48:02	11	MOTION
	5	2021/07/27 21:48:02	8	MOTION
	6	2021/07/27 21:48:02	7	MOTION
	7	2021/07/27 21:48:02	3	MOTION
	8	2021/07/27 21:48:02	15	MOTION
	9	2021/07/27 21:48:00	12	MOTION
	10	2021/07/27 21:48:00	8	MOTION

- ▶ イベントタイプ(検索条件)
 - ✓ 全てイベント: 全てのイベントを検索します。
 - ✓ センサー: センサータイプのイベントを検索します。
 - ✓ ビデオロス: ビデオロスタイプのイベントを検索します。
 - ▶ 動き検出 : 動き感知タイプのイベントを検索します。

- CH ALL: 全てのチャンネルのイベントを検索します。
- CH1/CH2/CH3/CH4: 選択したチャンネルのイベントを検索します。
- 再検索: 選択した情報でもう一度イベント検索します。

10: 時間選択と録画情報をイベントリストで変換して情報を表示します。

EVENT TYPE		NO.	DATE / TIME	CHANNEL	TYPE
<input checked="" type="checkbox"/> ALL EVENT	ALL <input type="text" value="Search"/>	1	2015/06/09 09:58:08	7	MOTION
<input checked="" type="checkbox"/> SENSOR	CH 1 <input checked="" type="checkbox"/> CH 2 <input checked="" type="checkbox"/> CH 3 <input checked="" type="checkbox"/> CH 4 <input checked="" type="checkbox"/>	2	2015/06/09 09:57:15	7	MOTION
<input checked="" type="checkbox"/> VIDEO LOSS	CH 5 <input checked="" type="checkbox"/> CH 6 <input checked="" type="checkbox"/> CH 7 <input checked="" type="checkbox"/> CH 8 <input checked="" type="checkbox"/>	3	2015/06/09 09:57:09	7	MOTION
<input checked="" type="checkbox"/> MOTION DETECTION	CH 9 <input checked="" type="checkbox"/> CH 10 <input checked="" type="checkbox"/> CH 11 <input checked="" type="checkbox"/> CH 12 <input checked="" type="checkbox"/>	4	2015/06/09 09:57:07	7	MOTION
	CH 13 <input checked="" type="checkbox"/> CH 14 <input checked="" type="checkbox"/> CH 15 <input checked="" type="checkbox"/> CH 16 <input checked="" type="checkbox"/>	5	2015/06/09 09:56:26	7	MOTION
	CH 17 <input checked="" type="checkbox"/> CH 18 <input checked="" type="checkbox"/> CH 19 <input checked="" type="checkbox"/> CH 20 <input checked="" type="checkbox"/>	6	2015/06/09 09:54:33	7	MOTION
	CH 21 <input checked="" type="checkbox"/> CH 22 <input checked="" type="checkbox"/> CH 23 <input checked="" type="checkbox"/> CH 24 <input checked="" type="checkbox"/>	7	2015/06/09 09:54:30	7	MOTION
	CH 25 <input checked="" type="checkbox"/> CH 26 <input checked="" type="checkbox"/> CH 27 <input checked="" type="checkbox"/> CH 28 <input checked="" type="checkbox"/>	8	2015/06/09 09:54:13	7	MOTION
	CH 29 <input checked="" type="checkbox"/> CH 30 <input checked="" type="checkbox"/> CH 31 <input checked="" type="checkbox"/> CH 32 <input checked="" type="checkbox"/>	9	2015/06/09 09:53:33	7	MOTION
		10	2015/06/09 09:53:25	7	MOTION

- 11: 再生設定した再生映像を表示します。
- 12: 再生コントロールによる再生速度及び進行方向などを表示します。
- 遠隔再生時、オーディオ再生は支援されません。

6.2 Android Viewer / iOS Viewer

PocketViewer は アンドロイドOSを使用したモバイル端末向けアプリケーションです。

iPocketViewer はiOSを使用して、iPhoneのアプリケーションです。3G/4G、またはWi-Fiを使用してDVRに接続することができます。

機能

- 📶 ライブ監視
- 📶 全体画面・マルチ画面（分割画面）
- 📶 PTZ制御 パンチルトズーム、プリセット
- 📶 ライブズーム& Webメニュー連動

6.2.1 使用方法



始めにPocketViewer/iPocketViewerを実行すると上記の画面を表示します。

- 📶 **Quick Connect** : DVR情報を保存しない接続リストを作成します。
- 📶 **DVR List** : DVR情報を保存してDVRリストを管理します。

6.2.1.1 Quick Connect

Quick Connectを押すと上記のような画面を表示します。

- ✚ DVR Address : DVRのIPアドレスを入力します。
- ✚ Port Number : DVRのネットワークで設定したDVRポートを入力します。
- ✚ User ID : DVRで使用するユーザーIDを入力します。(初期設定はAdminと1234)
- ✚ Password : パスワードを入力します。
- ✚ Connect : DVRに接続します。
- ✚ Cancel : 終了します。

6.2.1.2 DVR LIST

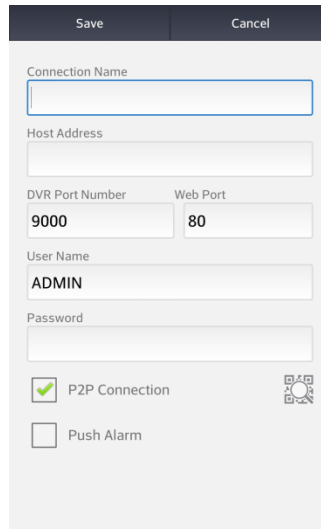
DVR listのボタンを押すとDVRの追加、修正、削除できる画面を表示します。

- ✚ New : 新しいDVRの情報を利用してリストを作成します。
- ✚ Edit : 既存のリストを修正します。
- ✚ Delete : 既存のリストを削除します。
- ✚ Close : DVRリストを終了します。

- ✚ Connect : 保存されているリストを選択して接続します。
- ✚ Menu : 保存されているリストを選択してDVRのウェブメニューを接続します。

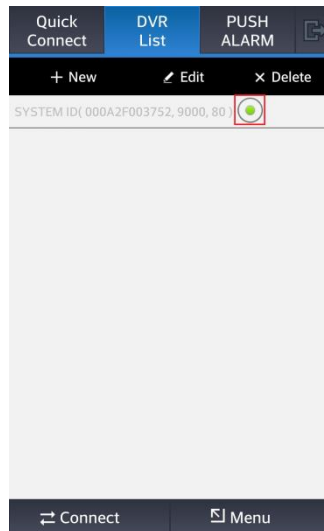
6.2.1.3 DVRリストを追加する

Newのボタンを押すと以下の画面を表示しますので新しいDVRの情報を入力してリストに登録することができます。



- ✚ DVR Name : リストでDVRの名称を指定できます。
- ✚ DVR IP/DDNS : DVRのIPアドレスをDDNSの情報を入力します。
- ✚ Port Number : DVRのネットワークメニューで設定したDVRポート番号を入力します。
- ✚ HTTP Port : DVRのネットワークメニューで設定したHTTPポート番号を入力します。
- ✚ User ID : DVRで使用するユーザーIDを入力します。
- ✚ Password : DVRで使用するパスワードを入力します。
- ✚ Save : 入力した情報を保存します。
- ✚ Cancel : リスト追加を終了します。

6.2.1.4 接続方法



DVRに接続するにはリストを選択した後、Connectボタンを選択します。

6.3 DVR MANAGER

DVR MANAGERを通してライブ映像の監視、録画データの再生、遠隔コピーが可能です。

下記は、アプリケーションを使用するためのPCの仕様です。

[推奨PC仕様]

	推奨仕様
CPU	Core i7 @3.3GHz or Higher
メモリー	8 GB
ビデオカードメモリ	4096MB
使用可能HDD容量	10GB
解像度	1920x1080(32bit)
ダイレクト	DirectX 9.0c
ネットワーク	Ethernet 10/100/100 Base-TX

[OS仕様]

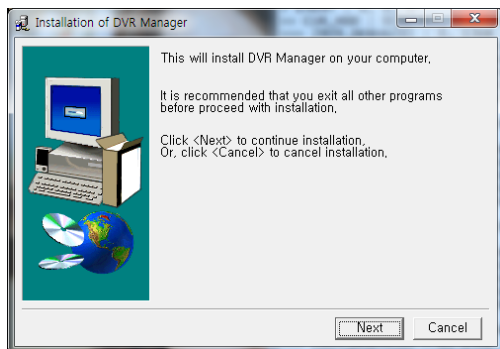
	仕様
OS	Window 10 (32bit or 64bit)

6.3.1 インストール

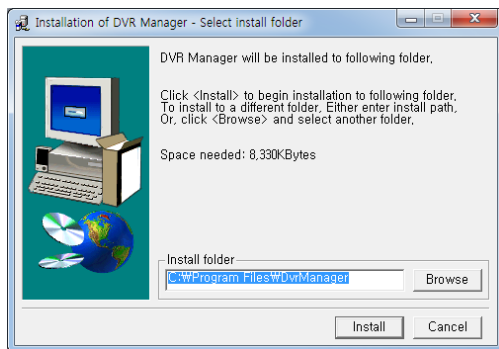
付属品のCDの中にDVRマネージャー・フォルダー中にある「DVRManager_setup.exe」をクリックして、ガイドに従ってDVRManagerをインストールします。



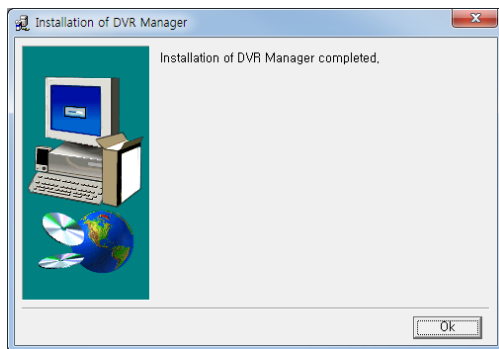
: DVR Managerの設定ファイルをダブルクリックしてインストールします。



: 設定開始



: インストール先フォルダーを指定します。



: インストール完了のメッセージウィンドウ。

6.3.2 実行.

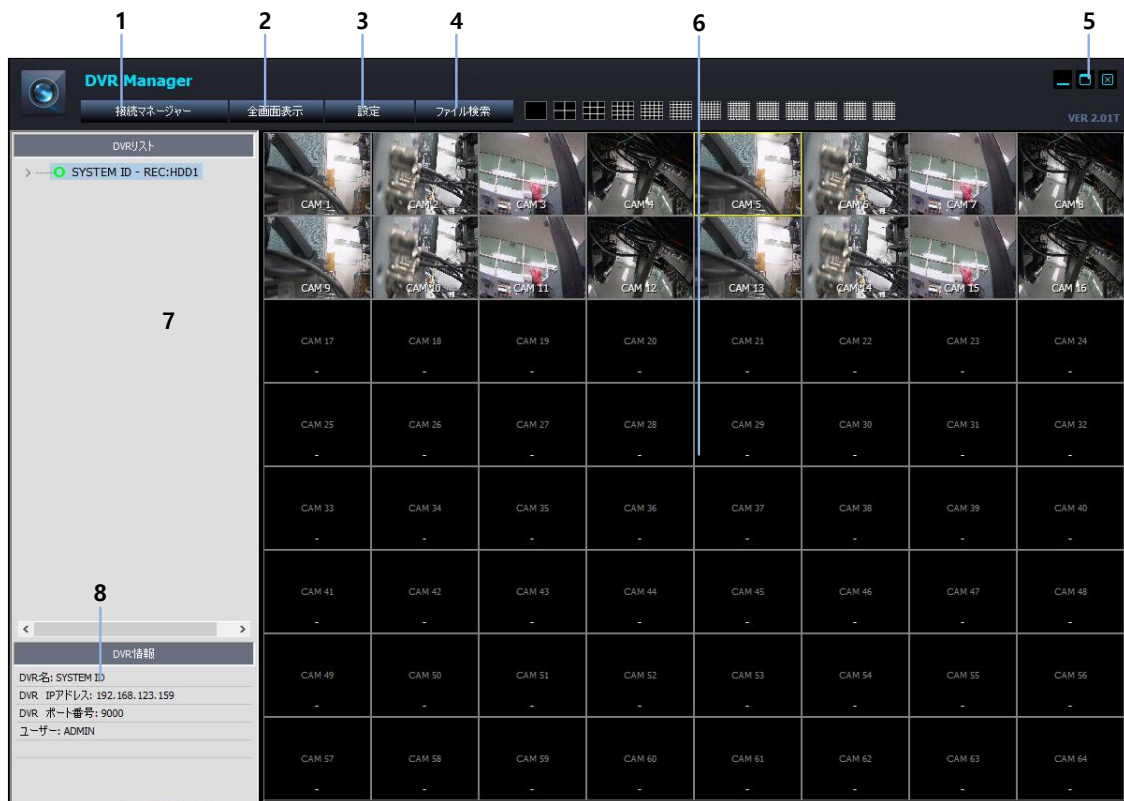
このホットキーは「DVRマネージャー」のインストールが完了した時に作成されます。
このアイコンをクリックするとDVRマネージャーが起動します。



: DVR Managerのホットキーアイコン

6.3.3 ライブ映像の監視

DVRマネージャーの初期画面



- 1 : MANAGERの接続: DVRリストの削除又は登録ができます。
- 2 : 全体画面 : PCモニターで全体画面を表示します。
- 3 : 設定 : コピーデータを保存するフォルダーを指定します。



- **保存位置:** DVRから遠隔でコピーするデータを保存するフォルダーを選びます。
- **言語:**DVR Managerで使用する言語を選択
- **イベントポップアップ時間:**イベントを感知するとポップアップする時間を選択

➤ イベント音: イベントを感知するとイベント音の使用有無

➤ ENHANCED MODE : 映像画質向上モード使用有無

ON 設定時の映像の画質が向上するがPCの仕様に応じて低下することがあります

➤ 保存: 現在の設定を適用及び保存します。

➤ 閉じる: 設定を終了します。

✚ 4 : 分割モード選択: ライブ画面の分割モードを指定します。

➤ 1 / 4 / 9 / 16 / 25 / 36 / 49 / 64 / 81 / 100 / 121 / 132 / 144

✚ 5 : DVR Manager画面の最小化/最大化/終了表示

➤  : 最小表示

➤  : 最大表示

➤  : DVR Managerの終了

✚ 6 : ライブビューア画面 : 接続したDVRのライブ映像を表示します。

✚ 7 : DVRリスト : 登録されたDVRのリストと接続状態を表示します。
接続されたカメラも表示します。

✚ 8 : DVR情報 : 登録されたDVRの情報を表示します。

✚ 9 : Version: DVR Managerのバージョンを表示します。

6.3.4 MANAGER接続

DVRリストからDVRの登録と削除ができます。

名前	DVR IPアドレス	ポート番号
SYSTEM ID	192.168.123.159	9000

DVR名	SYSTEM ID
DVR IPアドレス	192.168.123.159
DVR ポート番号	9000
HTTP ポート番号	0 (0:AUTO)
ユーザー	ADMIN
パスワード	*****
DVR 接続	<input checked="" type="checkbox"/>

保存 読み込み ADD DVR検索

新規登録 削除 保存 終了

✚ DVR名: 接続するDVRに付ける名前を指定します。

✚ DVR IPアドレス : 接続するDVRのIPアドレスかドメイン名を指定します

- ✚ DVRポート番号: 接続するDVRのポート番号を入力します。
- ✚ HTTPポート番号: 接続するHTTPのポート番号を入力します。
- ✚ ユーザー :接続するDVRのユーザーアカウントを入力します。
- ✚ パスワード:接続するDVRのユーザーのパスワードを入力します。
- ユーザー名とパスワードは大文字と小文字を区別します。
- ✚ **DVR 接続: DVR Manager 実行時に自動的に接続するかどうかの設定**
- ✚ **DVR 検索: ローカルネットワーク上でDVRを検索して追加と削除ができます。**



- **MACアドレス** : ローカルネットワークにあるDVRのMACアドレスを表示します。
 - **IPアドレス**: ローカルネットワークDVRのIPアドレスを表示します。
 - **ポート** : ローカルネットワークにあるDVRのポート番号を表示します。
 - **DVR名**: ローカルネットワークにあるDVRの名前を表示します。
 - **再スキャン**: ローカルネットワークにあるDVRを再検索します。
 - **追加** : 選択したDVRを DVR Manager接続に登録します。
 - **全て追加** : ローカルネットワークにあるDVRを全て登録します。
 - **閉じる**: DVRの検索を終了します。
- ✚ **保存**:DVR Managerに登録したDVR Listをファイルに保存します。 .
 - ✚ **読み込み**:ファイルとして保存されたDVR Listを現在のDVR Managerに読み込みます。 .
 - ✚ **ADD**:現在DVR Managerに登録されているDVR Listにファイルとして保存されたDVR Listを追加します。 .
 - ✚ **新規登録**: DVRリストに新しいDVRを追加します。 .
 - ✚ **削除**: DVRリストで選択されたDVR を削除します。 .
 - ✚ **閉じる** : MANANGERを閉じます。

6.3.5 ライブ映像画面

ライブ映像を表示します。

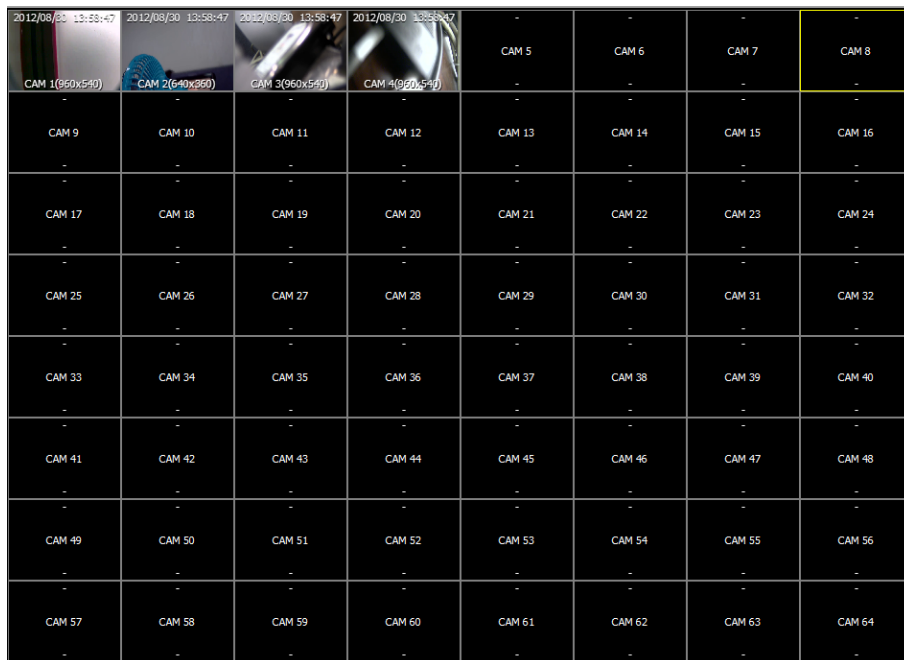
特長は、

- ✚ ライブカメラ映像を監視
- ✚ チャンネルの表示位置の変更
- ✚ 選択した画面のスナップショットとしてJPEGファイルでPCに保存
- ✚ 遠隔でパン/チルト制御
- ✚ 表示映像の画質と解像度を設定可能(管理者アカウントのみ)
- ✚ DVRからのライブ音声出力
- ✚ デジタルズーム

6.3.5.1 ライブ監視

複数のDVRからのリアルタイム転送されたライブ映像は「ライブ映像ウィンドウ」に表示されます。画面分割モードボタンを使用してライブ監視画面を分割モードに変更できます。

- ダブルクリックして、そのチャンネルの画面を最大画面で表示、再度ダブルクリックすると元の分割モードに戻ります。



6.3.5.2 カメラの位置変更

表示位置を変更する場合は、マウスで位置を変更するCH画面をクリックした後、ドラッグ＆ドロップで変更する位置に移動させます。

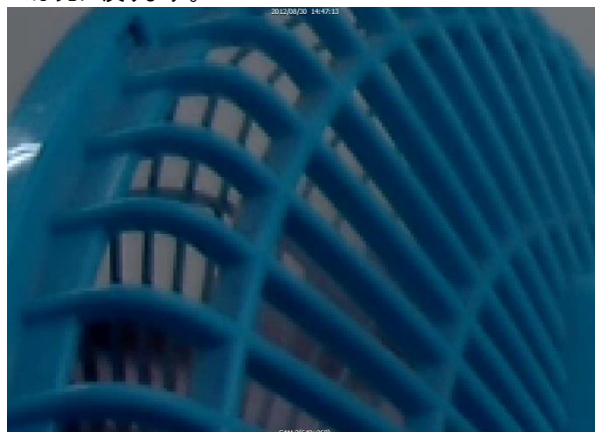


- 変更したカメラ位置は、DVR Manager の再起動または再設定された場合には元の位置に戻ります。

6.3.5.3 ライブ画面のデジタルズーム

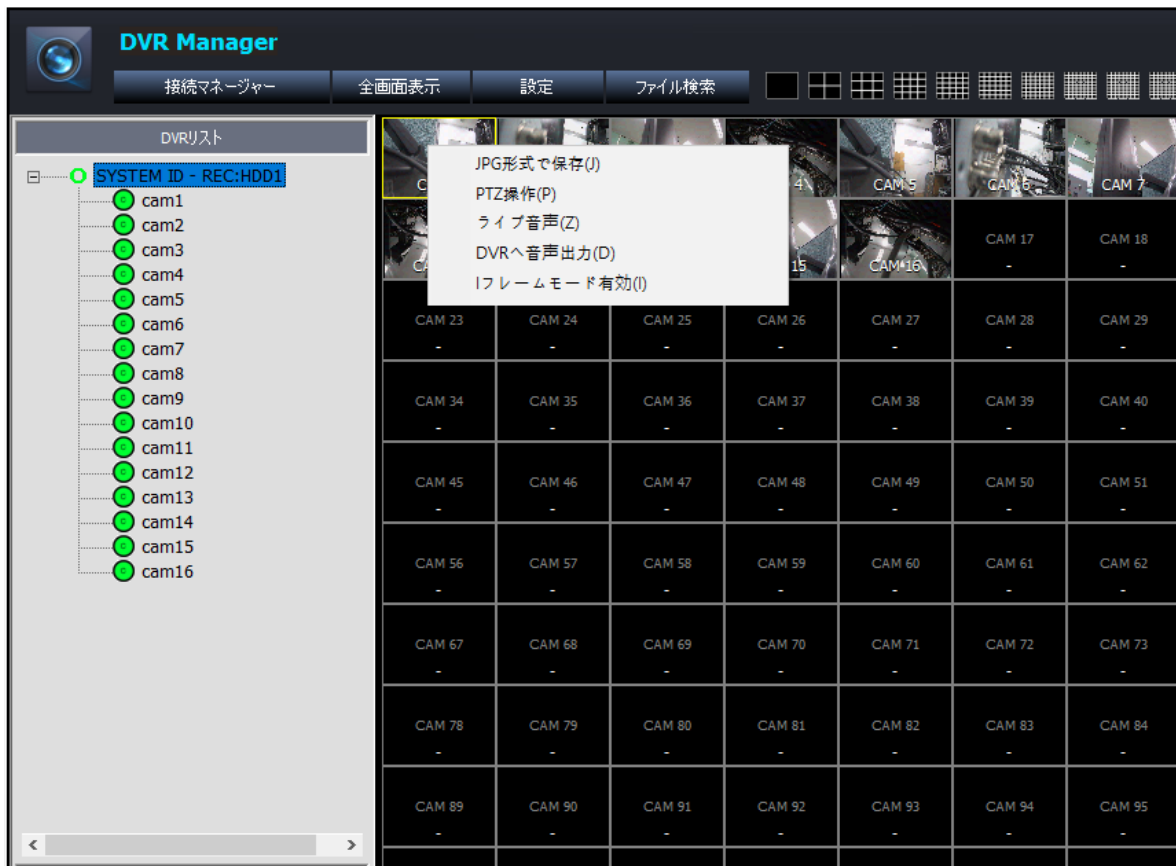
監視画面上でマウスを右クリックして表示領域の拡大や縮小ができます。

分割画面又は1画面表示で希望する領域をマウスで右クリックしてドラッグすると、その領域がズームします。マウスの左/右をクリックするとズームは元に戻ります。

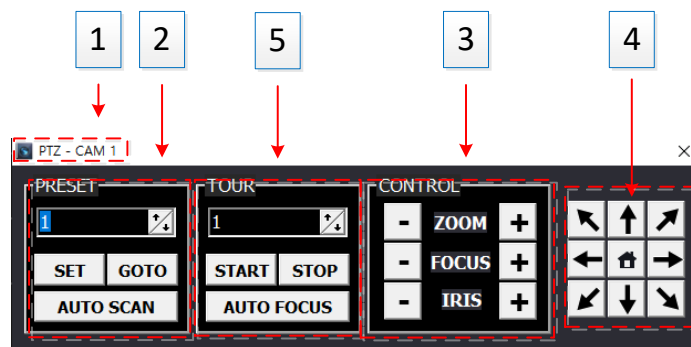


6.3.5.4 JPEGスナップショット/ PTZコントロール/映像設定/ライブオーディオ

映像をJPEG形式で保存、PTZカメラ制御、DVRからの音声を聞くことができます。表示映像の設定の変更もできます。監視画面で右クリックすると以下のようなポップアップメニューが表示されます。



- ✚ **JPG形式で保存(J)** : JPEG形式でPCの画面上の黄色い枠で表示したチャンネルのライブ映像を保存。
- ✚ **PTZ操作(P)** : 選択したチャンネルのPTZカメラを制御するPTZコントロールパネルを開きます。

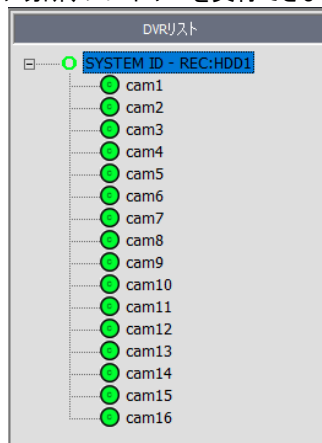


- ✚ 1: 現在選択されているカメラチャンネル番号
- ✚ 2: PTZプリセット動作
- ✚ 3: ズーム/フォーカス/アイリスの調整
- ✚ 4: 方向制御 (パン・チルト)
- ✚ 5: PTZ Tour 動作

- ✚ **ライブ音声(Z)** : 選択したカメラからの音声を聞くことができます。
- ✚ **DVRへ音声出力(D)** : PCオーディオをDVRに伝送してDVRのオーディオ出力を出力します。
- ✚ **1フレームモード有効(I)** : Network送信をDVRで'I Frame'だけを送信するようにして、1秒に1FrameだけをDVR Managerで表示します。

6.3.5.5 DVRリスト

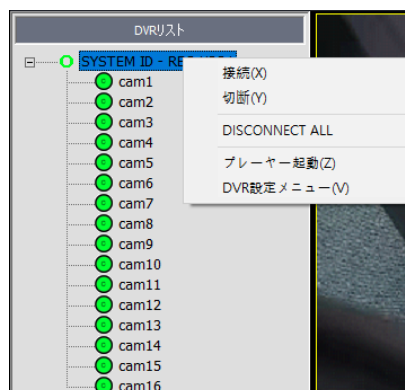
DVR接続で登録したDVRの情報、接続や切断、プレイヤーを実行できます。



- ✚ **システム ID - REC:HDD1** : DVR接続を使用して登録したDVRの名前 - 現在録画されているHDDの位置を表示します。



- ✚ **録画モードアイコン** : DVRの現在録画モードと状態を表示します。
- ✚ **DVRリスト上でDVR名を選択してマウス右クリックすると以下のウィンドウがポップアップします。**



- **接続**: 選択したDVRに接続します。
- **切断**: 現在接続されてあるDVRの接続を切断します。
- **DISCONNECT ALL** : DVR Listに登録されたDVRの接続を解除します。
- **プレイヤー起動** : 選択したDVRでプレイヤーを実行します。

- **DVR Web Menu:** 選択したDVRのWebMenuを実行します。

6.3.5.6 DVR情報

DVRリストで選択したDVR名、IPアドレス、ポート番号、接続したユーザーを表示します。

DVR情報
DVR名: SYSTEM ID
DVR IPアドレス: 192.168.123.159
DVR ポート番号: 9000
ユーザー: ADMIN

6.3.6 プレイヤー

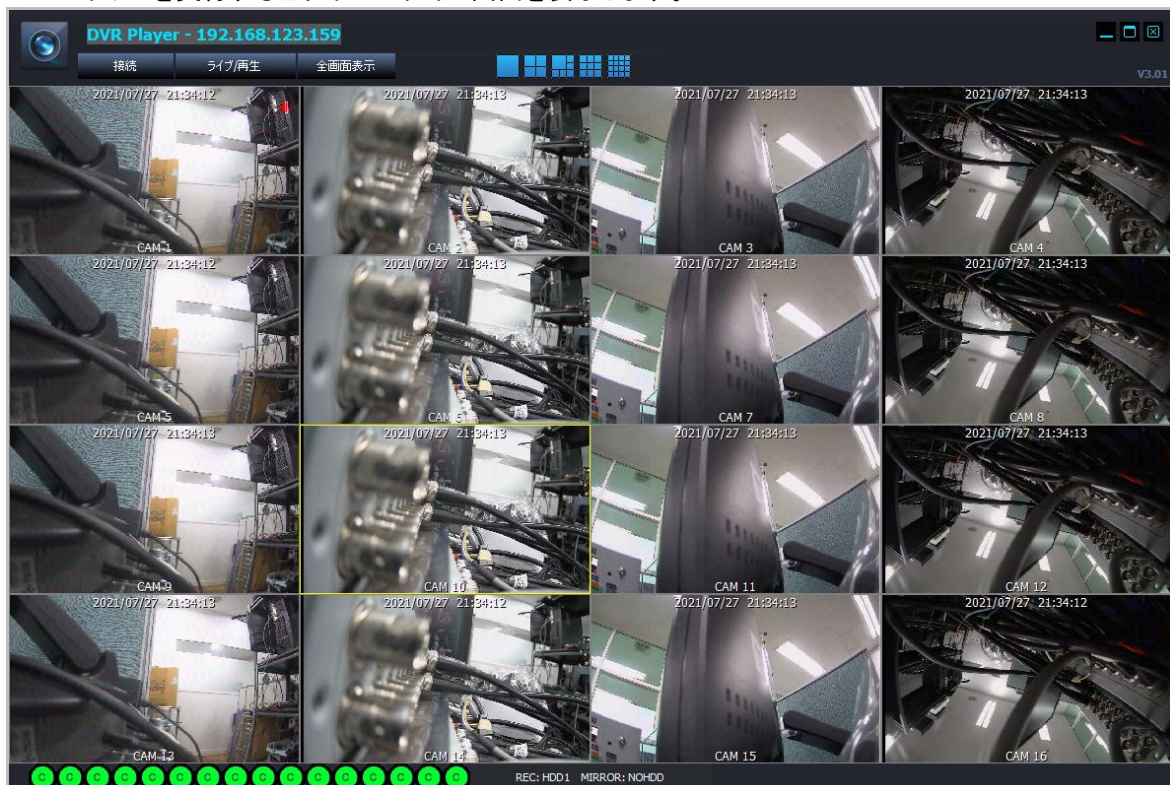
プレイヤーを使用してDVRのライブ表示、再生、コピーができます。

主な特長は、

- 📺 DVRライブの監視
- 📺 DVRの録画映像の再生
- 📺 DVRの録画映像をPCに遠隔コピー
- 📺 パン/チルトカメラ制御

6.3.6.1 初期画面





プレイヤーを実行すると以下のログイン画面を表示します。

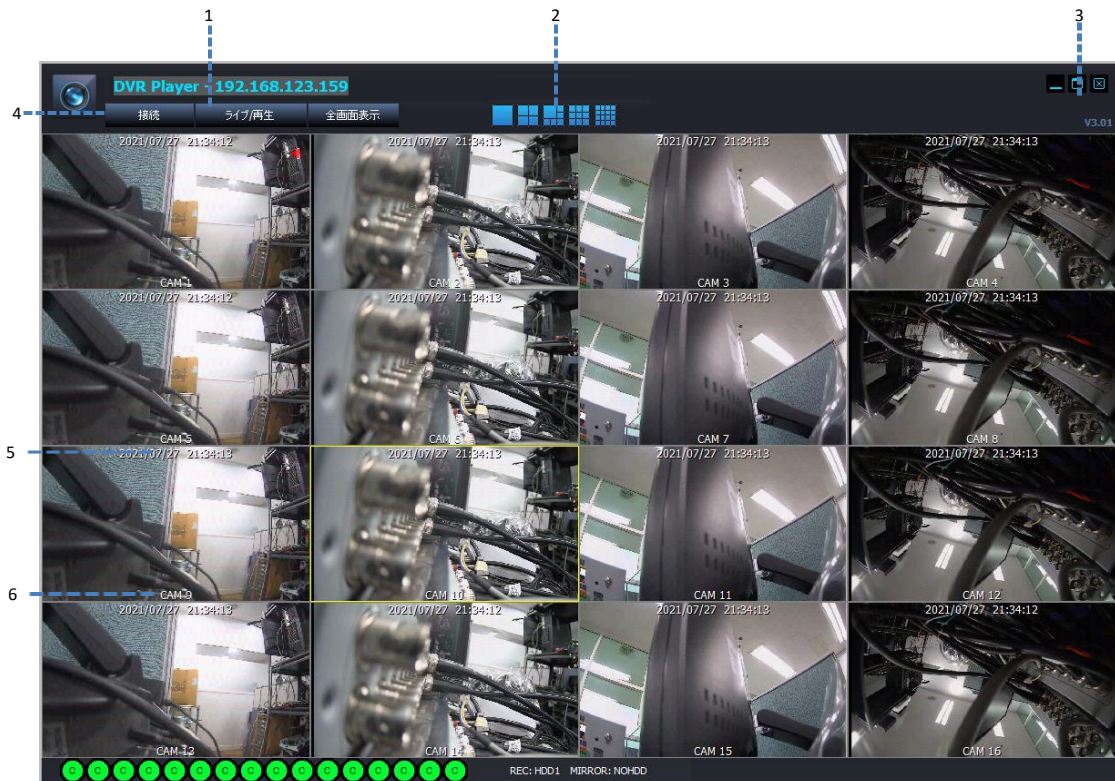


6.3.6.2 ライブ監視


プレイヤーでログインすると以下のように4分割画面のライブモードを表示します。


機能

-  ライブ監視
-  選択した画面をJPEG形式でPCに保存
-  パンチルト制御
-  (管理者専用)プレイヤーで伝送される画面の画質/解像度の調整



-  マウスでチャンネルを選択した場合、画面の枠が黄色い線で表示されます。

-  1: プレイヤーが接続されているDVRのIPアドレス

-  2: ライブ画面の分割モード選択ボタン

-  : 選択したチャンネルを全体画面で表示

-  : 分割画面表示

-  3: プレイヤーを隠す/最大化/最小化

-  : 隠す

-  : 最大化

-  : 終了'

- 4: Connect/Live&Search/Full Screen
- 接続 : ログアウトと再接続
- ライブ/再生 : ライブと再生モード切換え
- 全画面表示 : ライブ画面最大化
- 5: 現在表示している画面の時刻
- 6 : チャンネル名及び現在表示しているライブ画面の解像度

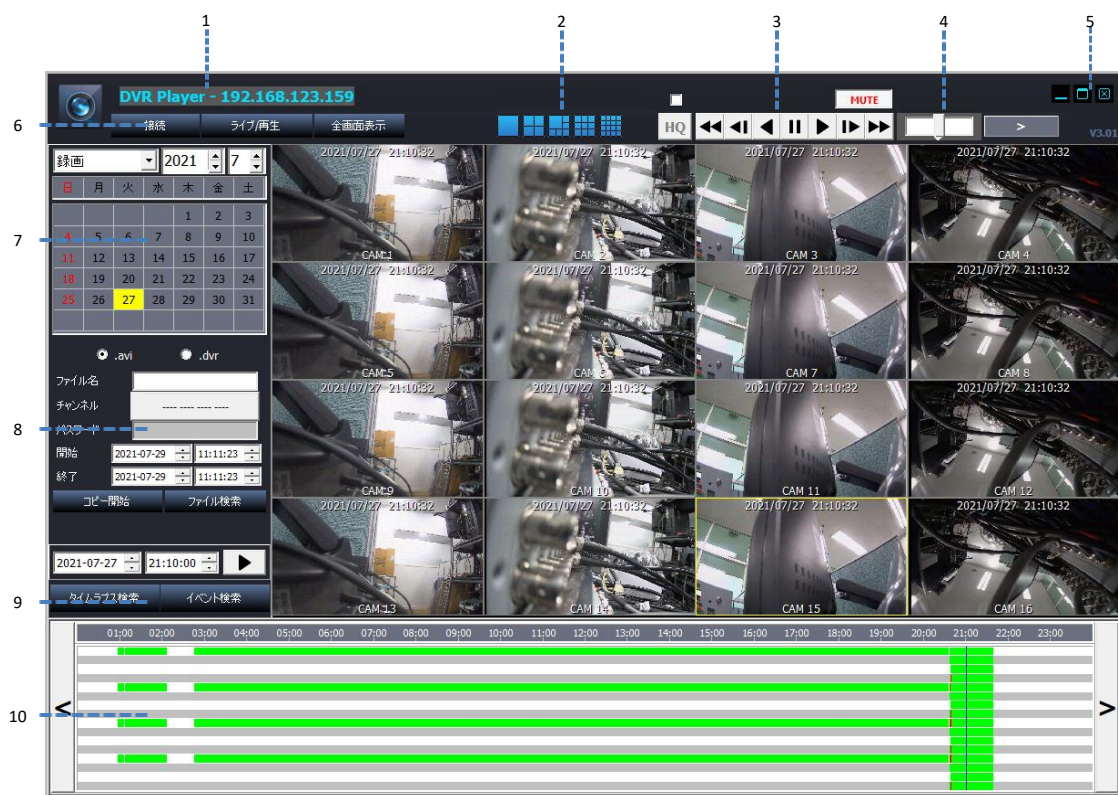
6.3.6.3 ライブと再生

ライブ/再生

プレイヤーのライブ画面でライブ/再生ボタンを押すとライブモードと再生モードを切り換えます。

機能

- 接続者の切り換え（再接続）
- ライブ又は再生モード切換え
- 録画映像をPCにコピー



- 1: 接続したDVRのIPアドレス
- 2: 再生画面の分割モード選択ボタン

-  : 選択したチャンネルを全体画面で表示
-  : 分割画面表示

3: 再生画面の調整

-  : 巻き戻し
-  : 低速逆再生
-  : 逆再生(1倍速)
-  : 一時停止
-  : 再生(1倍速)
-  : 低速再生
-  : 早送り

● 高速再生速度 : x2, x4, x8, x16, x30, x60, x120

● 低速再生速度 : 1/2, 1/4, 1/8, 1/16, 1/30, 1/60, 1/120

4: マウスのホイールを利用して再生を調整できます。

- マウスのホイールのアップ:逆再生
- マウスのホイールのダウン:再生
- バーの真ん中クリック:基本倍速で再生
- バーの右半分クリック:高速再生
- バーのひたひた半分クリック:高速逆再生
- 7段階で調整可能

5: 画面のサイズ

-  : 最小化
-  : 最大化
-  : 終了

6: 接続/ライブと再生及び全体画面表示

- **接続** : ログアウトと再接続
- **ライブ/再生** : ライブと再生モード切り替え
- **全画面表示** : ライブ画面最大化

7: 現在の月をカレンダーで表示: 録画映像がある日は緑で表示されます。マウスを左クリックで日、時間、分を選択すると映像が再生されます。

8 : DVRに録画された映像をPCにAVI形式でコピーできます。

- ファイル名前: コピー映像が保存されるファイル名を設定します。

✓ *.avi : コピーするファイル形式

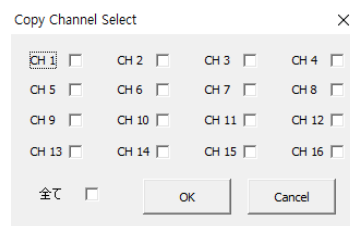
● 各チャンネルは AVI ファイル形式で作成されます。

● AVI ファイルの最大容量は 600MB です。

✓ *.dvr: 独自のファイル形式です。

- ファイル名: コピーされたAVIファイルを保存するファイル名を設定します。

- チャンネル: コピーするチャンネルを選択します。

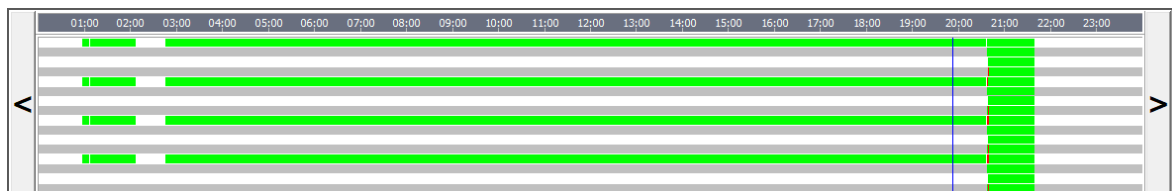


- スタート: コピーのスタート時間を指定します。
- 終了: コピーの終了時間を指定します。
- コピースタート: PCにコピーをスタートします。

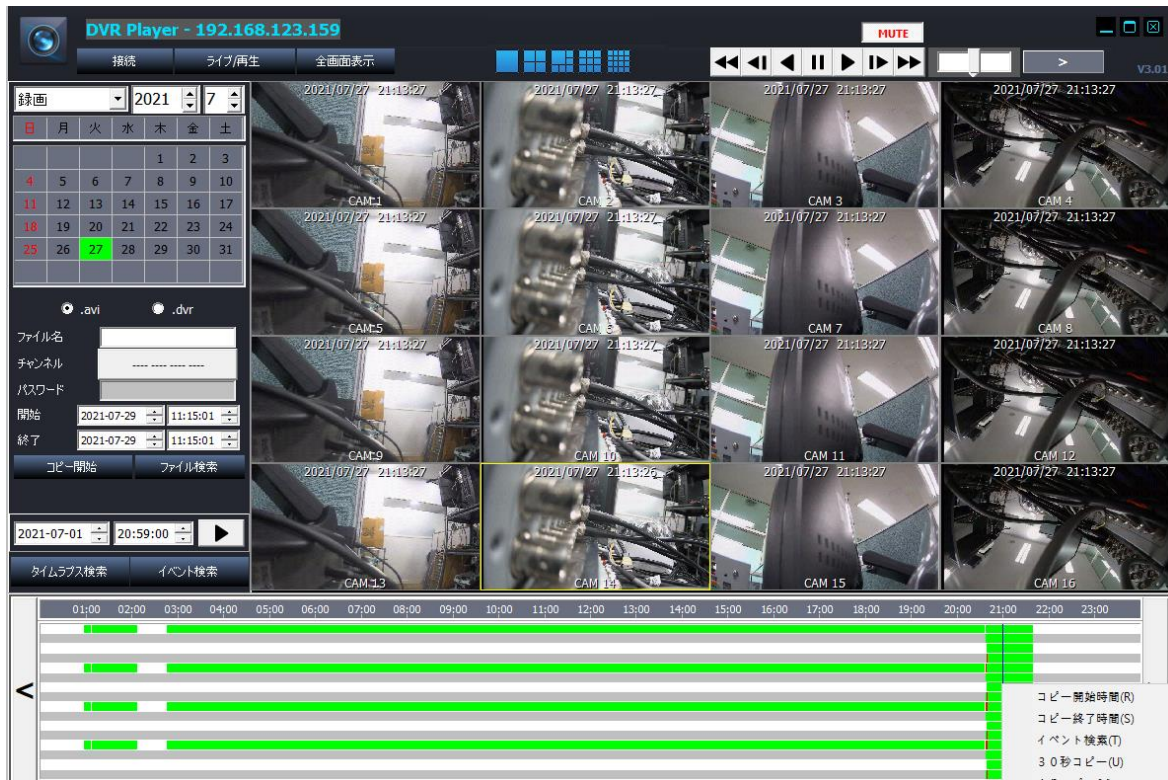
● ファイル名とチャンネルを入力してからコピーができます。

9 : 10.の画面は時間検索またはイベントリスト画面になります。

- **TIME SEARCH** : 時間検索を表示します。



- 録画映像がある時間は緑色で表示します。
- 赤色のセルはイベント録画データがあることを意味します。
- マウスホイールで録画時間のテーブルの間隔を調整できる。



- コピー開始時間(R)
- コピー終了時間(S)
- イベント検索(T)
- 30秒コピー(U)
- 1分コピー(V)
- 2分コピー(W)
- 3分コピー(X)
- 4分コピー(Y)
- 5分コピー(Z)

- **期間検索** : 期間検索でマウス右をクリックすると表示します。
- **コピー開始時間(R)** : コピースタート時間を自動で設定します。
- **コピー終了時間(S)** : コピー終了時間を自動で設定します。
- **イベント検索(T)** : イベント検索時間を設定します。
- 秒を選択時、選択した秒の区間を再生できます。
- チャンネルの緑表示は録画映像がある状態を表示します。時刻を選択すると映像を再生します。



➤ **イベント検索** : イベントリスト画面を表示します。

イベントタイプ		NO.	日時	チャンネル	タイプ
<input checked="" type="checkbox"/> 全てのイベント	ALL <input checked="" type="checkbox"/>	1	2021/07/27 21:48:04	7	MOTION
<input checked="" type="checkbox"/> センサー	CH 1 <input checked="" type="checkbox"/> CH 2 <input checked="" type="checkbox"/> CH 3 <input checked="" type="checkbox"/> CH 4 <input checked="" type="checkbox"/>	2	2021/07/27 21:48:03	16	MOTION
<input checked="" type="checkbox"/> ビデオロス	CH 5 <input checked="" type="checkbox"/> CH 6 <input checked="" type="checkbox"/> CH 7 <input checked="" type="checkbox"/> CH 8 <input checked="" type="checkbox"/>	3	2021/07/27 21:48:02	12	MOTION
<input checked="" type="checkbox"/> モーション	CH 9 <input checked="" type="checkbox"/> CH 10 <input checked="" type="checkbox"/> CH 11 <input checked="" type="checkbox"/> CH 12 <input checked="" type="checkbox"/>	4	2021/07/27 21:48:02	11	MOTION
	CH 13 <input checked="" type="checkbox"/> CH 14 <input checked="" type="checkbox"/> CH 15 <input checked="" type="checkbox"/> CH 16 <input checked="" type="checkbox"/>	5	2021/07/27 21:48:02	8	MOTION
	CH 17 <input checked="" type="checkbox"/> CH 18 <input checked="" type="checkbox"/> CH 19 <input checked="" type="checkbox"/> CH 20 <input checked="" type="checkbox"/>	6	2021/07/27 21:48:02	7	MOTION
	CH 21 <input checked="" type="checkbox"/> CH 22 <input checked="" type="checkbox"/> CH 23 <input checked="" type="checkbox"/> CH 24 <input checked="" type="checkbox"/>	7	2021/07/27 21:48:02	3	MOTION
	CH 25 <input checked="" type="checkbox"/> CH 26 <input checked="" type="checkbox"/> CH 27 <input checked="" type="checkbox"/> CH 28 <input checked="" type="checkbox"/>	8	2021/07/27 21:48:02	15	MOTION
	CH 29 <input checked="" type="checkbox"/> CH 30 <input checked="" type="checkbox"/> CH 31 <input checked="" type="checkbox"/> CH 32 <input checked="" type="checkbox"/>	9	2021/07/27 21:48:00	12	MOTION
		10	2021/07/27 21:48:00	8	MOTION

- **イベントタイプ(検索条件)**
- ✓ 全てイベント: 全てのイベントを検索します。
- ✓ センサー: センサータイプのイベントを検索します。
- ✓ ビデオロス: ビデオロスタイプのイベントを検索します。
- 動き検出 : 動き感知タイプのイベントを検索します。

- CH ALL: 全てのチャンネルのイベントを検索します。
- CH1/CH2/CH3/CH4: 選択したチャンネルのイベントを検索します。
- 再検索: 選択した情報でもう一度イベント検索します。

10: 時間選択と録画情報をイベントリストで変換して情報を表示します。

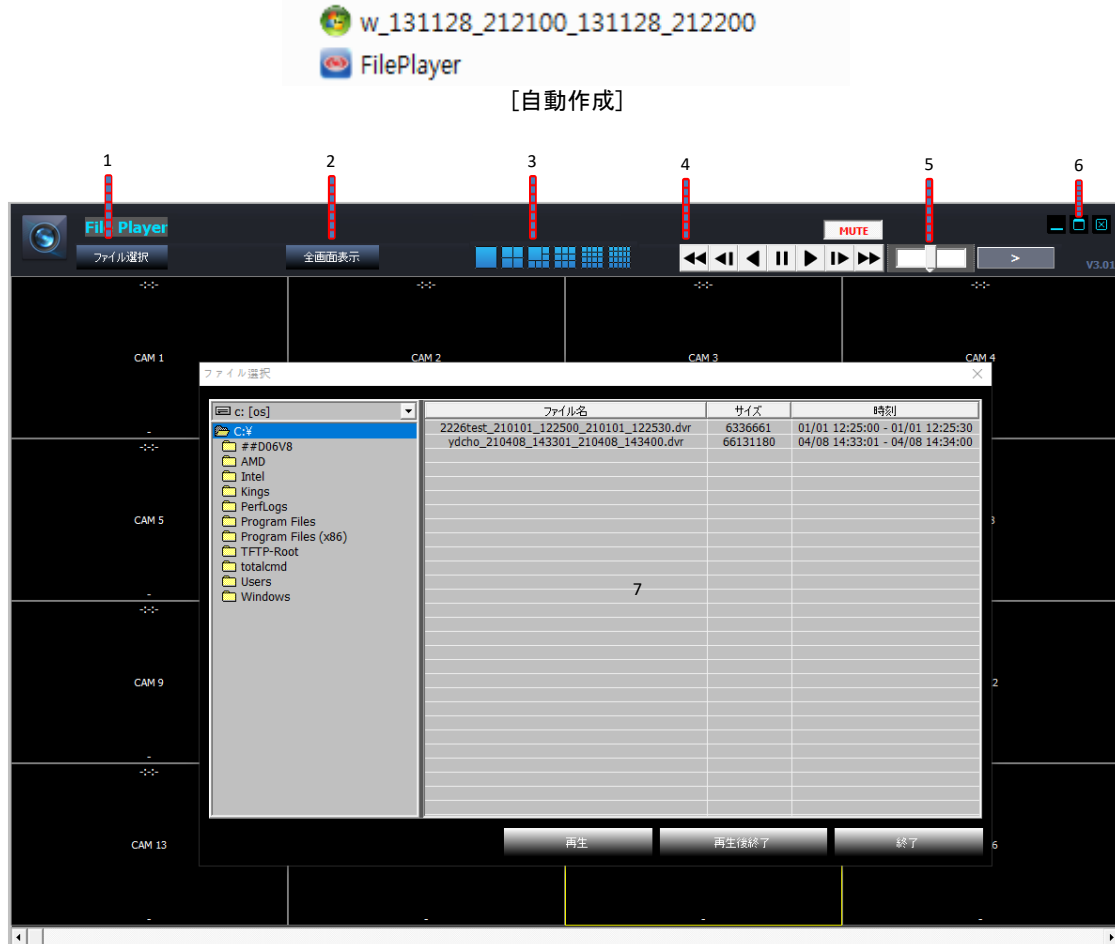
EVENT TYPE		NO.	DATE / TIME	CHANNEL	TYPE
<input checked="" type="checkbox"/> ALL EVENT	ALL <input type="text" value="Search"/>	1	2015/06/09 09:58:08	7	MOTION
<input checked="" type="checkbox"/> SENSOR	CH 1 <input checked="" type="checkbox"/> CH 2 <input checked="" type="checkbox"/> CH 3 <input checked="" type="checkbox"/> CH 4 <input checked="" type="checkbox"/>	2	2015/06/09 09:57:15	7	MOTION
<input checked="" type="checkbox"/> VIDEO LOSS	CH 5 <input checked="" type="checkbox"/> CH 6 <input checked="" type="checkbox"/> CH 7 <input checked="" type="checkbox"/> CH 8 <input checked="" type="checkbox"/>	3	2015/06/09 09:57:09	7	MOTION
<input checked="" type="checkbox"/> MOTION DETECTION	CH 9 <input checked="" type="checkbox"/> CH 10 <input checked="" type="checkbox"/> CH 11 <input checked="" type="checkbox"/> CH 12 <input checked="" type="checkbox"/>	4	2015/06/09 09:57:07	7	MOTION
	CH 13 <input checked="" type="checkbox"/> CH 14 <input checked="" type="checkbox"/> CH 15 <input checked="" type="checkbox"/> CH 16 <input checked="" type="checkbox"/>	5	2015/06/09 09:56:26	7	MOTION
	CH 17 <input checked="" type="checkbox"/> CH 18 <input checked="" type="checkbox"/> CH 19 <input checked="" type="checkbox"/> CH 20 <input checked="" type="checkbox"/>	6	2015/06/09 09:54:33	7	MOTION
	CH 21 <input checked="" type="checkbox"/> CH 22 <input checked="" type="checkbox"/> CH 23 <input checked="" type="checkbox"/> CH 24 <input checked="" type="checkbox"/>	7	2015/06/09 09:54:30	7	MOTION
	CH 25 <input checked="" type="checkbox"/> CH 26 <input checked="" type="checkbox"/> CH 27 <input checked="" type="checkbox"/> CH 28 <input checked="" type="checkbox"/>	8	2015/06/09 09:54:13	7	MOTION
	CH 29 <input checked="" type="checkbox"/> CH 30 <input checked="" type="checkbox"/> CH 31 <input checked="" type="checkbox"/> CH 32 <input checked="" type="checkbox"/>	9	2015/06/09 09:53:33	7	MOTION
		10	2015/06/09 09:53:25	7	MOTION

- 🔲 11: 再生設定した再生映像を表示します。
- 🔲 12: 再生コントロールによる再生速度及び進行方向などを表示します。
- 🔴 遠隔再生時、オーディオ再生は支援されません。

6.4 FILE PLAYER

DVRからコピーされた映像をPCで再生して表示できます。

- ファイルプレーヤーは、コピー映像と一緒に保存されます。
- USB メモリーに映像をコピーする場合、ファイルプレーヤーは自動作成されます。




- DVR からコピーした映像を再生できます。

1: FILE SELECT: ファイルを選択します。

2: FULL SCREEN: 全体画面を表示します。

3: 分割画面選択

➤  : 選択したチャンネルを全体画面で表示

➤  : 分割画面表示

4: 再生調整

➤  : 巻き戻し

-  : 低速逆再生
-  : 逆再生(1倍速)
-  : 一時停止
-  : 再生(1倍速)
-  : 低速再生
-  : 早送り

✚ 高速再生速度 : x2, x4, x8, x16, x30, x60, x120

✚ 低速再生速度 : 1/2, 1/4, 1/8, 1/16, 1/30, 1/60, 1/120

✚ 5: マウスのホイールを利用して再生を調整できます。

- マウスのホイールのアップ:逆再生
- マウスのホイールのダウン:再生
- バーの真ん中クリック:基本倍速で再生
- バーの右半分クリック:高速再生
- バーのひたし半分クリック:高速逆再生
- 7段階で調整可能

✚ 6: 画面のサイズ

-  : 最小化
-  : 最大化
-  : 終了

✚ 7: ファイル選択: 表示するファイルを選択します。

- デフォルト参照先 C:¥¥USERS¥account¥Document¥DvrCopyData